日本郵便

お客さま向け送り状発行システム

ゆうパックプリントR

６．フィルタ設定説明書

『ゆうパックプリントR』は、日本郵便株式会社がお客さまに無料で提供する、ゆうパックや郵便商品の送り状をパソコンで印刷するためのソフトウェアです。

ゆうパックプリントRを　以降『ゆうプリR』と表記します。

２０２５年３月３１日
日本郵便株式会社

■改版履歴

No	更新日	更新内容
1	2016.4.25	初版
2	2016.6.16	・「3-10　出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別に「DENFD確定」を追加（3-73頁）
3	2016.6.24	・「3-10　出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別の画像変更（3-73頁）
4	2016.8.30	・「3-1　取り込み用フィルタを登録する方法」のフォーマット種別に<郵便・ゆうパック標準取込>を追加（3-3頁） ・追加に伴い頁番号変更（3-4頁～3-93頁）
5	2017.1.25	・「3-10　出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別に<新DENFD予約>、＜新DENFD確定＞を追加（3-74頁）
6	2017.2.10	・ゆうプリＲスタートメニューの画面差し替え （2-1頁、2-15頁、2-23頁～2-24頁、3-1頁、3-72頁、3-91頁、3-93頁）
7	2017.9.19	・「3-1　取り込み用のフィルタを登録する方法」　固定値に空白を指定した場合の説明を追記（3-12頁） ・「3-7　取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」 お客様指定配送種類の入力形式の説明を追記（3-37頁） お客様指定配送種類による変換設定例に「お客様指定配送種類」が未設定の場合の例を追記（3-39頁） お客様コードによる配送種類の変換設定に「お客様コード」を未設定でも変換可能である旨の説明を追記（3-44頁、3-46頁）
8	2017.11.21	・「2-1　取り込み用のフィルタを登録する方法」　カンマ区切り以外のデータを選択した場合のデータ表示について追記（2-4頁） ・「3-4　住所情報の取り込みに関する設定方法」　自動分割を設定した場合のデータの分割位置について追記（3-31頁）
9	2018.3.1	・発送予定データ編集（ゆうパック）の画面の差し替え（3-27頁） ・取込補助の画面の差し替え（3-52頁）
10	2018.5.29	・「3-10　出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別の画面の差し替え（3-74頁） フォーマット種別に<楽天ペイ発送完了報告>を追加（3-74頁）
11	2018.9.1	・ゆうプリＲスタートメニューの画面差し替え （2-1頁、2-15頁、2-23頁、2-24頁、3-1頁、3-72頁、3-91頁、3-93頁）
12	2019.2.26	・「2-2　住所情報の取り込みに関する設定方法」注意事項の内容差し替え（2-11頁） ・「3-7　取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」記載内容の追加（3-41頁）
13	2019.5.31	・「3-7　取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」記載内容の差し替え（3-37頁）
14	2019.10.1	・「3-1　取り込み用のフィルタを登録する方法」　フォーマット種別記載内容の差し替え、追加（3-3頁） ・「3-1　取り込み用のフィルタを登録する方法」　単純明細データの例に<消費税率区分>を追加（3-6頁）
15	2020.10.1	・画像差し替え（2-7頁、3-88頁）
16	2023.3.22	・固定値設定の際の※印の文言修正（2-6頁、2-21頁、3-10頁） ・「3-2　固定明細データのフィルタ設定」の冒頭の説明文に「消費税率区分」を追加（3-22頁） ・「取込み時の変換設定」画面の差し替え（3-36頁、3-45頁） ・仕様変更による「3-7　取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」の「4. 個数・重量でのコード変換設定」の項目、並びに、頁削除（3-41頁～3-43頁） ・削除に伴い頁番号変更（3-44頁～3-93頁）
17	2023.9.25	・バイト数に対しての全角と半角の入力文字数を追加（2-9頁、2-10頁、3-8頁、3-13頁、3-19頁、3-28頁、3-29頁、3-31頁、3-37頁、3-76頁、3-77頁、3-83頁、3-86頁）
18	2024.3.21	・Excelファイルの取り込みの注意事項を追記（2-1頁）
19	2025.3.31	・フィルタ設定画面の差し替え（2-4頁、2-5頁、2-7頁～2-10頁、2-14頁、2-18頁～2-20頁、2-22頁、2-23頁、3-7頁、3-11頁、3-16頁、3-17頁、3-19頁～3-21頁、3-32頁、3-40頁、3-44頁、3-67頁、3-68頁、3-75頁、3-82頁、3-83頁、3-85頁、3-88頁、4-1頁）

目次

1 フィルタ機能のご利用について 1-1 ～1-3

2 フィルタの作成方法（簡易編集）

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法 2-1 ～2-8
2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法 2-9 ～2-11
2-3 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法 2-12 ～2-13
2-4 顧客データ取り込み時の顧客種別について 2-14
2-5 出力用のフィルタを登録する方法 2-15 ～2-22
2-6 登録したフィルタを変更・削除する方法 2-23 ～2-24

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法 3-1 ～3-21
3-2 固定明細データのフィルタ設定 3-22 ～3-24
3-3 不定明細データのフィルタ設定 3-25 ～3-27
3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法 3-28 ～3-31
3-5 取り込みファイルの特定項目をキーにまとめる方法（ブレイク設定） 3-32
3-6 取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法（結合設定） 3-33 ～3-35
3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定） 3-36 ～3-49
3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法 3-50 ～3-66
3-9 顧客データ取り込み時の顧客種別について 3-67 ～3-68
3-10 出力用のフィルタを登録する方法 3-69 ～3-87
3-11 登録したフィルタを変更・削除する方法 3-88 ～3-90

4 お問い合せ番号付データを取り込みする設定 4-1

5 フィルタをコピーして使用する 5-1

6 作成したフィルタを他のゆうプリRで使用する方法 6-1 ～6-3

1 フィルタ機能のご利用について

1．フィルタ機能をご利用いただくうえでの注意事項

(1) フィルタ機能には、簡易編集と詳細編集の２種類のフィルタがあります。
操作・機能面、設定可能な項目数が異なりますので、取り込みするデータ構成や操作面により編集方法を選択してください。
(2) フィルタ設定画面には、様々な項目が表示されておりますが、全ての項目について取り込む設定を行う必要はありません。
送り状の発行に必要なお届け先情報やご依頼主情報だけでも取り込みは可能です。
(3) ゆうプリＲの各項目には取り込み可能な文字数が決まっております。
取り込みするデータの文字数が規定値よりも多い場合、正常に取り込みできない場合があります。
(4) ゆうプリＲの項目に〈送り状発行年月日〉という項目がありますが、この項目に設定しますと発送履歴データとして取り込まれ、送り状の印刷が行えません。
通常は、〈送り状発行年月日〉に取り込みする設定は行わないでください。

2．作成できるフィルタの種類

作成ができるフィルタは、2種類ございます。

(1) 簡易編集　CSVのデータ、もしくは、Excelのデータを取り込む設定ができます。
操作方法が比較的簡単で、〈ゆうパック〉や〈ゆうメール〉などの１種類のデータを取り込む場合に適しております。
〈ゆうパック〉と〈ゆうメール〉などの商品が混在したデータを取り込む場合、
商品等を判定できる情報を、取り込むファイルに設定しておく必要があります。

例）　郵便種別

	A	B	C
1	氏名	住所	郵便種別
2	郵便太郎	東京都台東区	0
3	ゆうびん花子	東京都板橋区	1

〈ゆうパック〉と〈ゆうメール〉など、複数の郵便商品の情報を取り込む際には、取り込むデータ上で別紙〔８．入出力インターフェース仕様書〕に記載されている情報を入力する必要があります。
左記の例では、〈郵便種別〉は’0’と入力していると〈ゆうパック〉と判断され、’1’と入力していると〈ゆうメール〉と判断されます。

(2) 詳細編集　簡易編集では設定できなかった複雑な取り込みにも対応ができるフィルタです。
CSVデータやExcelデータの他に、タブ区切りのデータや固定長テキストデータにも対応できる設定ができます。
また、楽天やyahoo、Amazonのデータも取り込みが簡単にできるように、
専用のフォーマットをご用意しております。
〈ゆうパック〉と〈ゆうメール〉などの商品が混在したデータを取り込む場合、
商品等を判定できる情報を、取り込むファイルに設定しておく必要があります。
この’商品等を判定できる情報’は決められた文字はございません。
取り込むCSVデータやExcelデータに入っている情報から設定する事ができます。

例）　郵便種別

	A	B	C
1	氏名	住所	郵便種別
2	郵便太郎	東京都台東区	A
3	ゆうびん花子	東京都板橋区	B

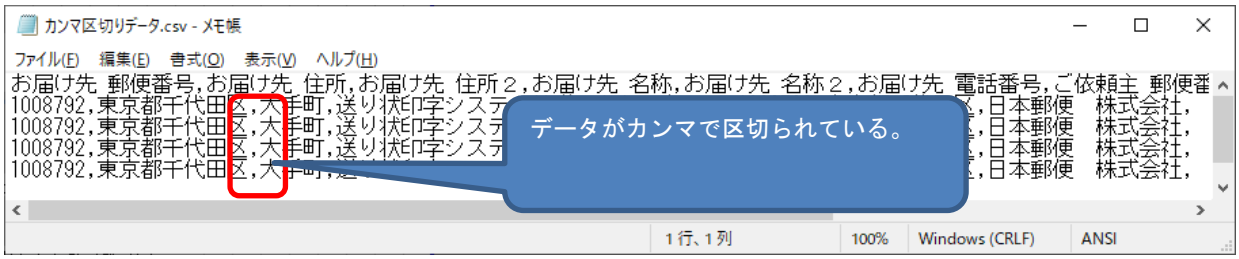
〈ゆうパック〉と〈ゆうメール〉など、複数の郵便商品の情報を取り込む際には、それぞれの情報が書かれている〈列〉があれば、決められた文字でなくても取り込むことは可能です。別途、条件設定が必要ですが、’A’＝ゆうパック、’B’＝ゆうメールとフィルタ上で条件設定する事により、左記の例でも取り込むことができます。

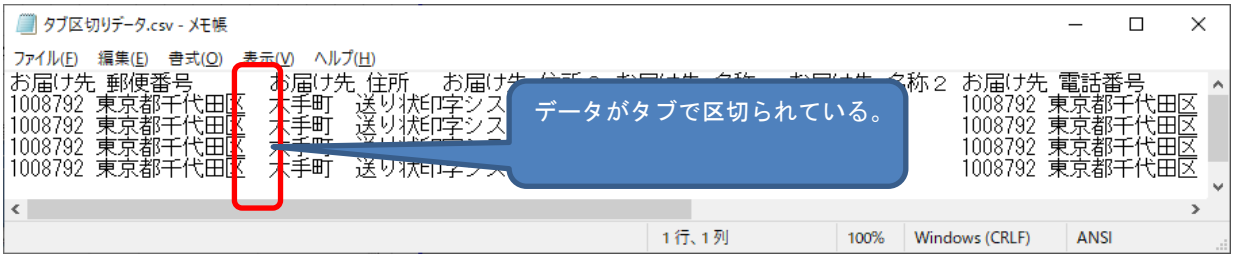
1 フィルタ機能のご利用について

３．取り込みできるファイルの種類

ゆうプリＲでは、以下の形式のファイルを取り込みすることができます。

① ＣＳＶファイル（カンマやダブなどで区切られたデータ）
以下のようなデータ形式の場合は、ＣＳＶファイルとして取り込みが可能です。





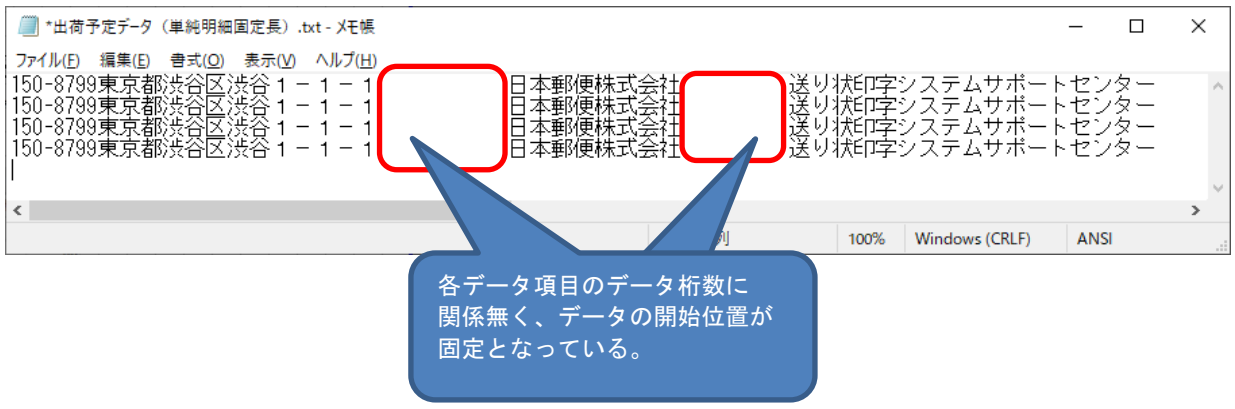
※ 全てのレコードでカンマ、タブの数が同じである必要があります。
区切り文字は、他に<セミコロン>とお客さま指定の区切り文字を指定できます。
データの途中で改行されている場合、エラーとなって取り込みができません。

② Microsoft office Excelで作成されたファイル（Microsoft office Excel 2003以降）

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先電話番号	品名ＣＤ	商品名	個数	品代金	消費税	サイズ
0570-064-389	kzn2658	アクセサリー	3			60
0570-064-389	kzn2659	腕時計	2			60
0570-064-389	wym02687	パソコンディスプレイ	1			120

※ セルの中でデータが改行されている場合、エラーとなって取り込みができません。

③ 固定長で作成されたファイル
固定長で作成されたファイルは、詳細編集のフィルタで取り込みができます。



４．取り込みするデータの値に関する注意事項

(1) <全角/半角>や<記号の可否>等、文字種別に関する制限について
文字の場合、全角半角等の制限はありません。例の記述の場合、どちらも取り込みできます。
例）<お届け先 名称>の場合
ゆうプリＲ　太郎・・・取り込めます。
ゆうプリＲ 太郎　　・・・取り込めます。

但し、日付項目は存在する日付となっている必要があります。
例）<発送予定日>の場合
20130430　　・・・取り込めます。
20130431　　・・・存在しない日付の為取込チェックでエラーになります。

(2) 電話番号、郵便番号について
電話番号、郵便番号は基本は数字ですが、下記の文字は許します。
電話番号・・・ハイフン、小カッコ　⇒ － ()
郵便番号・・・ハイフン ⇒ －

※ 全角のハイフンが含まれている場合、取り込み時にエラーとなります。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

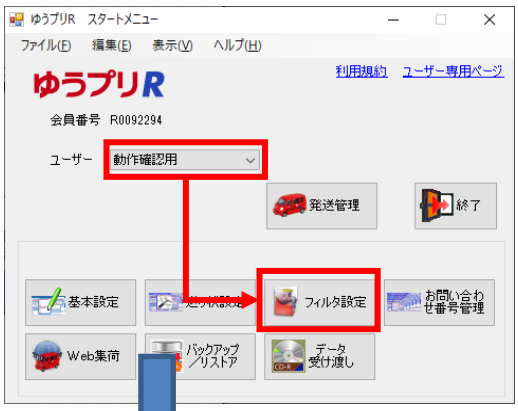
2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

ゆうプリRにCSVファイルやExcelファイルでデータを取り込みする場合は、予め取り込み用のフィルタを登録する必要があります。本項では、簡易編集でのフィルタ設定方法をご案内します。
※ ただし、簡易編集でExcelファイルを取り込みする場合には、一番左のシートのみが対象となります。

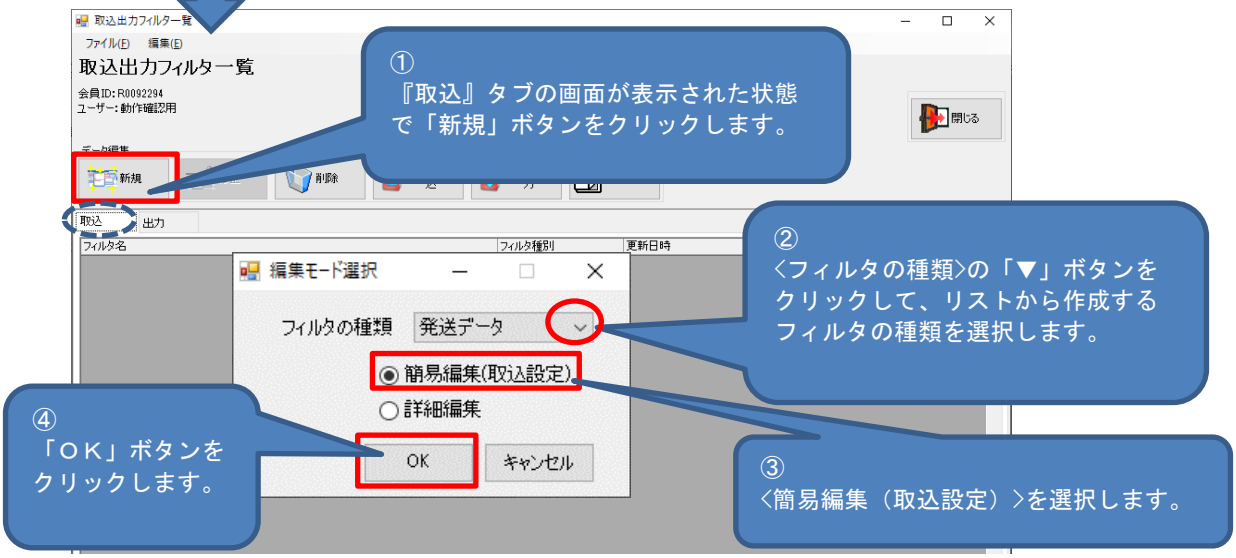
1．取り込み用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを取り込みする場合を例に説明を行っております。



① 『取込』タブの画面が表示された状態で「新規」ボタンをクリックします。

② <フィルタの種類>の「▼」ボタンをクリックして、リストから作成するフィルタの種類を選択します。

③ <簡易編集（取込設定）>を選択します。

④ 「ＯＫ」ボタンをクリックします。

Point

■ フィルタの種類について
登録できるフィルタは、<発送データ>、<顧客データ>、<顧客商品データ>、<記事マスタ>です。
ご利用の用途を間違えないようご注意ください。

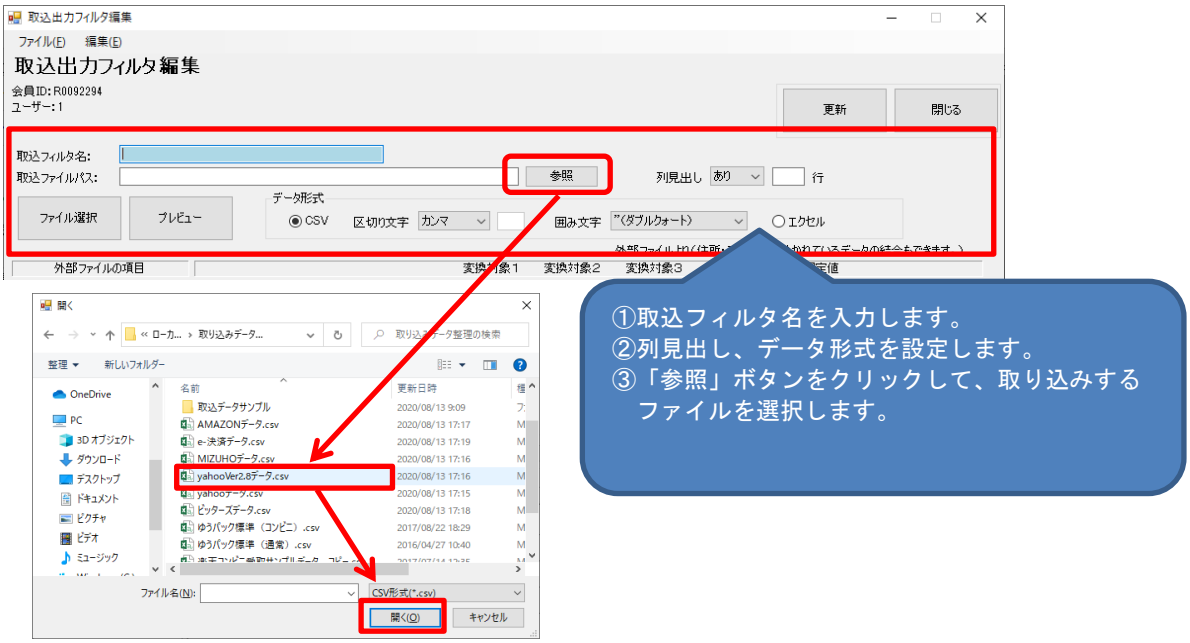
■ 補足説明
- CSVファイルの場合、改行文字はCrLf固定です。
- 重量の単位は、g（グラム）固定です。
- 文字コードはShift-JIS固定です。
- データ種別は単純明細固定です。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(2) 取り込みするファイルに関する設定

『取込出力フィルタ編集』画面が開きますので、取り込みするファイルに関する設定を行います。

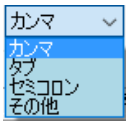
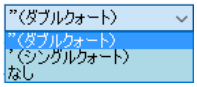
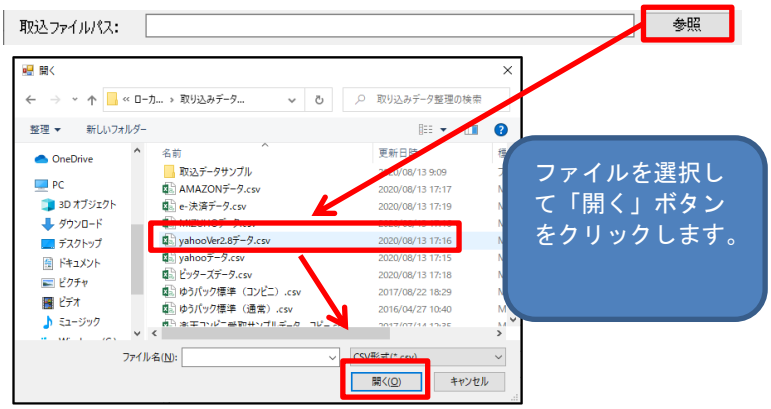


■ 設定項目説明

取込フィルタ名 必須入力項目	フィルタに任意の名前を付けます。 入力形式　：　全角の場合、最大 50文字 半角の場合、最大 100文字　（全半角混在可能） 入力方法　：　直接入力 初期状態　：　未入力（表示なし） ※ フィルタ名は、後から変更することができません。 登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。
列見出し 必須選択項目	取り込みするデータの列見出しの’あり’、’なし’を選択します。 入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして’あり’または’なし’を選択します。 ※ ファイルの１行目にデータの見出しがある場合、’あり’を選択します。 初期状態　：　新規の場合、あり（列見出しあり）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
行 列見出しを’あり’にした場合は、必須入力項目	列見出しを’あり’にした場合、見出しの行数を指定します。 入力形式　：　半角数字（最大3桁） 入力方法　：　直接入力 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
データ形式 必須選択項目	取り込みするファイルの形式を選択します。 入力形式　：　チェックボックスによる選択 CSV　：　CSV（カンマ区切り）やタブ区切りされたデータの取込設定時に選択します。 Excel　：　Excelデータの取込設定時に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。 初期状態　：　新規の場合、CSVとなります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

<table>
<tr><td>区切り文字
〈データ形式〉で’CSV’を選択の場合、必須選択項目
 
</td><td>取り込みファイル内のデータの区切り文字を指定します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。
<table><tr><td>カンマ</td><td>データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>タブ</td><td>データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>セミコロン</td><td>データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>その他</td><td>データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、カンマとなります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>区切り文字（値）
〈区切り文字〉で’その他’を選択の場合、入力必須項目</td><td>取り込みファイル内のデータの区切り文字を入力します。
入力形式　：　半角英数字　1桁
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>囲み文字
〈データ形式〉で’CSV’を選択の場合必須
 
</td><td>取り込みファイル内のデータの囲み文字を選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。
<table><tr><td>ダブルクォート</td><td>「”」で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>シングルクォート</td><td>「’」で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>なし</td><td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td></tr></table>選択します。
初期状態　：　新規の場合、’ダブルクォート’となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>取込ファイルパス</td><td>ファイル取り込み時に初期表示させるファイルの保存場所を指定します。
※ 取り込みする際にも都度変更は可能です。
入力形式　：　「参照」ボタンをクリックして選択します。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。
 
</td></tr>
<tr><td>ファイル選択</td><td>取り込みするファイルの項目を〈外部ファイルの項目〉に表示します。</td></tr>
<tr><td>プレビュー</td><td>取り込みするデータをフィルタ編集した値で見ることができます。
編集途中の確認に使用します。</td></tr>
</table>

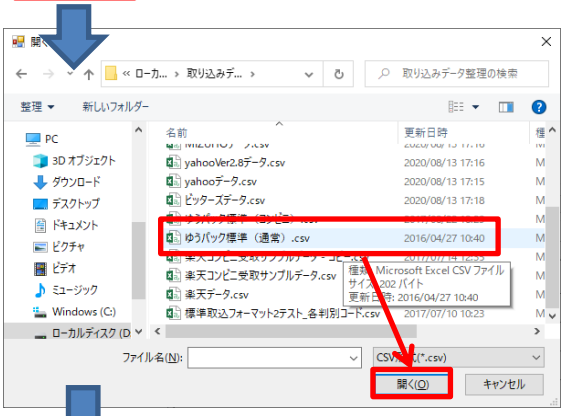
2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(3) 取り込みファイルの項目とゆうプリＲの項目との紐付

取り込みするファイルの各項目をゆうプリＲのどの項目に取り込みするか設定を行います。

① 「ファイル選択」ボタンをクリックします。



② 取り込みするファイルを選択して
「開く」ボタンをクリックします。

Point

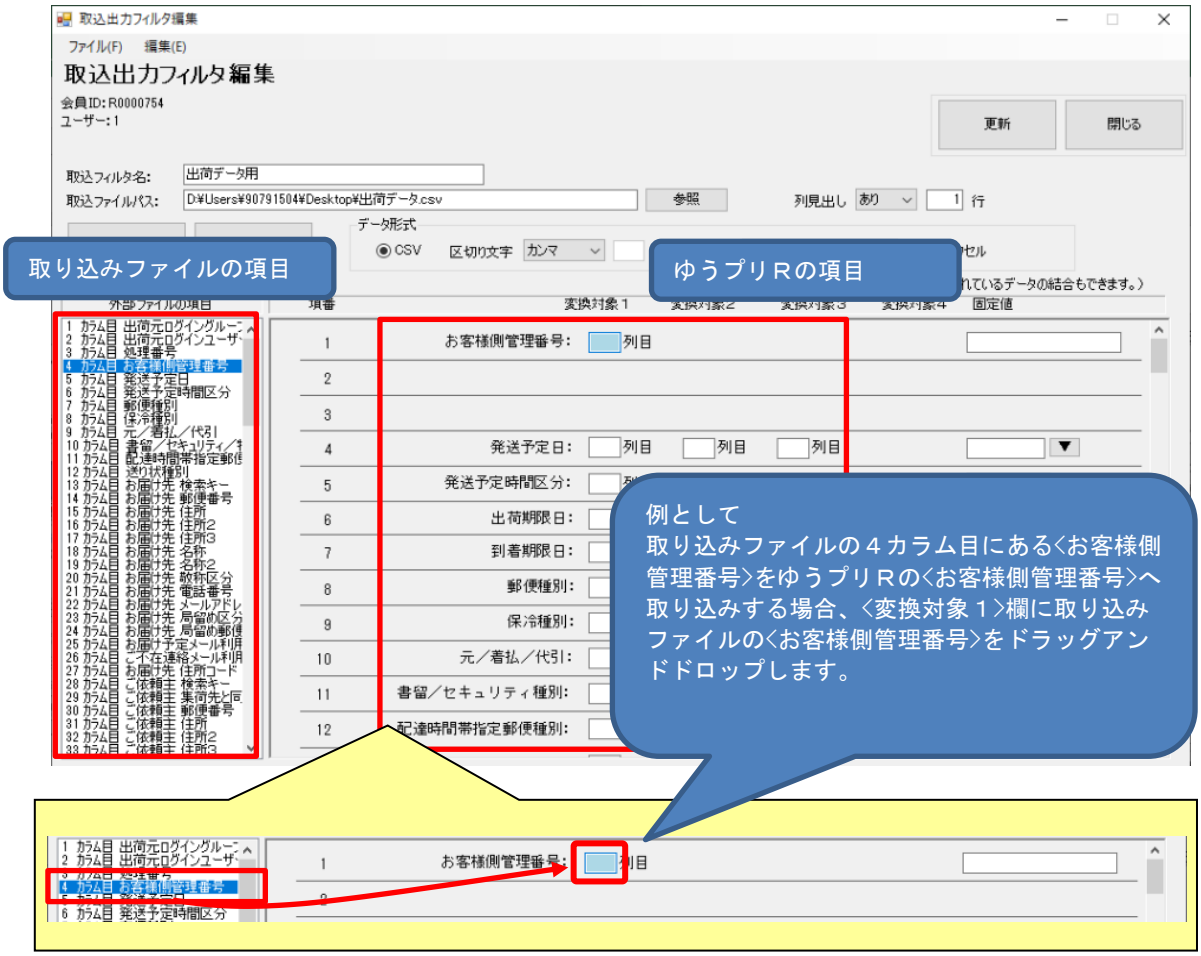
カンマ区切りのデータのみ全カラムを表示します。
カンマ区切り以外のデータ（タブ区切り等）は１カラム目のみ表示します。
タブ区切り等のデータを使用される場合は、データのカラム位置を確認し
変換対象に設定を行ってください。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

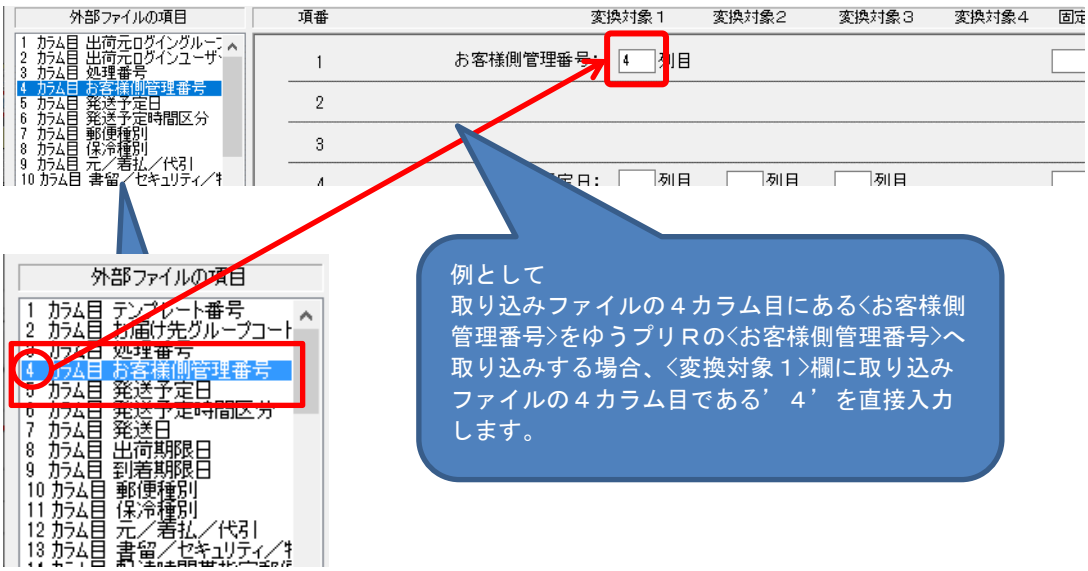
2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

③ 取り込みファイルの項目を紐付します。
下記の①～②の何れかの方法で取り込みする項目を紐付します。

紐付方法① 取り込みファイルの項目をゆうプリＲの変換対象欄にドラッグ＆ドロップします。



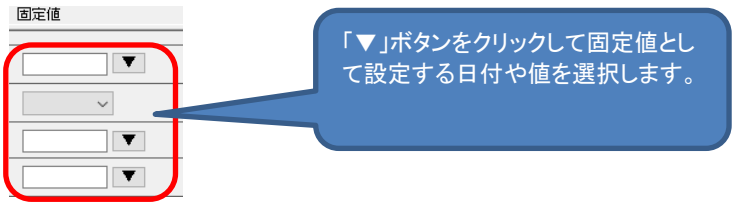
紐付方法② 取り込みファイルの項目番号をゆうプリＲの変換対象欄に直接入力する。



2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

外部ファイルの項目	取り込みするファイルを選択すると、〈外部ファイル項目〉にファイルの項目が表示されます。
変換対象１	取り込みする項目がファイルのどの列目か指定します。 入力方法　：　直接入力　または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
変換対象２	取り込みする項目がファイルのどの列目か指定します。 入力方法　：　直接入力　または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 以下のような項目で指定が行えます。 お届け先 郵便番号:　　列目　　列目 例として、取り込みファイルのお届け先郵便番号が２つのカラムに分かれている場合、最初の３桁を〈変換対象１〉、最後の４桁を〈変換対象２〉へ設定します。
変換対象３	取り込みする項目がファイルのどの列目か指定します。 入力方法　：　直接入力　または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 以下のような項目で指定が行えます。 お届け先 電話番号:　　列目　　列目　　列目 例として、取り込みファイルのお届け先電話番号が、市外局番、市内局番、加入者番号の３カラムに分かれている場合、市外局番を〈変換対象１〉、市内局番を〈変換対象２〉、加入者番号を〈変換対象３〉へ設定します。
変換対象４	現在、未使用の項目です。
固定値	取り込みデータの値ではなく、固定値で設定する場合に指定します。 変換対象の列位置が指定されていてかつ固定値に規定値をした項目は指定した規定値で出力されます。  ※〈変換対象１〉に取り込み設定があり、固定値にも設定した場合 エラーが発生する可能性がございます。 取り込みデータか固定値かの、どちらかでのみ設定を行ってください。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

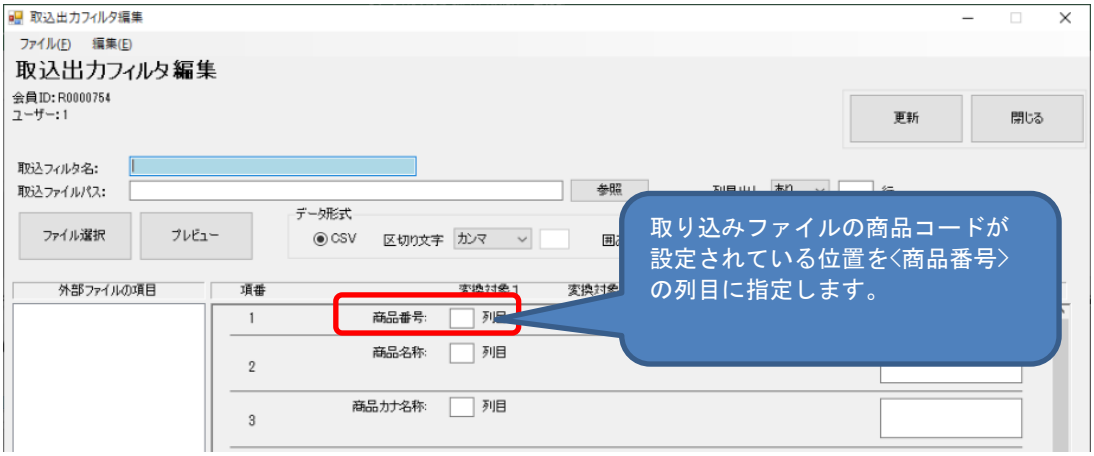
2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(4) 顧客コード、商品コードの設定について

顧客データや商品データを取り込みする場合、予めデータに顧客コード、商品コードを設定いただき、
そのコードをゆうプリＲ側へ取り込みすることで、ゆうパック等のデータ入力時に顧客コード、
商品コードで登録した情報を画面に呼び出すことができます。
発送情報入力画面から入力する場合、お届け先や商品の入力が便利になります。

■ 顧客コードを取り込みする場合

■ 商品コードを取り込みする場合



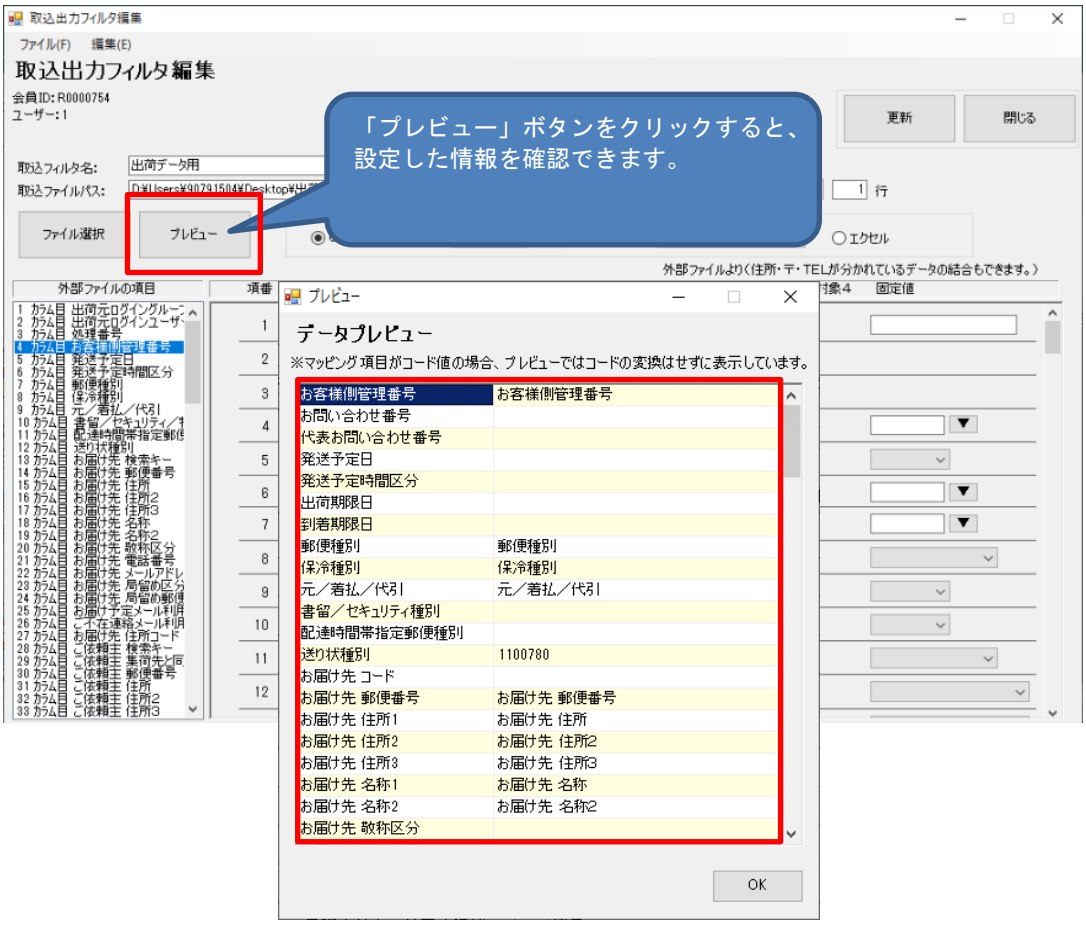
※ 発送予定データ編集画面で、顧客データ、商品データを参照する方法については、
別紙〔５．操作説明書　①送り状データを登録する〕を参照ください。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(5) 作成したフィルタ設定の登録

取り込みする項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法

出荷データや顧客データをファイルから取り込みする際、取り込みデータには顧客の住所情報がありますが、ファイル内にどのように定義されているかは、ファイルを作成するシステム等により様々なケースがあります。
ゆうプリＲの住所情報は、〈住所１〉、〈住所２〉、〈住所３〉の３項目に分かれており、それぞれ全角25文字もしくは半角50文字(全半角混在可)まで取り込みすることができます(文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合)。
取り込みするファイルの住所情報がゆうプリＲと同様に３項目でしたら紐付も簡単ですが、項目数が異なる場合、どのように設定を行えばよいか、本項で説明をいたします。

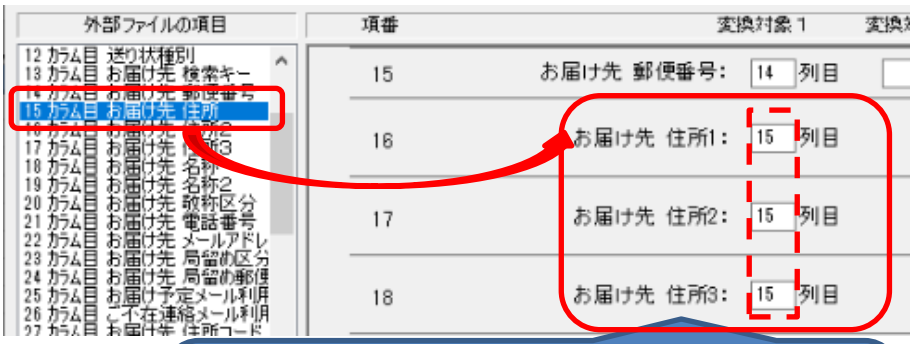
１．取り込みファイルの１カラムのみに住所情報がある場合

取り込みファイルの１カラムのみに住所情報がある場合、〈住所１〉のみに紐付しますと桁数超過により正常に取り込みができない場合があります。この場合、フィルタで以下のように設定します。

■ ファイルの定義例

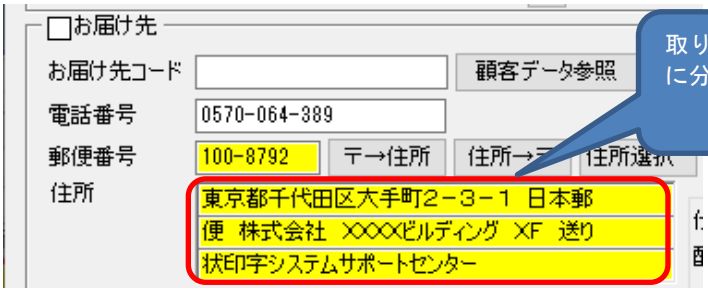
ひとつのセル内に住所情報が全て設定されている。

■ フィルタの設定例



取り込みファイルの１５カラム目にある〈お届け先住所〉を
ゆうプリＲ側の〈住所１〉、〈住所２〉、〈住所３〉に紐付します。
ゆうプリＲ側の〈住所１〉、〈住所２〉、〈住所３〉には同じ
カラム位置を指定します。顧客データに取り込みする場合も
同様です。

■ 取込結果例



取り込み時に自動的に〈住所１〉～〈住所３〉に分割して取り込みます。

Point

システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。
ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

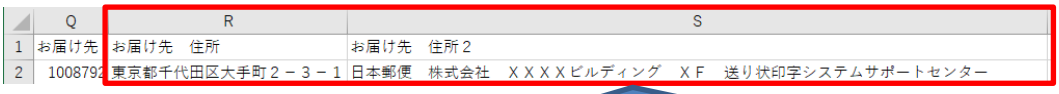
2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法

２．取り込みファイルの２カラムに住所情報がある場合

取り込みファイルの２カラムに住所情報がある場合、前頁１の方法と併せて〈住所１〉～〈住所３〉に紐付することで自動的に分割して取り込みすることができます。
また、取り込みファイルの住所情報が２カラムとも全角25文字もしくは半角50文字(全半角混在可)以内のデータでしたら、取り込みファイルの住所をゆうプリＲの〈住所１〉、〈住所２〉にそれぞれ紐付することでも取り込み可能です。なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

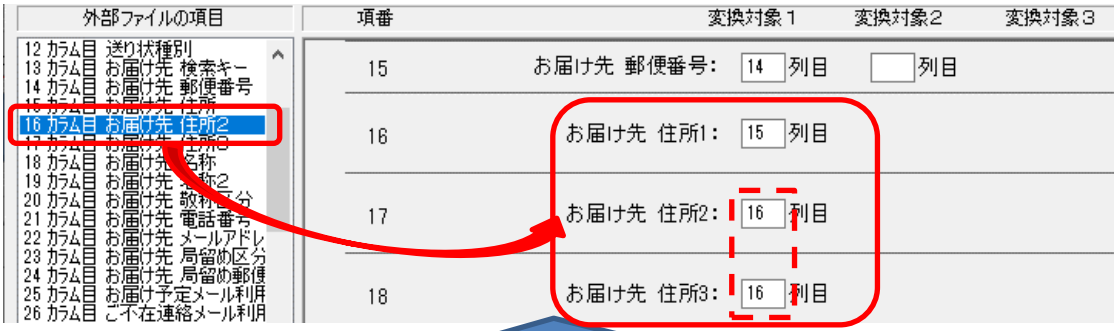
■ ファイルの定義例



	Q	R	S
1	お届け先	お届け先　住所	お届け先　住所２
2	1008792	東京都千代田区大手町２－３－１	日本郵便　株式会社　ＸＸＸＸビルディング　ＸＦ　送り状印字システムサポートセンター

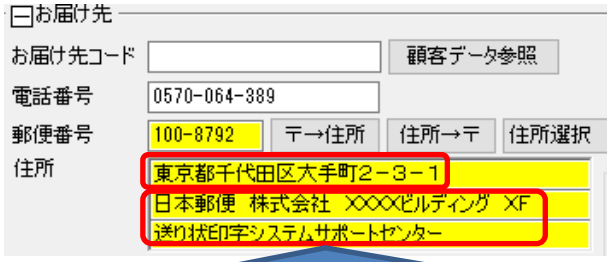
２つのセルに住所情報が全て設定されている。

■ フィルタの設定例



取り込みファイルの１５カラム目にある〈お届け先住所〉をゆうプリＲ側の〈住所１〉に紐付します。取り込みファイルの１６カラム目にある〈お届け先住所２〉をゆうプリＲ側の〈住所２〉、〈住所３〉に紐付します。ゆうプリＲ側の〈住所２〉、〈住所３〉には同じカラム位置を指定します。

■ 取込結果例



〈住所１〉には、取り込みファイルの１５カラム目が取り込まれ、〈住所２〉、〈住所３〉には、取り込みファイルの１６カラム目の情報が自動分割されて取り込まれます。

Point

ゆうプリＲ側の〈住所１〉、〈住所２〉に同じカラム位置を指定し、〈住所３〉のみ単独での紐付をすることも可能です。この場合も、〈住所１〉、〈住所２〉は自動分割になります。
システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。
ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法

３．取り込みファイルの住所情報が４カラム以上に分かれている場合

取り込みファイルの住所情報が４カラム以上の項目で分かれている場合、簡易編集の
フィルタでは設定することができません。この場合、以下のどちらかの対応を行ってください。

■ 対応方法１

詳細編集のフィルタ設定機能をご利用いただく。
操作方法は、簡易編集に比べて複雑さはありますが、４カラム以上の住所項目の取り込みが可能で、
ゆうプリＲ側の<住所１>～<住所３>項目に自動分割で取り込みすることもできます。
詳細編集機能については、本マニュアル〔③フィルタの作成方法（詳細編集）〕を参照ください。

■ 対応方法２

簡易編集で取り込みをされる場合、取り込みするファイルの住所情報を３カラム以下に
修正してください。
住所が３カラム以内であれば、本手順の操作にて取り込みが行えます。

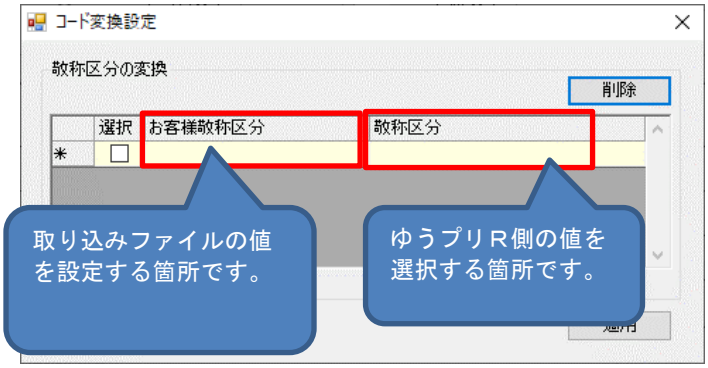
2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-3 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法

簡易編集のフィルタ設定では、以下の項目については、取り込みファイルの値からゆうプリＲの値へ変換して取り込みすることができます。

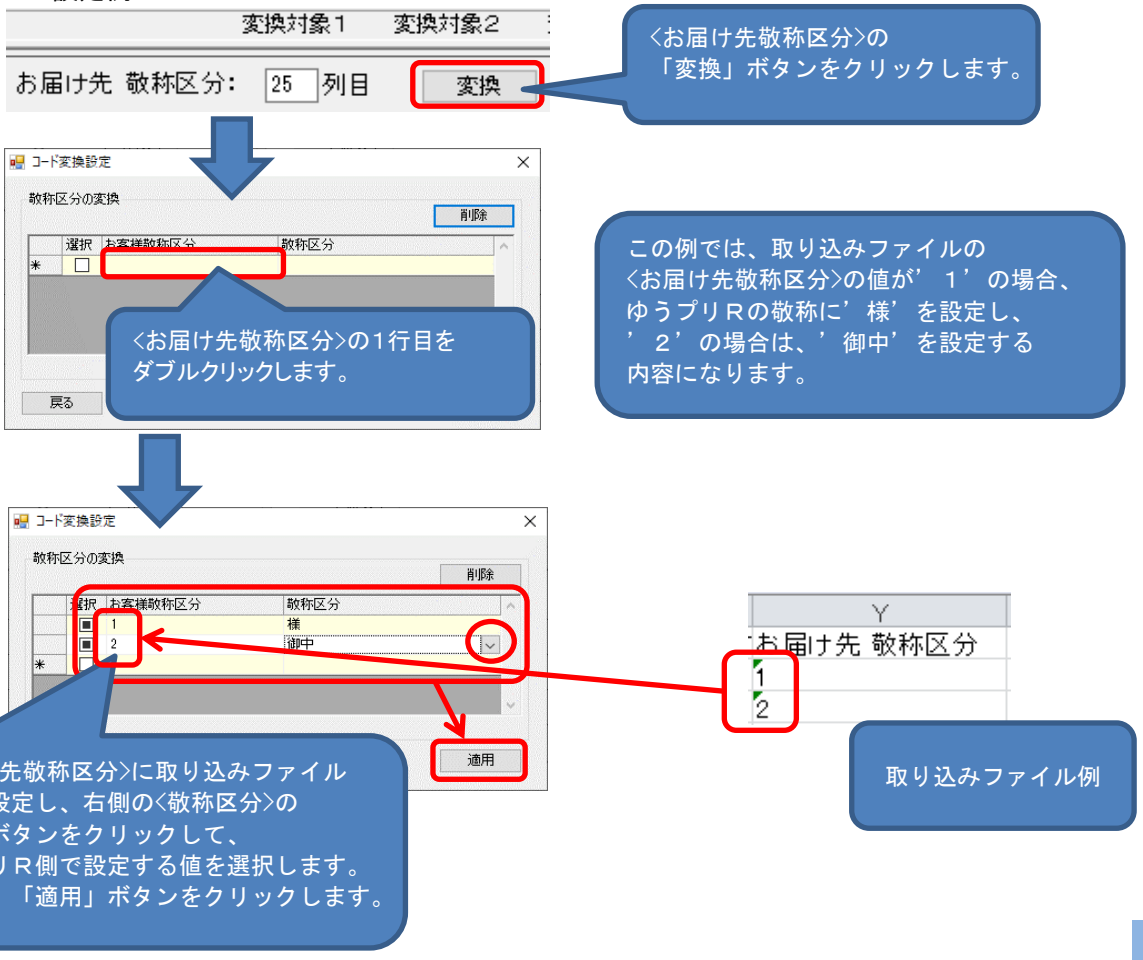
・ お届け先　敬称区分　　・ 商品サイズ/厚さ区分
・ ご依頼主　敬称　　・ 配達時間帯区分
・ 集荷先　敬称（現状、ご利用いただけません）

■ 変換設定画面の構成



① 敬称の変換取込
取り込みファイルの値から敬称を設定する場合は、以下のように変換設定を行います。

■ 設定例

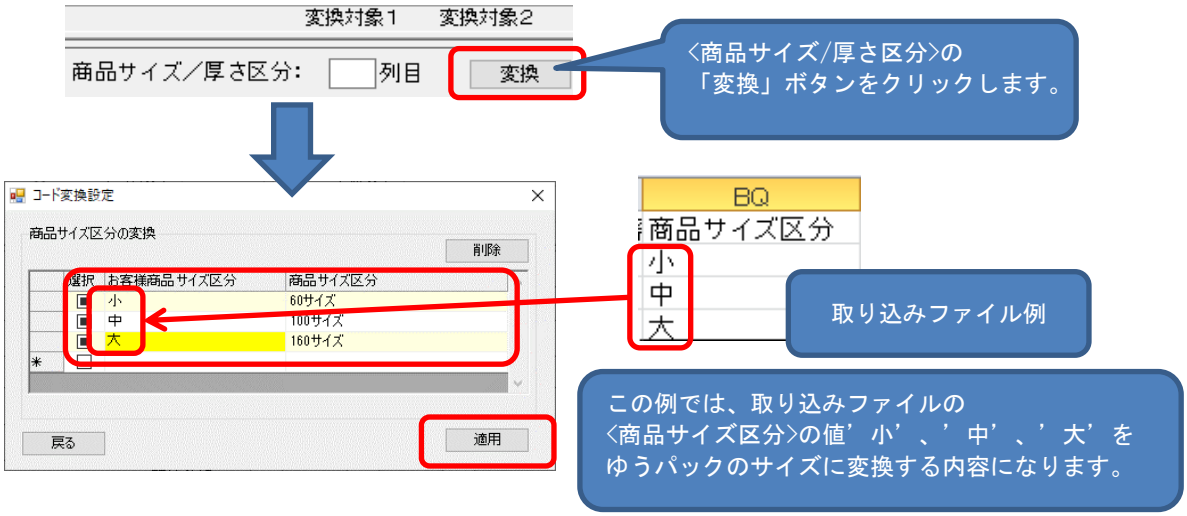


2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-3 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法

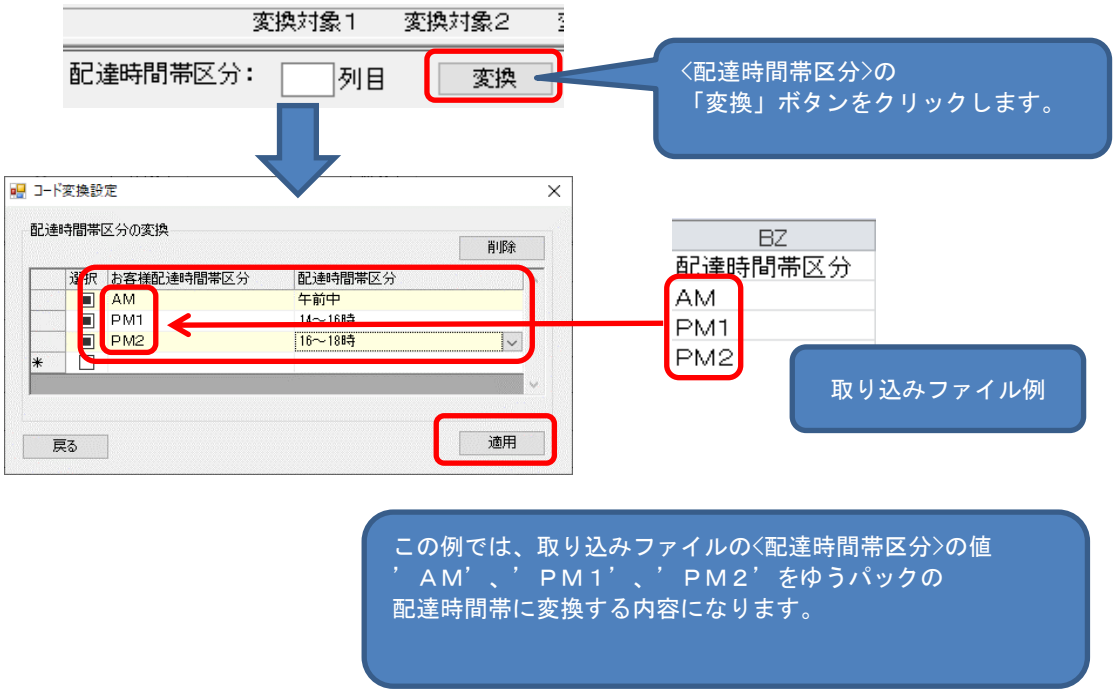
② 商品サイズ/厚さ区分
取り込みファイルの値から商品サイズを設定する場合は、以下のように変換設定を行います。

■ 設定例



③ 配達時間帯区分
取り込みファイルの値から配達時間帯を設定する場合は、以下のように変換設定を行います。

■ 設定例

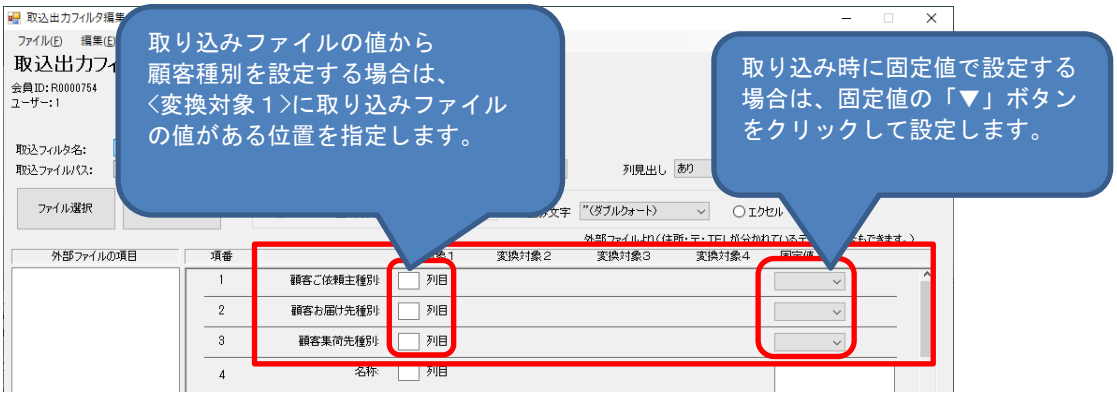


2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-4 顧客データ取り込み時の顧客種別について

CSVファイルやExcelファイルから顧客データへ取り込みする場合、顧客の種別を決定する必要があります。
顧客種別を設定していなくてもエラーとならずに取り込みできますが、データ取り込み後、
顧客データとして参照することができません。データ取り込み時に設定するか、取り込み後に１件毎
設定する作業が必要です。

■ 顧客データを取り込みするフィルタ設定画面



■ 顧客種別について

顧客ご依頼主種別	顧客データをご依頼主データとして使用する場合に設定します。
顧客お届け先種別	顧客データをお届け先データとして使用する場合に設定します。
顧客集荷先種別	顧客データを集荷先データとして使用する場合に設定します。

■ 固定値の設定について

利用しない　　’利用しない’を選択した場合、設定した顧客種別ではデータを使用することができません。

利用する　　’利用する’を選択した場合、設定した顧客種別でデータを使用することができます。

※ ３つの種別について、全て’利用する’に設定することも可能です。

■ 〈顧客お届け先種別〉を使用する場合の利用例

Point

① 取り込む顧客データが全てお届け先用となる場合は、〈顧客お届け先種別〉の固定値に「▼」ボタンをクリックして’利用する’を選択します。
取り込む顧客データが全てご依頼主用となる場合は、〈顧客ご依頼主種別〉の固定値に「▼」ボタンをクリックして’利用する’を選択します。

② 固定値ではなく、取り込みするファイルから顧客種別を決定する場合、フィルタ設定画面の〈列目〉に取り込みファイルの値がある位置を指定し、ファイルには以下の値を設定する必要があります。
〈「0」（利用しない）、「１」（利用する）＞　いずれかの半角数字を設定する。

③ 〈顧客集荷先種別〉を’利用する’として取り込んだ顧客データの使用方法については、別紙〔５．操作説明書　⑫集荷の申し込みをする〕を参照ください。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

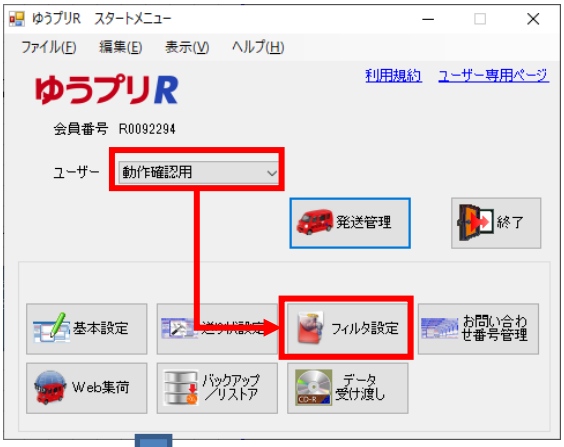
2-5 出力用のフィルタを登録する方法

ゆうプリＲで送り状を発行したデータや顧客データに登録した顧客情報をCSVファイルやExcelファイルで出力することができます。出力する場合は、予め出力用のフィルタを登録する必要があります。
本項では、簡易編集でのフィルタ設定方法をご案内します。

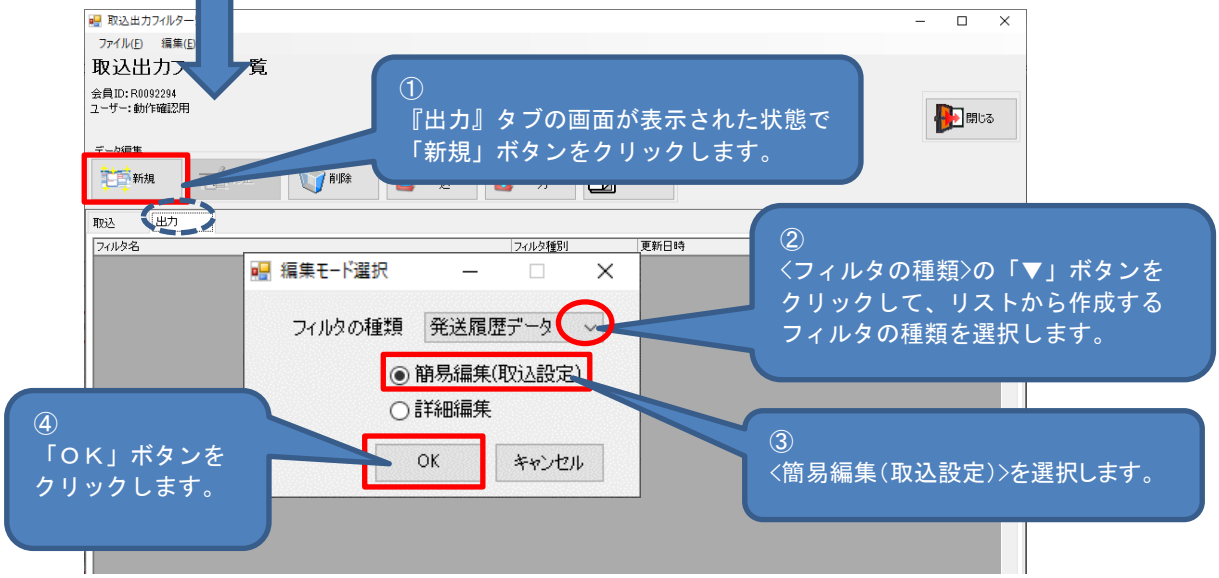
1．出力用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリＲスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを出力する場合を例に説明を行っております。



Point

■ フィルタの種類について
登録できるフィルタは、〈発送データ〉、〈発送履歴データ〉、〈顧客データ〉、〈顧客商品データ〉、〈記事マスタ〉です。
ご利用の用途を間違えないようご注意ください。

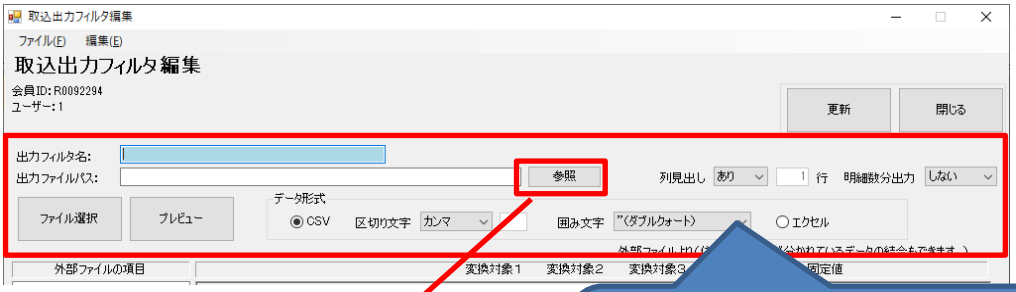
また、〈発送データ〉は送り状印刷前のデータを出力するフィルタです。
送り状印刷後のデータを出力する場合は、〈発送履歴データ〉を選択してください。

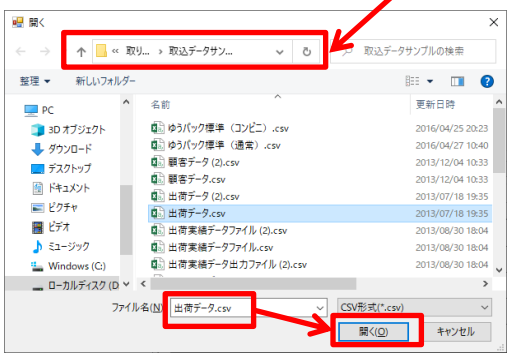
2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

(2) 出力するファイルに関する設定

『取込出力フィルタ編集』画面が開きますので、出力するファイルに関する設定を行います。





①出力フィルタ名を入力します。
②列見出し、明細分出力、データ形式を設定します。
③「参照」ボタンをクリックして、出力する
ファイルの場所及びファイル名を指定します。

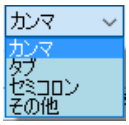
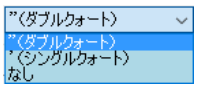
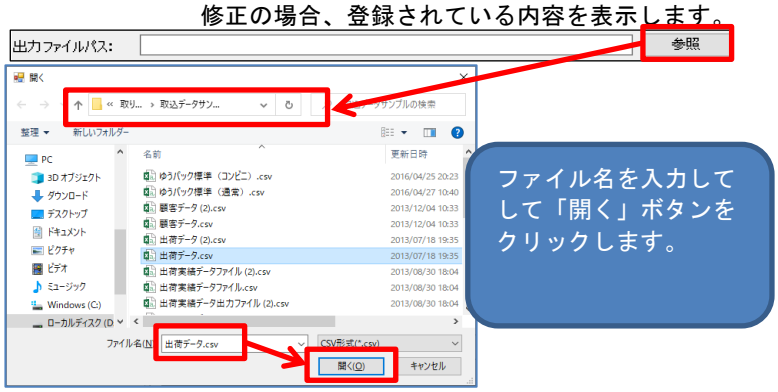
■ 設定項目説明

出力フィルタ名 必須入力項目	登録するフィルタの名前を入力します。 入力形式　：　全角の場合、最大 50文字 半角の場合、最大 100文字　(全半角混在可能) 入力方法　：　直接入力 初期状態　：　未入力(表示なし) ※ フィルタ名は、後から変更することができません。 登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。
列見出し	出力するデータの列見出しの’あり’、’なし’を選択します。 入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして’あり’または’なし’を選択します。 ※ ファイルの１行目にデータの見出しを付ける場合、’あり’を選択します。 初期状態　：　新規の場合、あり(列見出しあり)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
行	列見出しを’あり’にした場合、自動的に’１’を設定します。 入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして’あり’または’なし’を選択します。 初期状態　：　’１’を表示します。
明細数分出力	商品の明細出力を’する’、’しない’を選択します。 入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして’する’または’しない’を選択します。 する　：　全明細分出力されます しない　：　１明細分出力されます。 初期状態　：　新規の場合、「しない」となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<table>
<tr><td>データ形式
必須選択項目</td><td>出力するファイルの形式を選択します。
入力形式　：　チェックボックスによる選択
CSV　：　CSV（カンマ区切り）やタブ区切りされたデータを出力する時に選択します。
Excel　：　Excelデータの出力時に選択します。
※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。
初期状態　：　新規の場合、CSVとなります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>区切り文字
<データ形式>で’CSV’を選択の場合、必須選択項目
  </td><td>出力ファイル内のデータの区切り文字を指定します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。
<table><tr><td>カンマ</td><td>データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>タブ</td><td>データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>セミコロン</td><td>データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>その他</td><td>データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、カンマとなります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>区切り文字（値）
<区切り文字>で’その他’を選択の場合、入力必須項目</td><td>出力ファイル内のデータの区切り文字を入力します。
入力形式　：　半角英数字　１文字
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>囲み文字
<データ形式>で’CSV’を選択の場合必須
  </td><td>出力ファイル内のデータの囲み文字を選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。
<table><tr><td>ダブルクォート</td><td>「”」で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>シングルクォート</td><td>「’」で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>なし</td><td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、’ダブルクォート’となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>出力ファイルパス</td><td>出力するファイルを保存する場所を指定します。
※ 出力する際にも都度変更は可能です。
入力形式　：　「参照」ボタンをクリックして保存先を選択します。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。
 
※ 指定したファイルが存在しない場合は、出力時に作成します。
※ Excelファイルで出力する場合、ファイルの拡張子を指定しない場合、<xls>になります。<xlsx>で出力する場合は、ファイル名の後に拡張子を付加してください。</td></tr>
</table>

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

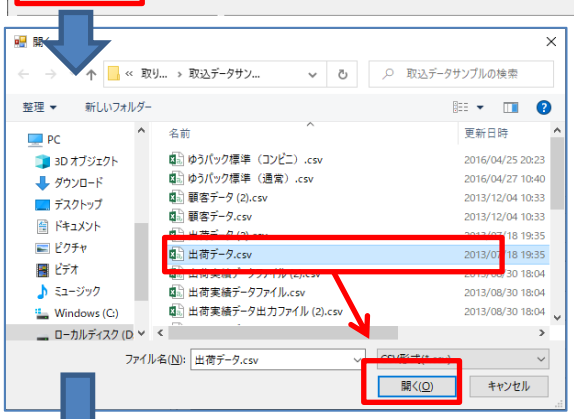
2-5 出力用のフィルタを登録する方法

ファイル選択	出力するファイルの項目を<外部ファイルの項目>に表示します。
プレビュー	出力するデータをフィルタ編集した値で見ることができます。 編集途中の確認に使用します。

(3) 出力ファイルの項目とゆうプリRの項目との紐付

出力するファイルの各項目をゆうプリRのどの項目に取り込みするか設定を行います。

① 「ファイル選択」ボタンをクリックします。



② 出力するファイルを選択して
「開く」ボタンをクリックします。

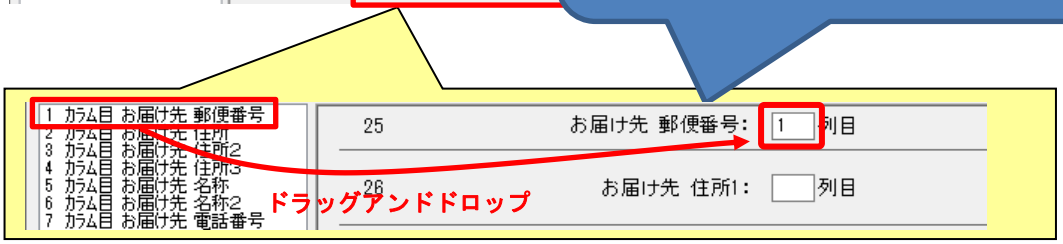
Point ファイルを選択しなくても紐付は可能です。
予め出力用のファイルがある場合に選択します。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

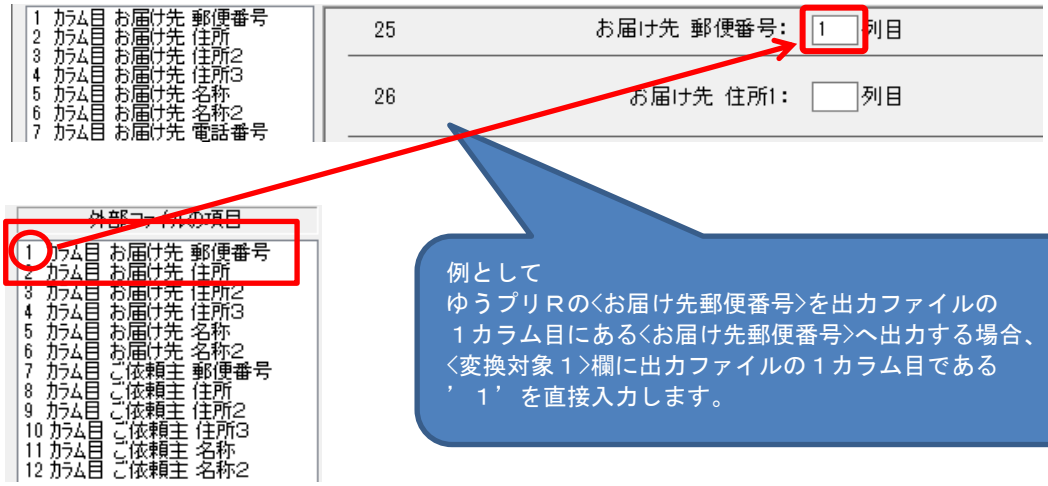
2-5 出力用のフィルタを登録する方法

③ 出力ファイルの項目を紐付します。
下記の①～③の何れかの方法で出力する項目を紐付します。

紐付方法① 出力ファイルの項目をゆうプリＲの変換対象欄にドラッグアンドドロップします。



紐付方法② 出力ファイルの項目番号をゆうプリRの項目の変換対象欄に直接入力する。



2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

紐付方法③ ゆうプリＲの項目について出力順番を指定する
※ この場合、予めファイルを選択する必要はありません。ゆうプリＲ側の項目で必要な項目について出力する順番を指定してください。

■ 出力する順番について
上記例の場合、ファイルの左から以下の順で出力されます。
〈お届け先郵便番号〉〈お届け先住所１〉～〈お届け先住所３〉〈お届け先名称１〉〈お届け先名称２〉

■ 出力ファイルの見出し項目名について
フィルタ設定で〈列見出し〉を’あり’に指定した場合、ファイルの１行目に項目名が出力されますが、ゆうプリＲ側の項目で出力されるため項目名を変更することはできません。

Point

出力する順番は、空白カラムがある場合、削除して出力します。
例えば、ファイルに１カラム目と３カラム目に出力し、２カラム目を飛ばして出力することができません。この場合、１カラム目と２カラム目に出力します。

出力設定

お届け先 郵便番号: 1 列目
お届け先 住所1: 3 列目

出力例)
ゆうプリＲの出力設定で〈お届け先郵便番号〉を１カラム目、〈お届け先住所１〉を３カラムに出力する設定としても、出力されたファイルには、１カラム目に〈お届け先郵便番号〉、２カラム目に〈お届け先住所１〉を出力します。
空白カラムを含めることができません。

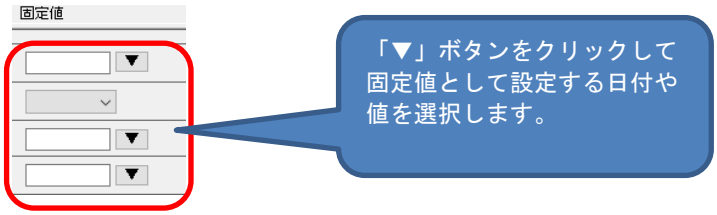
出力結果

A	B
お届け先 郵便番号	お届け先 住所
1410031	東京都品川区西五反田

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

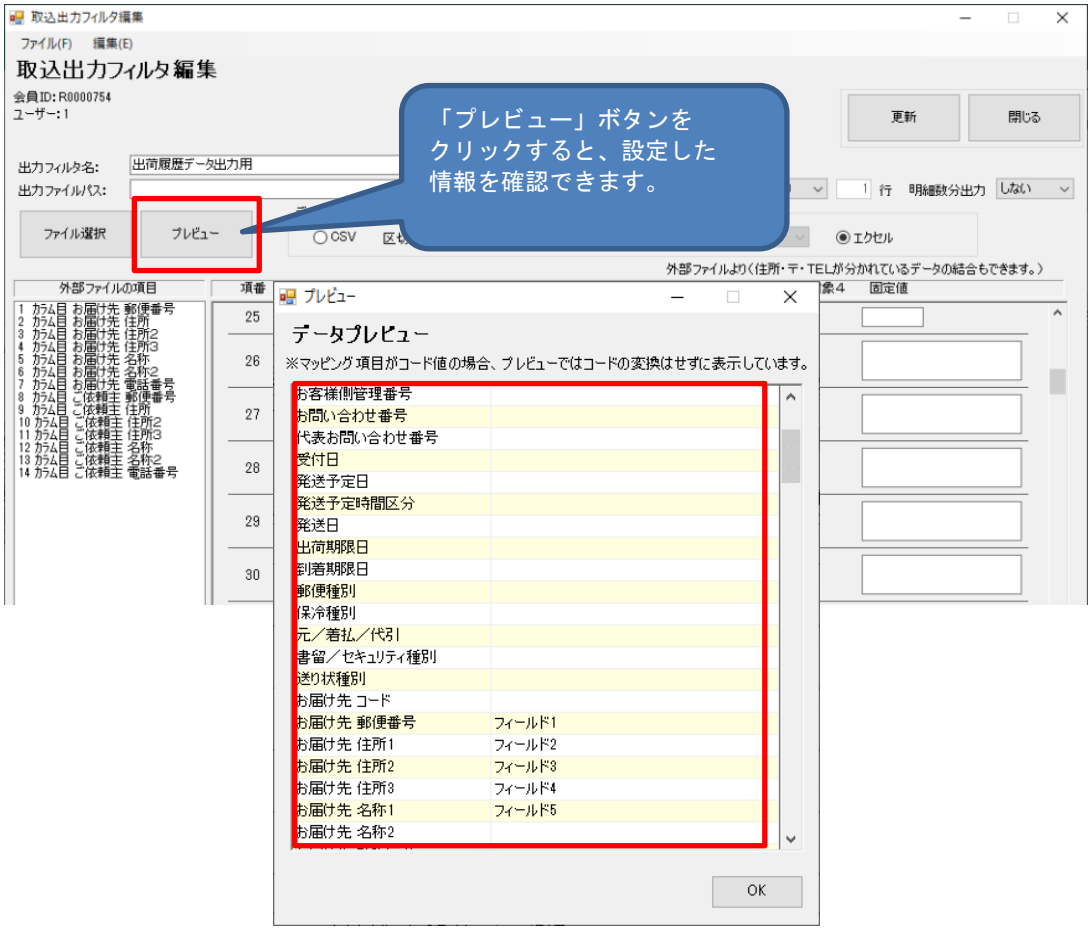
外部ファイルの項目	出力するファイルを選択すると、〈外部ファイル項目〉にファイルの項目が表示されます。
変換対象１	ゆうプリＲの項目が出力ファイルのどの位置か指定します。 入力方法　：　直接入力　または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
変換対象２	ゆうプリＲの項目が出力ファイルのどの位置か指定します。 入力方法　：　直接入力　または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 以下の項目で指定が行えます。 振替口座：　列目　列目　列目 総合口座：　列目　列目　列目 指定した場合、各列に同じ値が出力されます。
変換対象３	ゆうプリＲの項目が出力ファイルのどの位置か指定します。 入力方法　：　直接入力　または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 以下のような項目で指定が行えます。 振替口座：　列目　列目　列目 総合口座：　列目　列目　列目 指定した場合、各列に同じ値が出力されます。
変換対象４	現在、未使用の項目です。
固定値	変換対象の列位置が指定されていて、かつ固定値が指定されている項目は指定した固定値の情報が出力されます。 ■ 指定した列位置の項目に固定値の情報を出力させる方法 ・ 変換対象の列位置が指定されている ・ 固定値が設定されている  ※ 固定値のみ設定を行われても出力されません。 ※ 変換対象の列位置を指定した項目のデータと固定値が同時に設定されている場合、固定値が優先して出力されます。 例として、登録データの敬称は’様’で登録されていて、固定値で’御中’を指定した場合、出力したファイルには’御中’のコード値を出力します。

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

(4) 作成したフィルタ設定の登録

出力する項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



2 フィルタの作成方法(簡易編集)

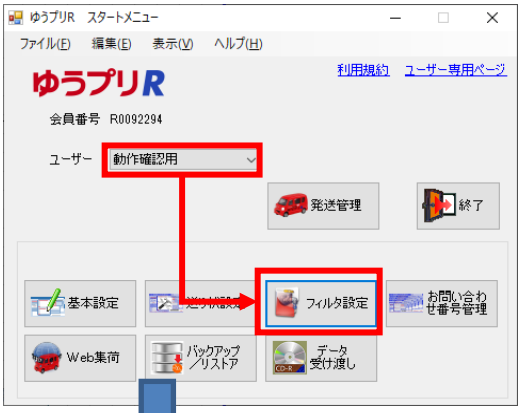
2-6 登録したフィルタを変更・削除する方法

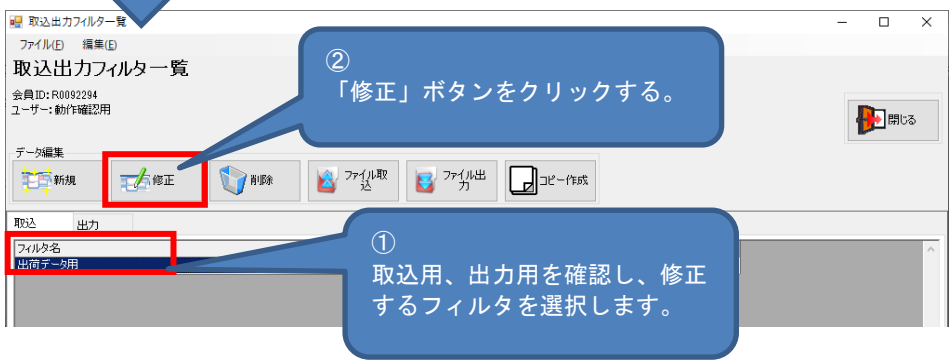
1．登録したフィルタの修正方法

登録したフィルタを修正する場合は、以下の操作で行ってください。

(1) 取込出力フィルター覧画面を開きます。

【ゆうプリＲスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。





2 フィルタの作成方法(簡易編集)

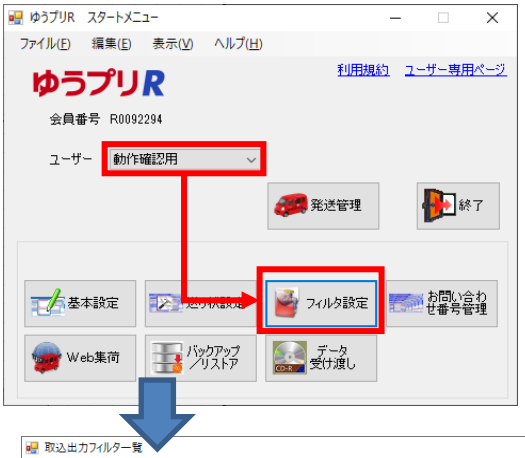
2-6 登録したフィルタを変更・削除する方法

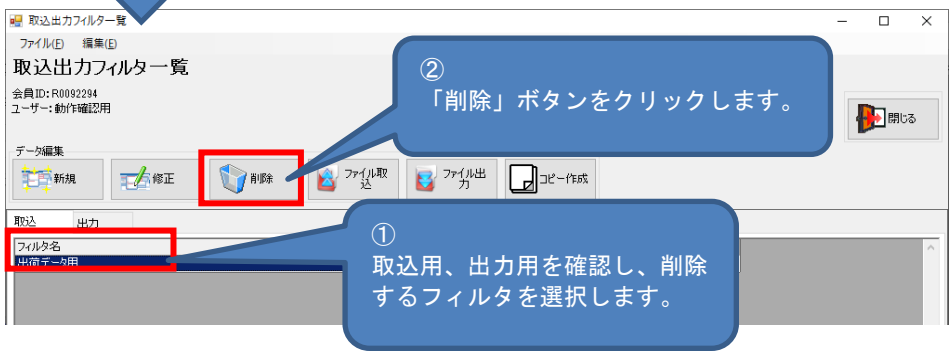
2．登録したフィルタの削除方法

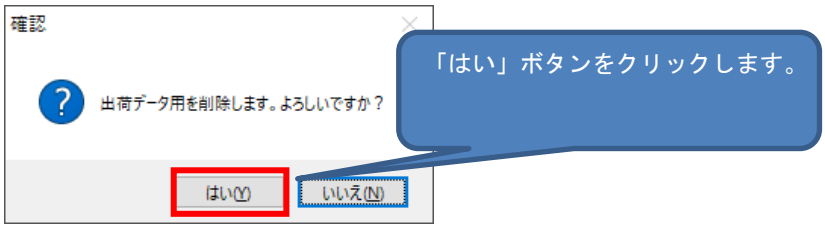
登録したフィルタを削除する場合は、以下の操作で行ってください。
※ 削除を行うと復元はできませんのでご注意ください。

(1) 取込出力フィルター覧画面を開きます。

【ゆうプリＲスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。







3 フィルタの作成方法（詳細編集）

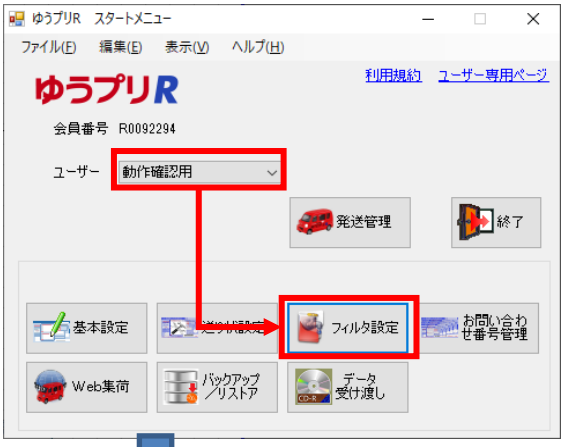
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

ゆうプリＲにCSVファイルやExcelファイルでデータを取り込みする場合は、予め取り込み用のフィルタを登録する必要があります。本項では、詳細編集でのフィルタ設定方法をご案内します。

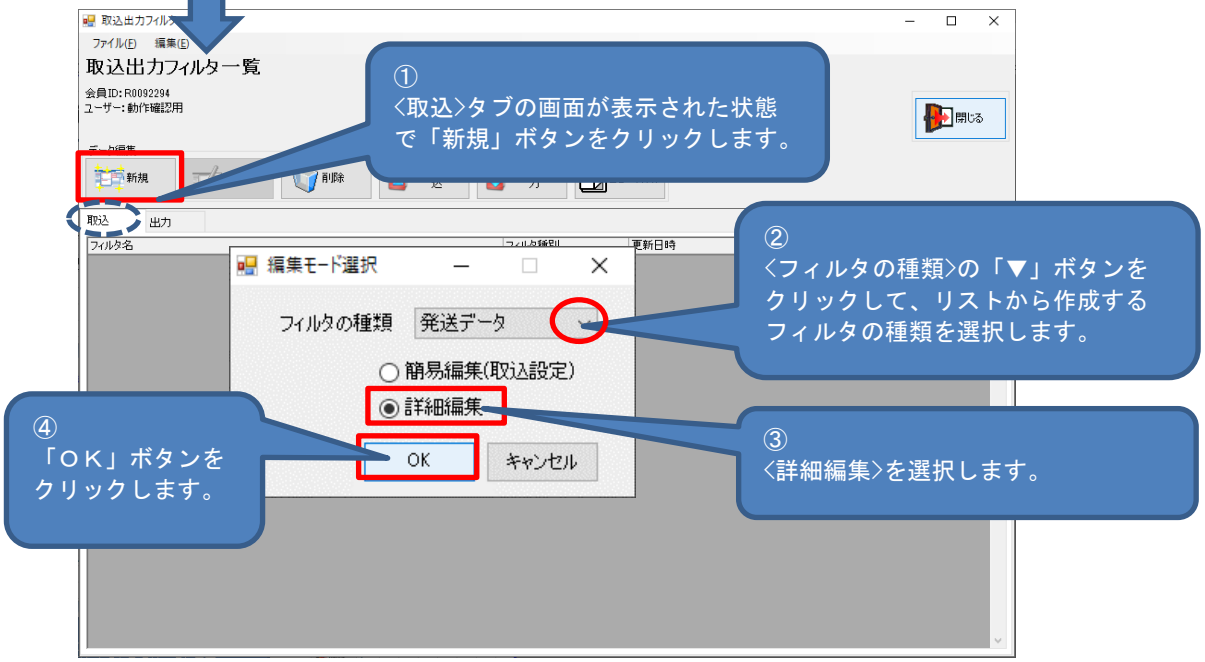
１．取り込み用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリＲスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを取り込みする場合を例に説明を行っております。



① 〈取込〉タブの画面が表示された状態で「新規」ボタンをクリックします。

② 〈フィルタの種類〉の「▼」ボタンをクリックして、リストから作成するフィルタの種類を選択します。

③ 〈詳細編集〉を選択します。

④ 「ＯＫ」ボタンをクリックします。

Point

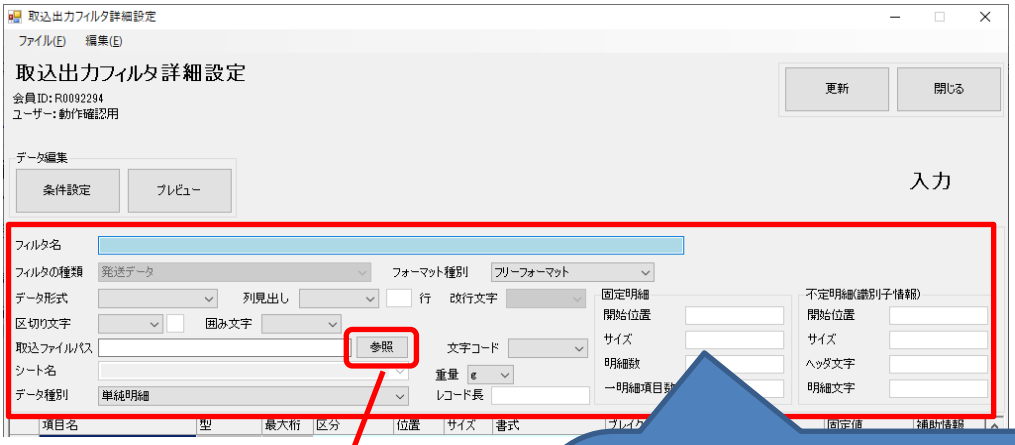
■ フィルタの種類について
登録できるフィルタは、〈発送データ〉、〈顧客データ〉、〈顧客商品データ〉、〈記事マスタ〉です。
ご利用の用途を間違えないようご注意ください。

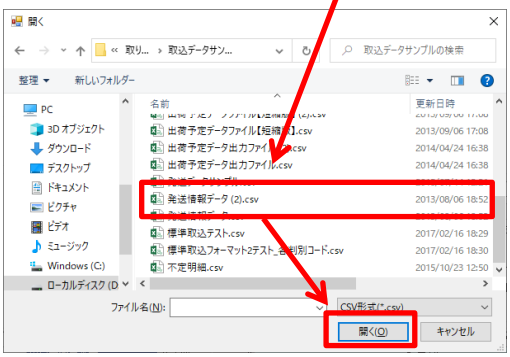
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(2) 取り込みするファイルに関する設定

『取込出力フィルタ詳細設定』画面が開きますので、取り込みするファイルに関する設定を行います。





①フィルタ名を入力します。
②フォーマット種別を選択します。
③列見出し、データ形式を設定します。
　CSVファイルの場合、区切り文字、囲み文字を選択します。
④固定長テキストの場合、改行文字、レコード長を選択します。
⑤文字コードを選択します。
⑥重量を選択します。
⑦Excelファイルの場合、シート名を選択します。
⑧「参照」ボタンをクリックして、取り込みするファイルを選択します。
⑨データ種別を選択します。

■ 設定項目説明

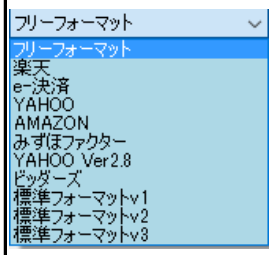
取込フィルタ名 必須入力項目	フィルタに任意の名前を付けます。 入力形式　：　全角の場合、最大 50文字 半角の場合、最大 100文字　（全半角混在可能） 入力方法　：　直接入力 初期状態　：　未入力（表示なし） ※ フィルタ名は、後から変更することができません。 登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。
フィルタの種類	編集モード選択画面で選択したフィルタの種類を表示します。 フィルタの種類は変更ができませんので、再度、編集モード選択画面から選択を行ってください。

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

フォーマット種別
必須選択項目



取り込みデータに合わせて自由に取り込みの設定が行えるフリーフォーマットと楽天やYahooデータ等を取り込みするための専用のフォーマットがあります。
取り込みするデータに合わせてフォーマット種別を選択してください。

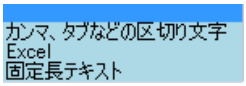
入力方法　：「▼」ボタンをクリックしてフォーマットを選択します。

フリーフォーマット	自由に取込設定を行う時に選択します。
楽天	楽天データの取込設定時に選択します。
e-決済	e-決済データの取込設定時に選択します。
YAHOO	Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアマネージャーのフォーマット)
AMAZON	Amazonデータの取込設定時に選択します。
みずほファクター	みずほファクターデータの取込設定時に選択します。
YAHOO Ver2.8	Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアクリエイターProのフォーマット)
ビッダーズ	ビッダーズデータの取込設定時に選択します。
標準フォーマットv1	標準フォーマットv1の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。
標準フォーマットv2	標準フォーマットv2の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。
標準フォーマットv3	標準フォーマットv3の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。

初期状態　：　新規の場合、フリーフォーマットとなります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

※ 楽天やYahoo等の注文データ取り込みに関しましては、
別紙〔７．楽天、アマゾン等の各社注文データ取込操作〕を
参照ください。

データ形式
必須選択項目



取り込みするファイルの形式を選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックしてデータ形式を選択します。

カンマ、タブなどの区切り文字	CSV（カンマ区切り）やTAB区切りされたデータの取り込み設定時に選択します。
Excel	Excelデータの取り込み設定時に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。
固定長テキスト	固定長テキストデータの取り込み設定時に選択します。

初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

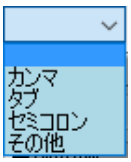
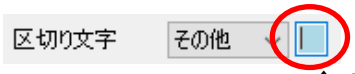
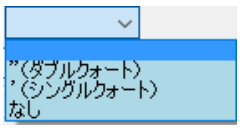
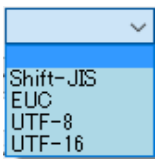
列見出し
データ形式で固定長テキスト以外を選択した場合、必須選択項目

取り込みするデータの列見出しの’あり’、’なし’を選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして’あり’または’なし’を選択します。
※ ファイルの１行目にデータの見出しがある場合、
’あり’を選択します。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

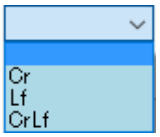
■ 設定項目説明

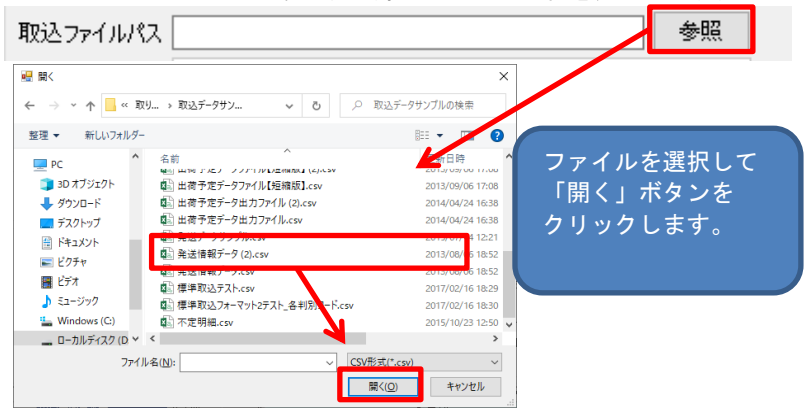
<table>
<tr><td>行
列見出しを’あり’にした場合は、必須入力項目</td><td>列見出しを’あり’にした場合、見出しの行数を指定します。
入力形式　：　半角数字（最大3桁）
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>区切り文字
データ形式で<カンマ、タブなどの区切り文字>を選択の場合、必須選択項目
  </td><td>取り込みファイル内のデータの区切り文字を指定します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。
<table><tr><td>カンマ</td><td>データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>タブ</td><td>データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>セミコロン</td><td>データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。</td></tr><tr><td>その他</td><td>データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>区切り文字（値）
<区切り文字>で’その他’を選択の場合、入力必須項目</td><td>取り込みファイル内のデータの区切り文字を入力します。
入力形式　：　半角英数字　1桁
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。
 
↑　この部分にファイルの区切り文字を入力します。</td></tr>
<tr><td>囲み文字
データ形式で’カンマ、タブなどの区切り文字’を選択の場合、必須選択項目
  </td><td>取り込みファイル内のデータの囲み文字を選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。
<table><tr><td>ダブルクォート</td><td>「”」で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>シングルクォート</td><td>「’」で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>なし</td><td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>文字コード
  </td><td>取り込みするデータの文字コードを選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして文字コードを選択します。
<table><tr><td>Shift-JIS</td><td>Shift-JISを指定する場合に選択します。</td></tr><tr><td>EUC</td><td>EUCを指定する場合に選択します。</td></tr><tr><td>UTF-8</td><td>UTF-8を指定する場合に選択します。</td></tr><tr><td>UTF-16</td><td>UTF-16を指定する場合に選択します。</td></tr></table>※　データ形式が<Excel>の場合、どれを選択しても<Shift-JIS>で取り込みます。それ以外は、文字化けとなるため作成元に確認してください。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
</table>

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

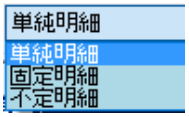
<table>
<tr><td>改行文字
データ形式で<固定長テキスト>を選択の場合、必須選択項目
 
</td><td>取り込みするデータの改行文字を選択します。
入力形式　：「▼」ボタンをクリックして改行文字を選択します。
<table><tr><td>Cr</td><td>Crでの改行の場合に選択します。</td></tr><tr><td>Lf</td><td>Lfでの改行の場合に選択します。</td></tr><tr><td>CrLf</td><td>CrLfでの改行の場合に選択します。</td></tr></table>※ ファイルの作成元にご確認ください。

初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>レコード長
データ形式で<固定長テキスト>を選択の場合、必須入力項目</td><td>取り込みするデータのレコード長を入力します。
入力形式　：　半角数字　最大 4桁
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>取込ファイルパス</td><td>ファイル取り込み時に初期表示させるファイルの保存場所を指定します。
※ 取り込みする際にも都度変更は可能です。
入力形式　：　「参照」ボタンをクリックして選択します。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。
 
</td></tr>
<tr><td>シート名
データ形式で<Excel>を選択した場合、必須選択項目</td><td>取り込みファイルのデータが存在するExcelシート名を入力します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックしてシート名を選択します。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>重量</td><td>取り込みするデータの重量の単位を選択します。
「条件設定」ボタンをクリックした際に表示される、<重量>の単位を選択することができます。
※ ゆうプリＲの項目は、<重量合計（ｇ）>に取り込まれた値を参照します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして重量の単位を選択します。
<table><tr><td>g</td><td>重量の単位がgの場合に選択します。</td></tr><tr><td>kg</td><td>重量の単位がkgの場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、’ｇ’　となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
</table>

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

データ種別  	取り込みするデータ種別を選択します。 入力形式　：「▼」ボタンをクリックしてデータ種別を選択します。 単純明細：１レコード１明細タイプのデータの場合に選択します。（１ヘッダ付明細／１レコード） 固定明細：１レコードあたり複数の品名明細データの場合に選択します。（１伝票・複数明細／１レコード） 不定明細：レコード区分毎でのヘッダ／明細が分かれるデータの取り込みの場合に選択します。（レコード区分によるヘッダ／明細識別） 初期状態　：新規の場合、単純明細となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

(3) 取り込みファイルの項目とゆうプリＲの項目との紐付

取り込みするファイルの各項目をゆうプリＲのどの項目に取り込みするか設定を行います。
本項目では、単純明細データを例に説明します。固定明細データ、不定明細データの設定は本マニュアル〔③3-2　固定明細データのフィルタ設定〕、〔③3-3　不定明細データのフィルタ設定〕を参照ください。

① 単純明細データの例
単純明細データとは、１件のデータに明細データが１件のみのデータをいいます。
明細データは、ゆうプリＲの以下のフィルタ項目になります。

〈商品番号〉、〈品名〉、〈個数〉、〈重量(g)〉、〈単価〉、〈消費税率区分〉、〈金額〉

１レコードに取り込みする品名が１つの場合、単純明細データとなります。

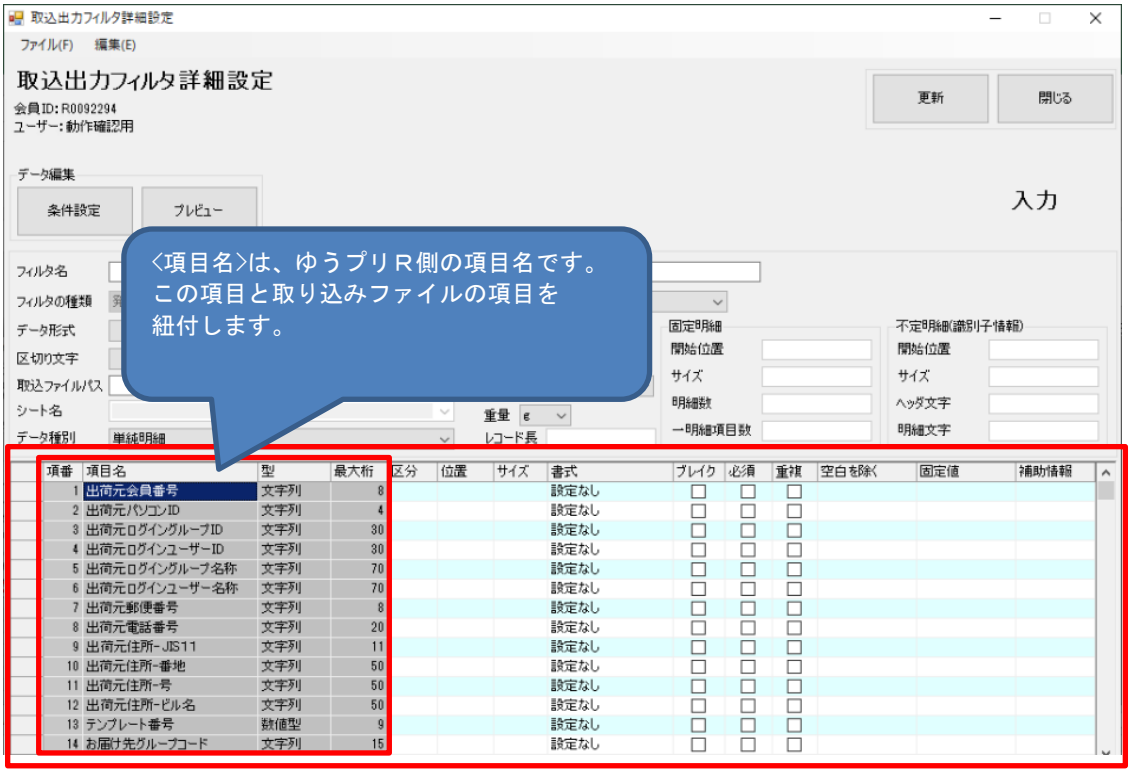
P	Q	R	S	T	U	V
お届け先電話番号	品名CD	商品名	個数	品代金	消費税	サイズ
03-1111-2222	kZn2658	アクセサリー	3			60
03-1111-2222	kZn2659	腕時計	2			60
03-1111-2222	wYM02687	パソコンディスプレイ	1			BigSize

この例では、明細データに該当する〈品名ＣＤ〉、〈商品名〉、〈個数〉が１レコードに１件のみとなっています。こよのうなデータ構成が単純明細になります。
明細データが複数ある場合は、固定明細あるいは不定明細になります。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

② 取り込みするデータに関する設定
取り込みするファイルの各項目をゆうプリＲのどの項目に取り込みするか設定を行います。



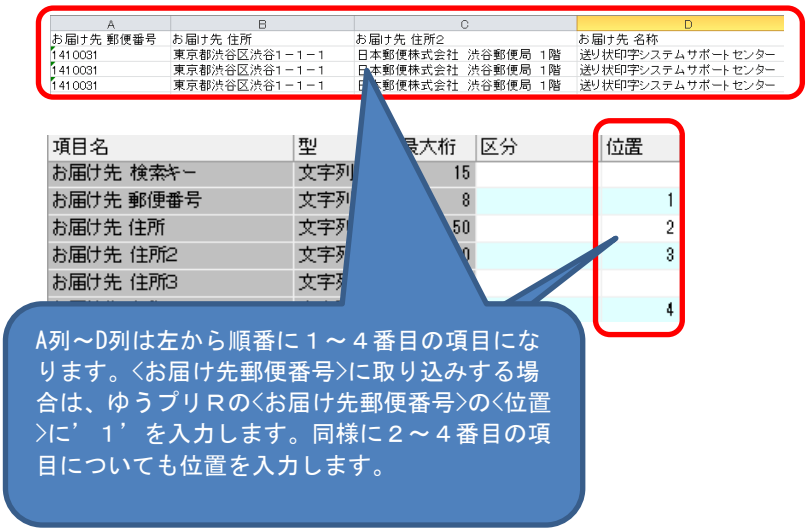
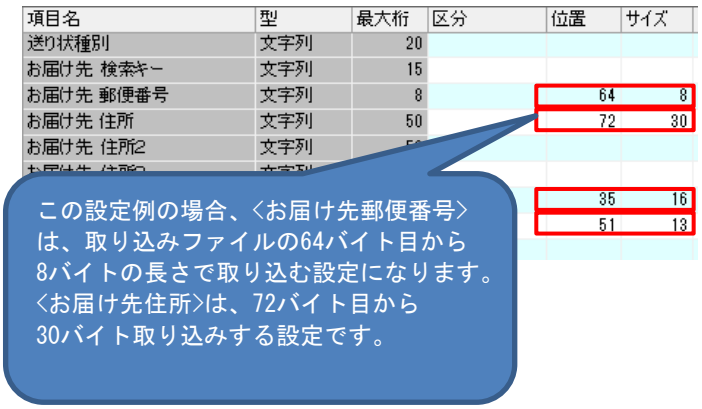
■ 設定項目説明

区分 データ種別で’不定明細’を選択した場合、必須選択項目 	不定明細データの取り込み時のヘッダ／明細区分を設定します。 入力形式　：「▼」ボタンをクリックして区分を選択します。 明細：明細部の取込項目の場合に選択します。 ヘッダー：ヘッダー部の取込項目の場合に選択します。 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

位置 固定値設定以外は必須設定項目	取り込みするファイルのデータ項目位置を指定します。 入力形式　：半角数字 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 【設定例】 
サイズ データ形式で’固定長テキスト’を選択した場合、必須入力項目	取り込みするデータ項目のサイズ（項目桁数）を指定します。 入力形式　：半角英数字　最大 4桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 【設定例】  ※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。 なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

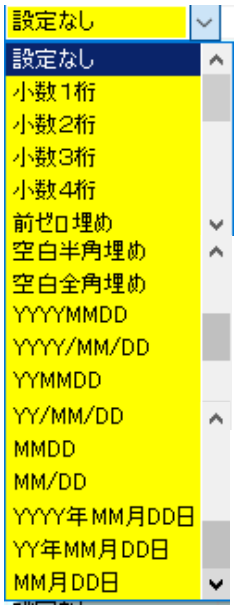
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

書式

データ型が日付型の項目の場合、必須選択項目



取り込みデータ内の書式から変換して取り込む必要がある場合に設定します。

入力形式　：「▼」ボタンをクリックして書式を選択します。

設定なし	特に設定がない場合に選択します。
小数１桁	取り込みでは使用しておりません。 出力時に、設定した書式で出力します。
小数２桁	取り込みでは使用しておりません。 出力時に、設定した書式で出力します。
小数３桁	取り込みでは使用しておりません。 出力時に、設定した書式で出力します。
小数４桁	取り込みでは使用しておりません。 出力時に、設定した書式で出力します。
前ゼロ埋め	値の前にゼロ埋めされているデータの場合に選択します。
空白半角埋め	値の前に空白（半角）埋めされているデータの場合に選択します。
空白全角埋め	値の前に空白（全角）埋めされているデータの場合に選択します。
YYYYMMDD	日付の書式については、別紙〔８．入出力インターフェース仕様書〕を参照ください。 ゆうプリＲで日付データを取り込みする場合、書式の設定は不要です。別紙〔８．入出力インターフェース仕様書〕の記載の日付形式であれば取り込みが可能です。
YYYY/MM/DD	
YYMMDD	
YY/MM/DD	
MMDD	
MM/DD	
YYYY年MM月DD日	
YY年MM月DD日	
MM月DD日	

初期状態　：新規の場合、「設定なし」となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

書式	取込データ例	取込後イメージ
設定なし	設定なし	取込データそのまま
前ゼロ埋め	001000	1000
空白半角埋め	″空白半角″1000	1000
空白全角埋め	″空白全角″1000	1000

ブレイク

取り込みファイルの特定項目をキーにデータをまとめて取り込みします。

入力形式　：チェックボックスにチェックを付けて選択します。
チェックなし ⇒　ブレイク指定しない
チェックあり ⇒　ブレイク指定する

初期状態　：新規の場合、未入力（チェックなし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

※ ブレイク機能の詳細については、本マニュアル〔③3-5　取込ファイルの特定項目をキーにまとめる方法（ブレイク設定）〕を参照ください。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

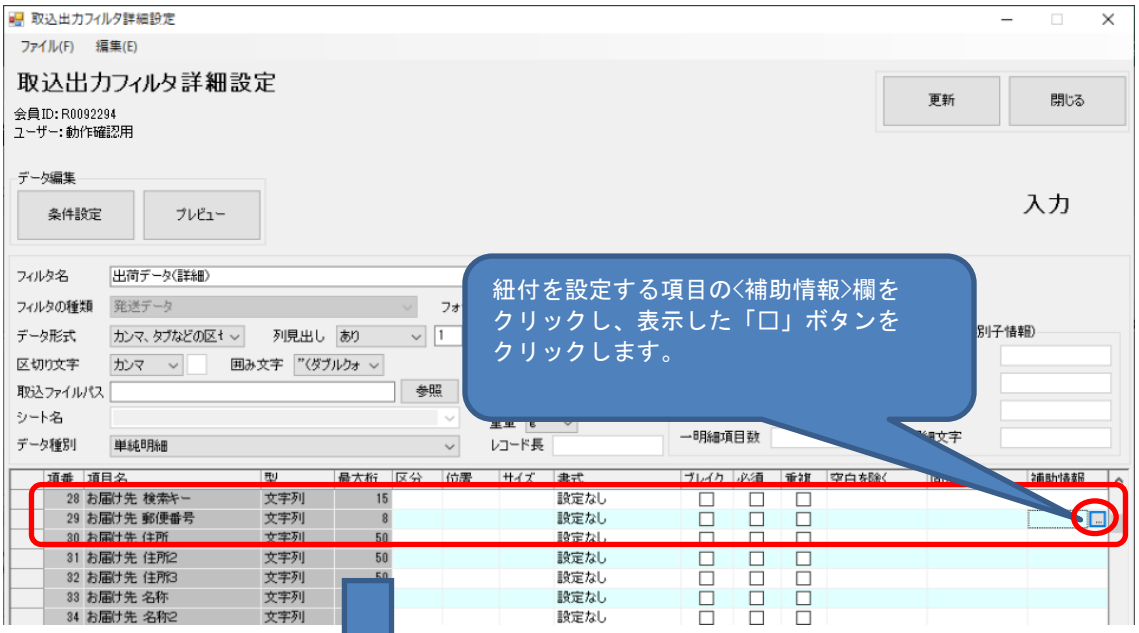
必須	取り込みする項目を必須項目とします。 入力形式　：チェックボックスにチェックを付けて選択します。 チェックなし ⇒　必須にしない チェックあり ⇒　必須にする 初期状態　：新規の場合、未入力（チェックなし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
重複	取り込みファイルの項目を重複チェックの対象とします。 入力形式　：チェックボックスにチェックを付けて選択します。 チェックなし ⇒　重複を許容する チェックあり ⇒　重複をエラーとする 初期状態　：新規の場合、未入力（チェックなし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 ※ 対象データは〈取り込みファイル内〉、〈予定一覧〉、〈履歴一覧〉です。
空白を除く 	取り込みする項目の空白部分を除いて取り込みします。 ※ データ取り込み時に、結合設定をせずに一つの項目のみを取り込む場合は、両端の空白を除いた形で取り込む為、設定は必要です。 結合設定を行う場合のみ必要に応じて設定してください。 結合設定の詳細は、本マニュアル〔③3-6　取込ファイルの項目を結合して取り込む方法〕を参照ください。 例として’全角両端’を指定した場合 〈□□名前１□□〉と〈□□名前２□□〉を結合した場合 ⇒〈名前１名前２〉として取り込みします。 入力形式　：「▼」ボタンをクリックして空白処理を選択します。 半角　左端：項目左端の空白（半角）部分を除きます。 半角　右端：項目右端の空白（半角）部分を除きます。 半角　両端：項目両端の空白（半角）部分を除きます。 全角　左端：項目左端の空白（全角）部分を除きます。 全角　右端：項目右端の空白（全角）部分を除きます。 全角　両端：項目両端の空白（全角）部分を除きます。 全半　左端：項目左端の空白（全角・半角）部分を除きます。 全半　右端：項目右端の空白（全角・半角）部分を除きます。 全半　両端：項目両端の空白（全角・半角）部分を除きます。 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
固定値	取り込みデータの値ではなく、固定値を設定する場合に指定します。 取り込みする項目に固定値をセットします。 入力形式　：全半角混在可能 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 ※ 取り込みファイルの項目位置を設定してあり、かつ固定値を設定した場合、エラーが発生する可能性がございますので、重複した設定を行わないでください。 また、『取込補助』画面で固定値を設定した場合、修正や削除は『取込補助』画面で行ってください。 『取込補助』画面以外では反映されません。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

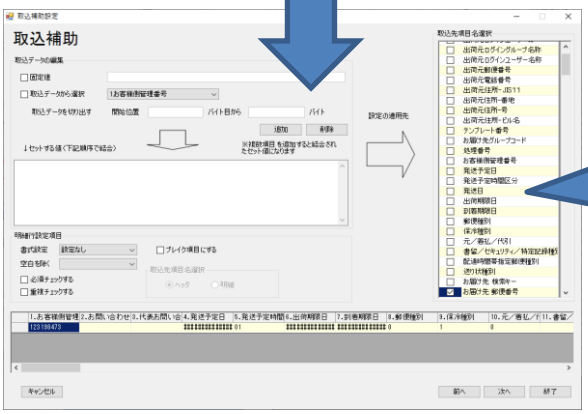
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

③ 取り込みファイルの項目とゆうプリＲの項目との紐付
下記の(a)または(b)の何れかの方法で取り込みする項目を紐付します。

紐付方法(a) 取込補助画面を使用して取り込みファイルの項目とゆうプリＲの項目を設定します。
取込補助画面では、データの取り込みに関する詳細な設定を行うことができます。
取込補助画面は、以下の操作で起動できます。

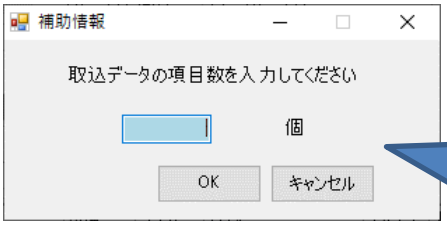


紐付を設定する項目の<補助情報>欄をクリックし、表示した「□」ボタンをクリックします。



取り込みするファイルを正しく読み込みができた場合、この『取込補助』画面が表示されます。

■ データが認識されない場合の画面

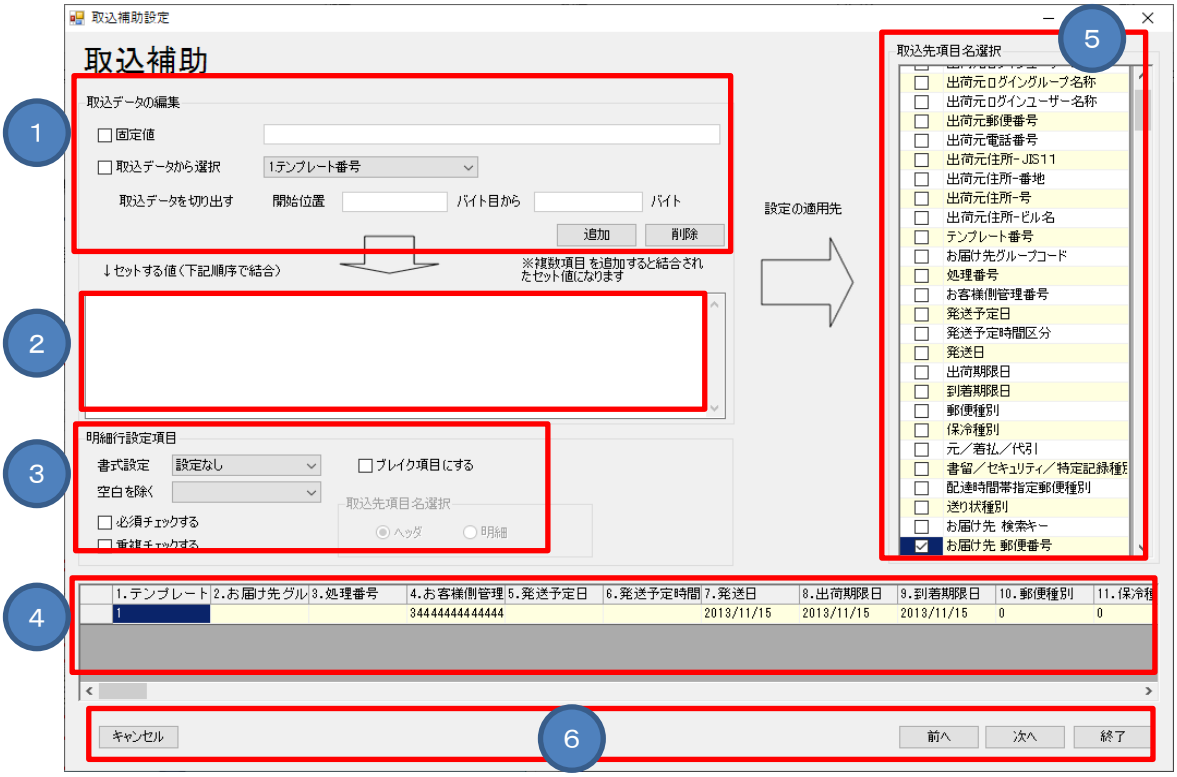


こちらの画面が表示された場合は、取り込みファイルを正しく読み込みができていないため、取り込みファイルの場所やシート名の選択等が正しいか設定を確認してください。

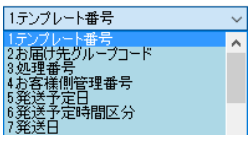
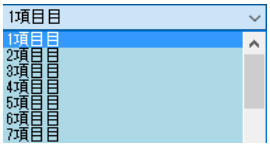
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 『取込補助』画面の構成



■ 画面項目説明

①	固定値	<固定値>をセットする場合、チェックボックスにチェックを付け値を入力します。**空白のみ、および先頭の空白は削除されます。** 入力形式　：全半角混在可能 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	取込データから選択	取り込む項目を<取込データから選択>にチェックし選択します。 入力形式　：「▼」ボタンをクリックして取り込みする項目を選択します。 <列見出し>に”あり”を設定している場合は、取り込むデータの列見出し（列名）がプルダウンの選択肢となります。 <列見出し>に”なし”を設定している場合は、取り込むデータの列番号がプルダウンの選択肢となります。 列見出し：あり  列見出し：なし  初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

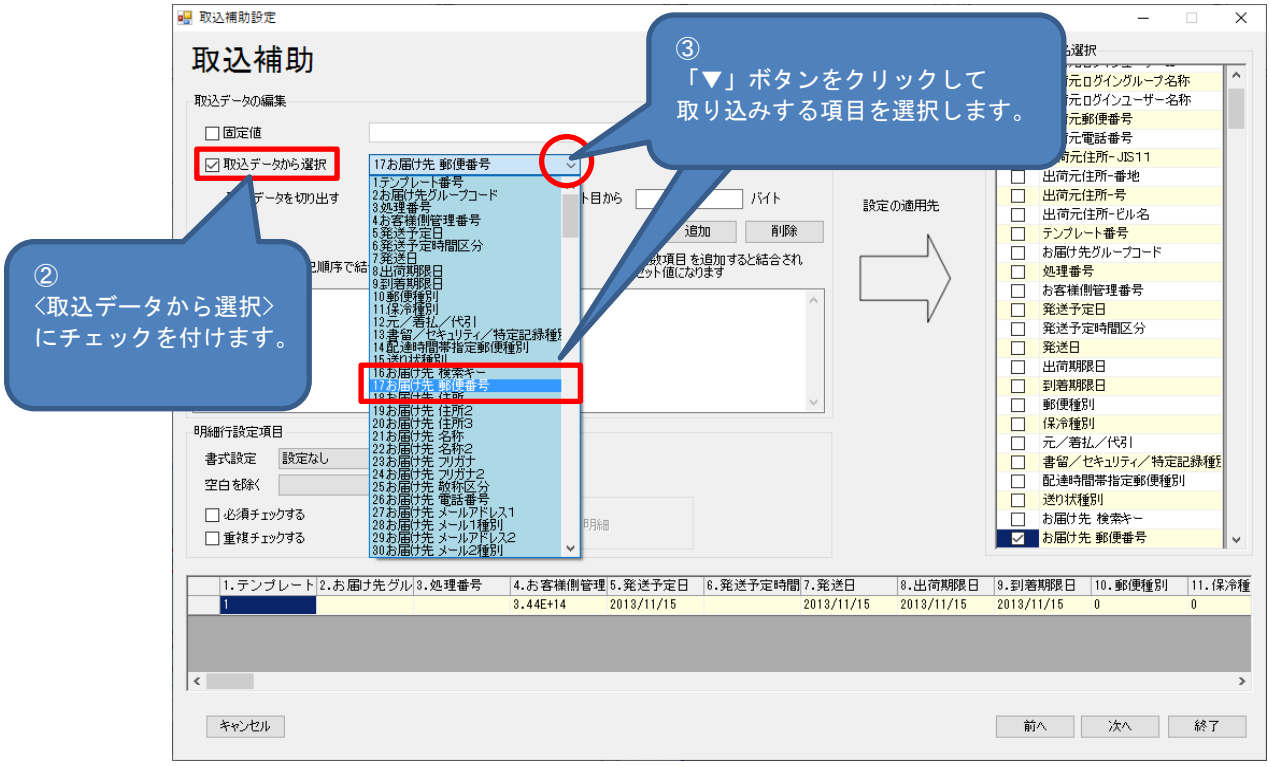
■ 画面項目説明

①	取込データを切り出す	取り込み項目から切り出す文字列の開始位置と文字数を指定します。 入力形式　：半角数字 例) 取込データ　〈東京都港区虎ノ門〉のうち、〈港区虎ノ門〉の 全角5文字を切り出して取り込む。 開始位置　[7]バイト目から　[10]バイト ※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。 なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	追加・削除ボタン	「追加」ボタンで取り込み設定を〈セットする値〉欄に設定します。 「削除」ボタンでセットした設定を削除します。
②	セットする値	取り込み設定を表示します。
③	明細行設定項目	取り込みデータに関する書式や空白処理等を設定します。 ※ 設定の詳細は、本マニュアル 〔③3-1　取り込み用のフィルタを登録する方法〕を参照ください。
④	取り込みファイルのデータ内容を表示します。	
⑤	取込先項目名選択	取り込みをするゆうプリＲ側の項目を選択します。 入力方法　：「前へ」、「次へ」ボタンによる選択 チェックボックスによる選択 チェックなし：取込先の対象としない。 チェックあり：取込先の対象とする。 初期状態　：新規の場合、未入力（チェックなし）となります。
⑥	「前へ」ボタン 「次へ」ボタン	現在の取り込み編集の設定内容が一時保存されて、⑤のゆうプリＲの項目のチェックを上へ移動します。 現在の取り込み編集の設定内容が一時保存されて、⑤のゆうプリＲの項目のチェックを下へ移動します。 ※ ⑤のゆうプリＲの項目を選択する場合は、「前へ」ボタン、「次へ」ボタンで移動してください。 マウスのチェックでは正常に設定が行えません。
	「終了」ボタン	設定を一時保存して『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。
	「キャンセル」ボタン	設定を一時保存しないで『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。 ※ 一度、終了ボタンで一時保存した設定はキャンセルされません。 『取込補助』画面で設定を削除してください。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

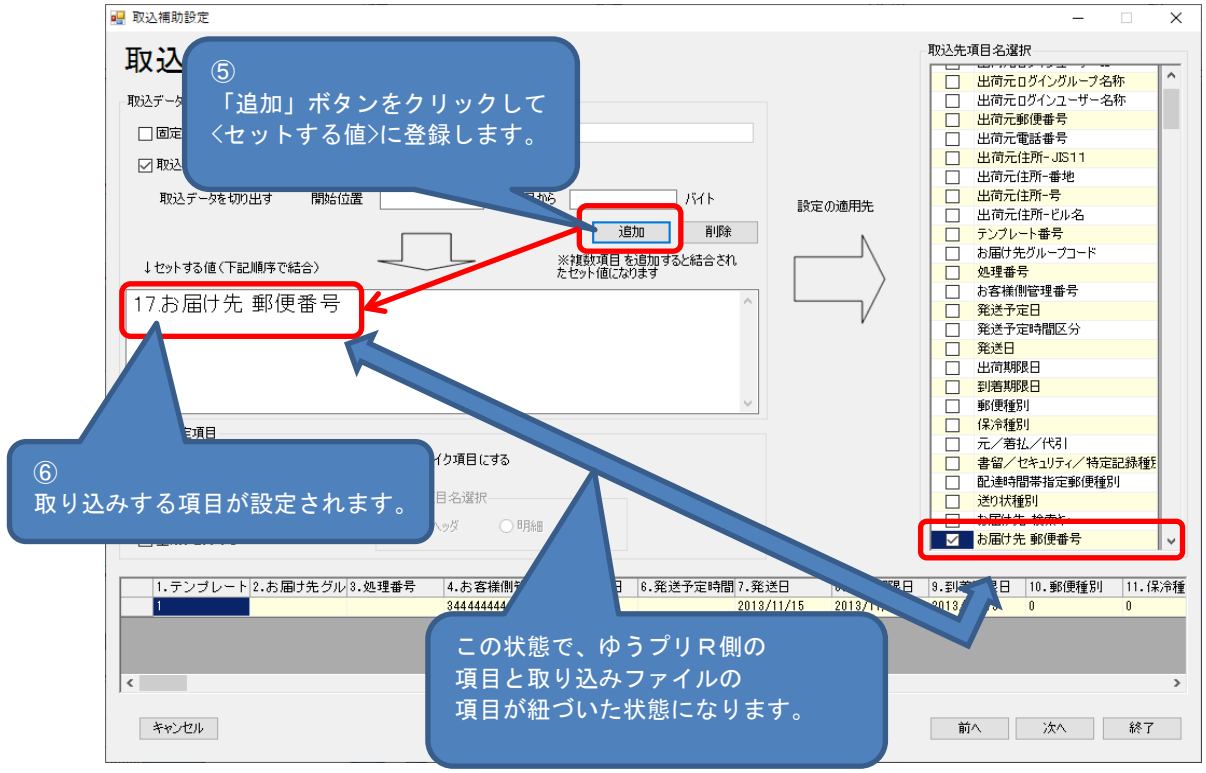
■ 取込補助画面での設定方法



3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

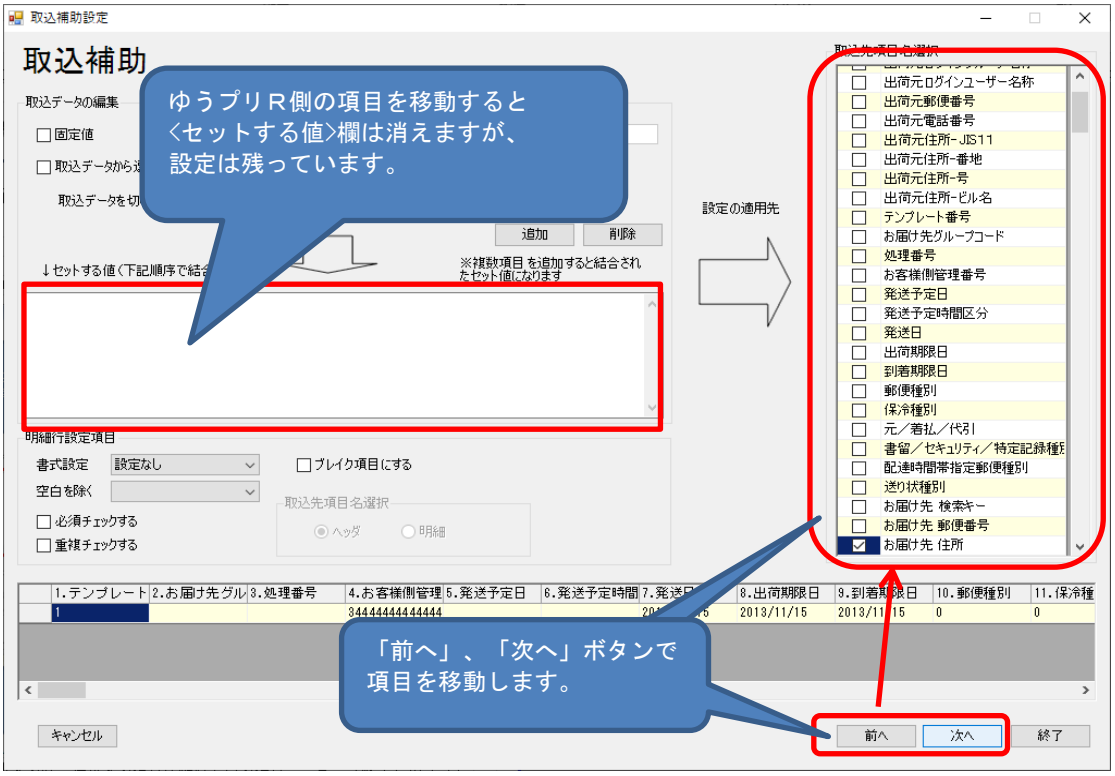
■ 取込補助画面での設定方法



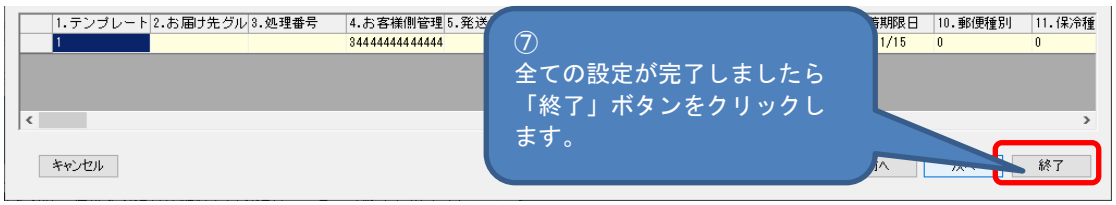
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

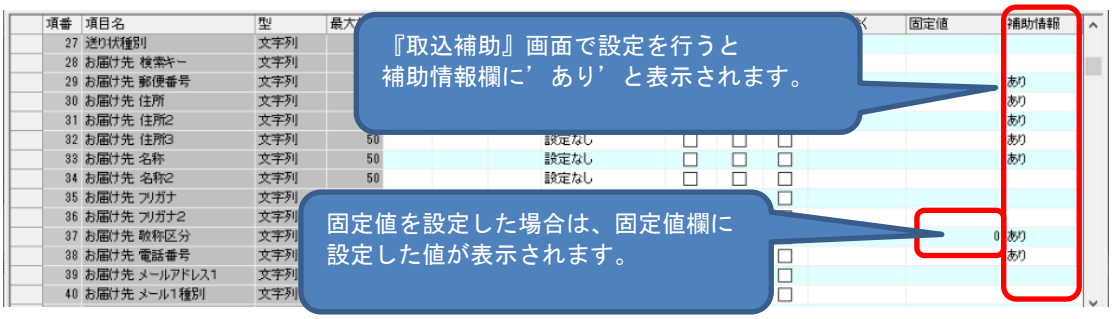
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 取込補助画面での設定方法
続けて、他の項目について設定する場合は、「前へ」ボタン、「次へ」ボタンで
ゆうプリＲ側の項目を選択し、同様な操作方法で取り込みファイルの設定を行います。



※ ゆうプリＲ側の項目を選択する際、選択する項目が離れている場合、一旦、「終了」ボタンで
『取込補助』画面を閉じ、『取込出力フィルタ詳細設定』画面で該当項目の補助情報から
『取込補助』画面を開いたほうが手間がなく簡単です。



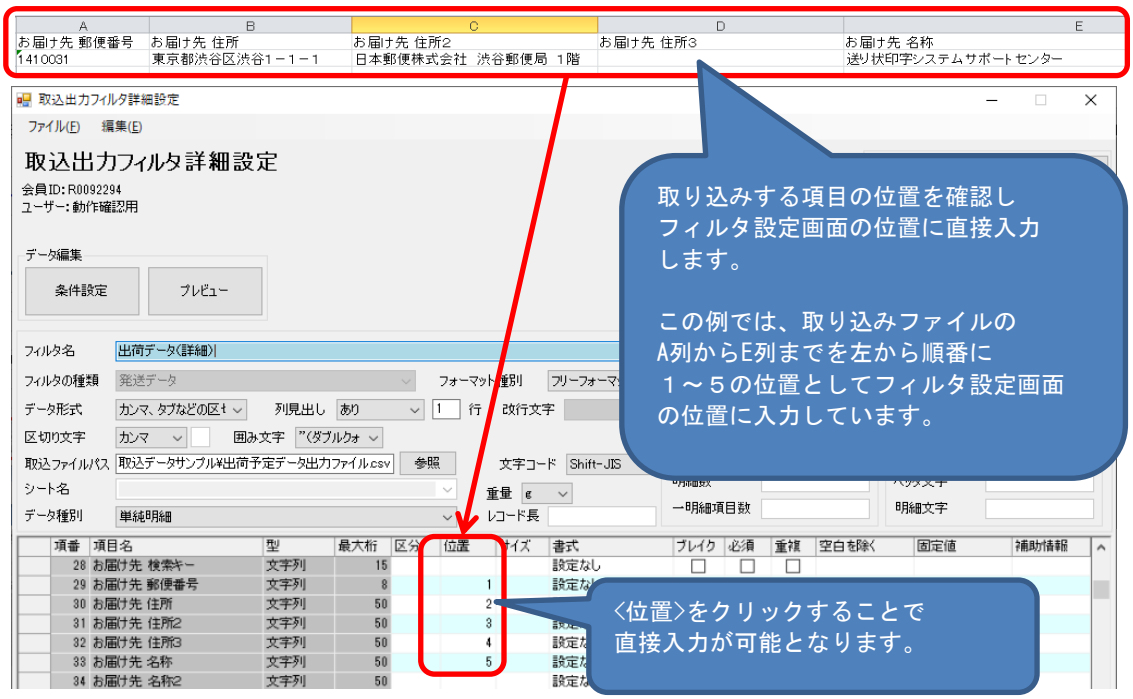


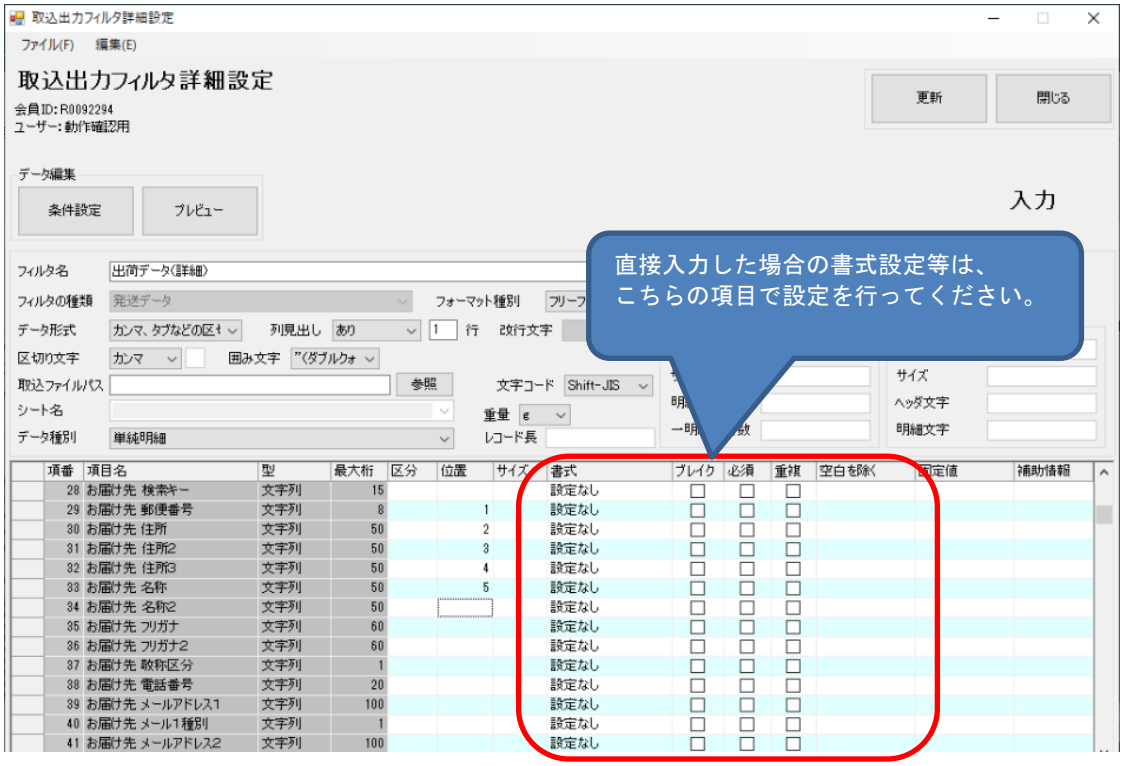
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

紐付方法（b）『取込出力フィルタ詳細設定』の位置に取込ファイルの場所を直接入力する。

■ 取り込みファイルサンプル



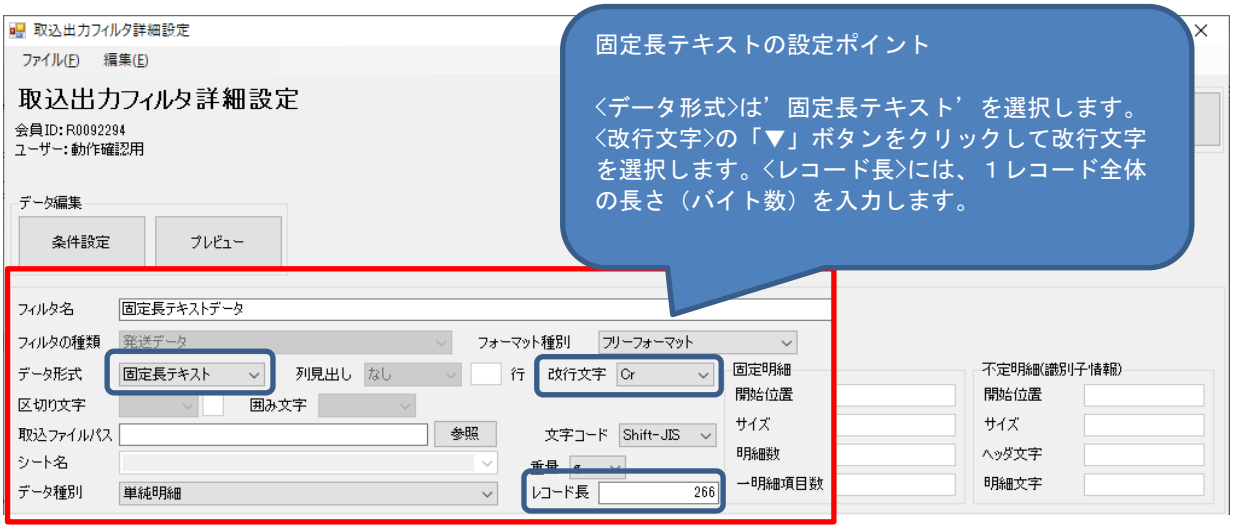


3 フィルタの作成方法(詳細編集)

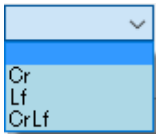
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(4) 固定長テキストファイルの紐付設定
固定長テキストファイルを取り込みする場合、Excelファイルや CSVファイルと設定方法が異なります。
サンプルデータをもとに設定方法をご説明いたします。

① 取り込みするファイルに関する設定
取り込みファイルに関する設定は、単純明細の操作と同様に設定を行います。
データ種別は、取り込みするファイルの構成をご確認いただき、〈単純明細〉、〈固定明細〉、〈不定明細〉から選択してください。本手順では、単純明細を例に説明いたします。



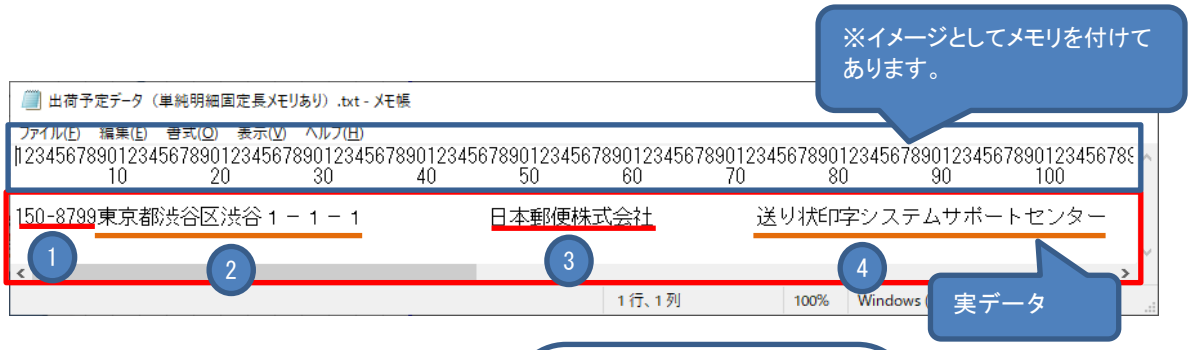
■ 設定項目説明

改行文字 データ形式で’固定長テキスト’を選択の場合、必須選択項目 	取り込みするデータの改行文字を選択します。 入力形式 ： 「▼」ボタンをクリックして改行文字を選択します。 Cr：Crでの改行の場合に選択します。 Lf：Lfでの改行の場合に選択します。 CrLf：CrLfでの改行の場合に選択します。 初期状態 ： 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
レコード長 データ形式で’固定長テキスト’を選択の場合、必須入力項目	取り込みするデータのレコード長を入力します。 入力形式 ： 半角数字 最大 4桁 入力方法 ： 直接入力 初期状態 ： 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 ※ レコード長について、レコードサイズ以上の値を設定しても 各項目で「位置とサイズ」を設定しますので問題ありません。 実際のレコードサイズよりも少ない値を指定した場合は、 取り込み項目が判定できずエラーとなる場合があります。

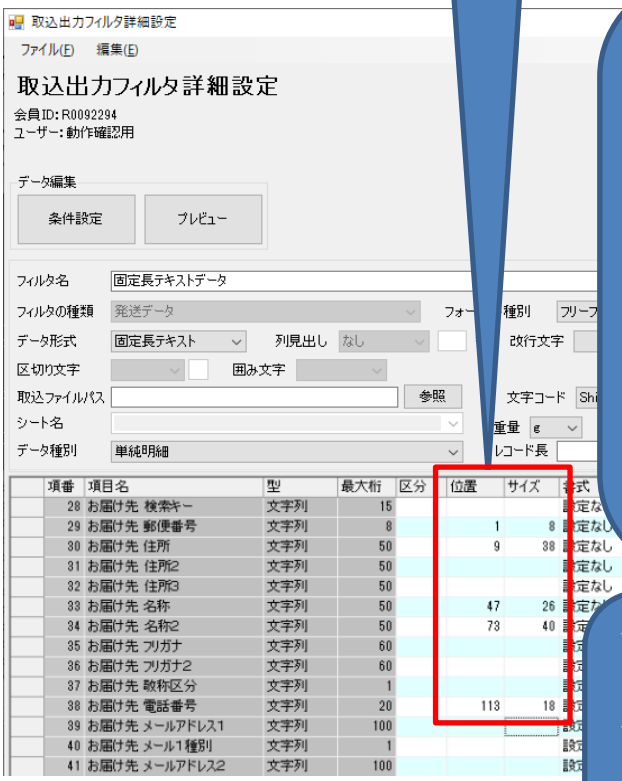
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 固定長テキストデータのサンプル
下記の設定例を参考に取り込みする項目について位置とサイズを入力します。



項番	項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ
28	お届け先 検索キー	文字列	15			
29	お届け先 郵便番号	文字列	8		1	8
30	お届け先 住所	文字列	50		9	38
31	お届け先 住所2	文字列	50			
32	お届け先 住所3	文字列	50			
33	お届け先 名称	文字列	50		47	26
34	お届け先 名称2	文字列	50		73	40
35	お届け先 フリガナ	文字列	60			
36	お届け先 フリガナ2	文字列	60			
37	お届け先 敬称区分	文字列	1			
38	お届け先 電話番号	文字列	20			18
39	お届け先 メールアドレス1	文字列	100			



データのサンプルより
①
1バイト目から8バイトを<お届け先郵便番号>へ取り込みます。
⇒位置に’1’、サイズに’8’と入力します。
②
9バイト目から38バイトを<お届け先住所>へ取り込みます。
⇒位置に’9’、サイズに’38’と入力します。
③
47バイト目から26バイトを<お届け先名称>へ取り込みます。
⇒位置に’47’、サイズに’26’と入力します。
④
73バイト目から40バイトを<お届け先名称２>へ取り込みます。
⇒位置に’73’、サイズに’40’と入力します。

※全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。
なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

<位置>：項目の開始位置を入力します。
例　9⇒項目が9バイト目から開始の意味

<サイズ>：項目の長さ（バイト数）を入力します。
例　38⇒項目の長さが38バイトの意味

※全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。
なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

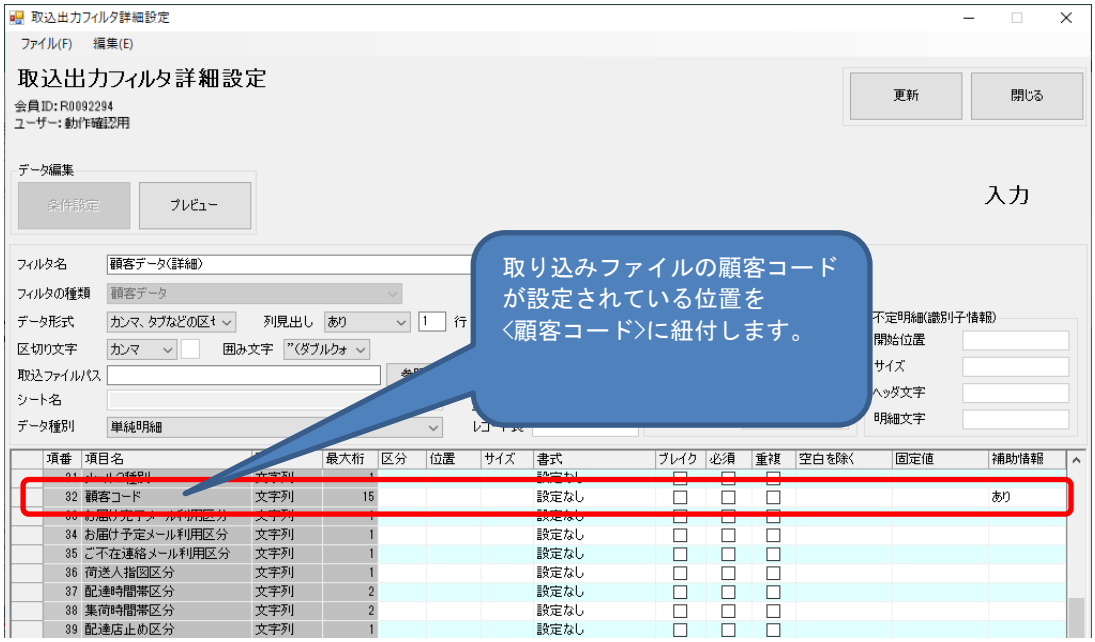
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

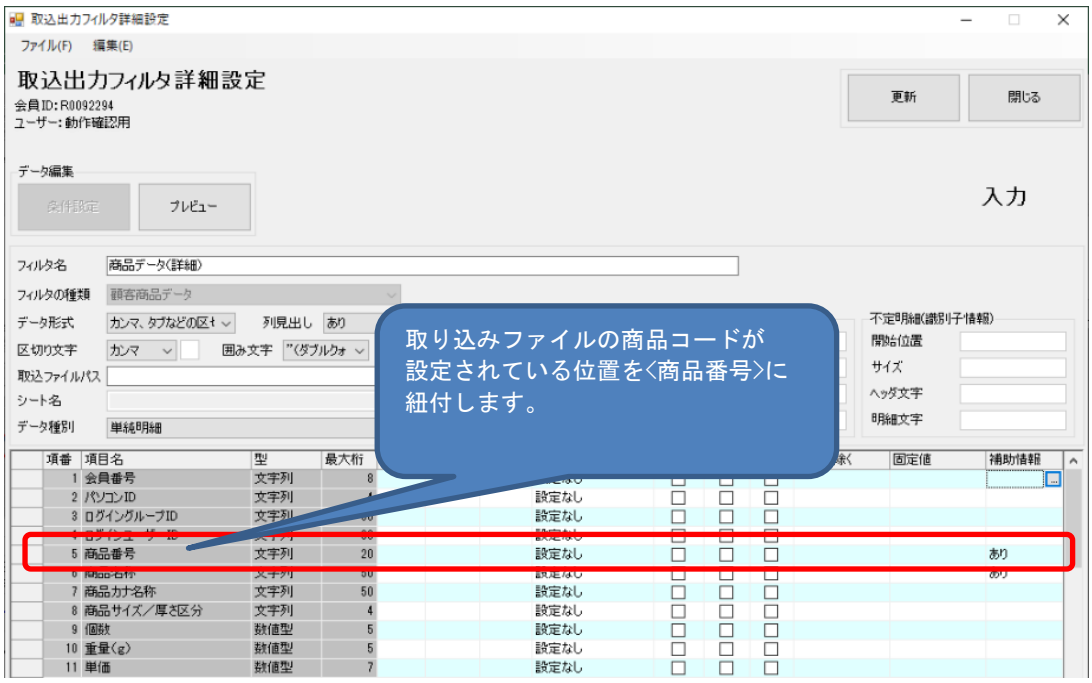
(5) 顧客コード、商品コードの設定について

顧客データや商品データを取り込みする場合、予めデータに顧客コード、商品コードを設定いただき、
そのコードをゆうプリＲ側へ取り込みすることで、ゆうパック等のデータ入力時に顧客コード、
商品コードで登録した情報を画面に呼び出すことができます。
発送情報入力画面から入力する場合、お届け先や商品の入力が便利になります。

■ 顧客コードを取り込みする場合



■ 商品コードを取り込みする場合



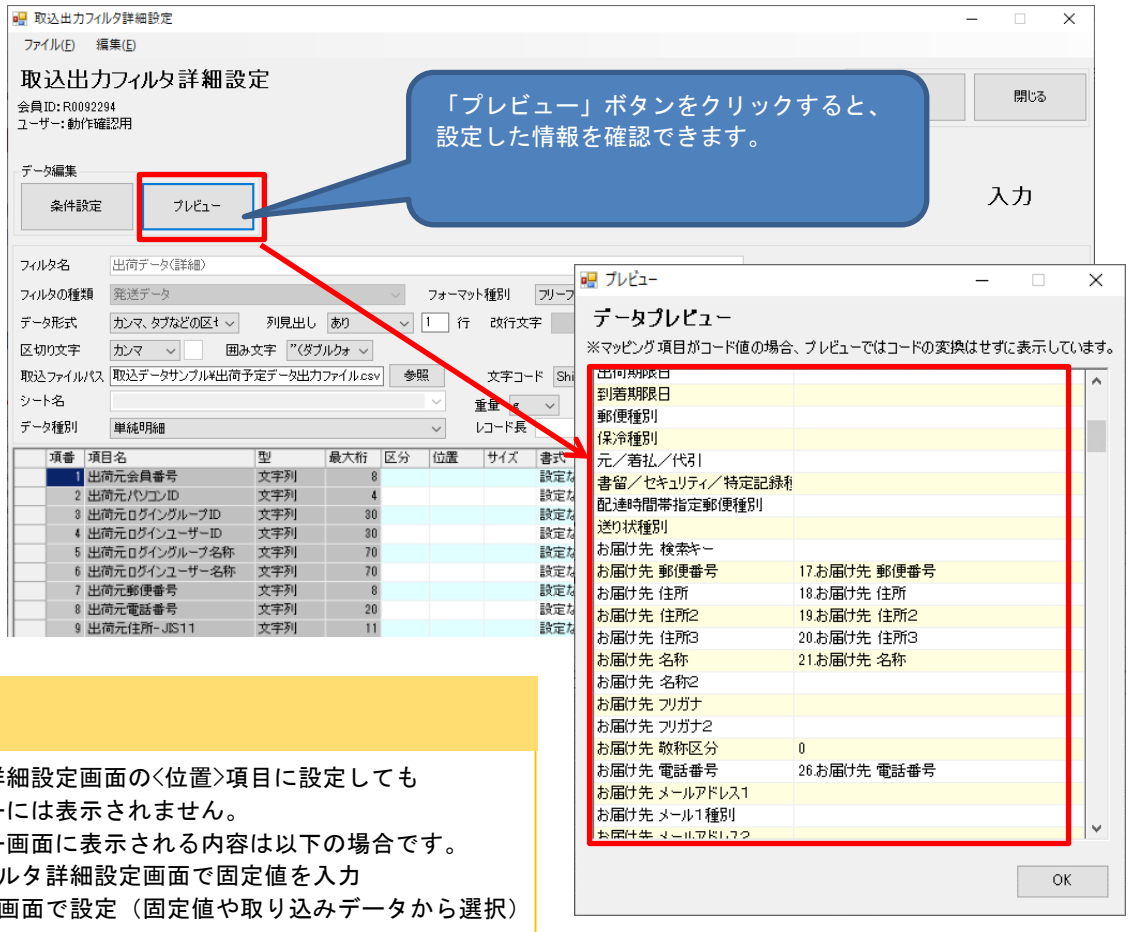
※ 発送予定データ編集画面で、顧客データ、商品データを参照する方法については、
別紙〔５．操作説明書　①送り状データを登録する〕を参照ください。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(6) 作成したフィルタ設定の登録

取り込みする項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



Note

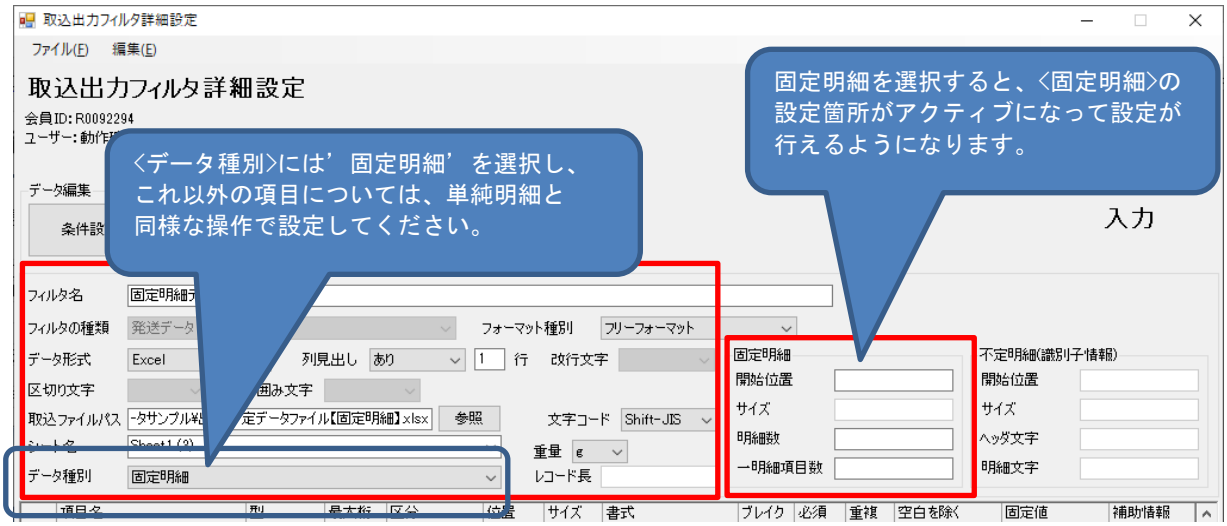
フィルタ詳細設定画面の<位置>項目に設定しても
プレビューには表示されません。
プレビュー画面に表示される内容は以下の場合です。
・フィルタ詳細設定画面で固定値を入力
・補助画面で設定（固定値や取り込みデータから選択）

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-2 固定明細データのフィルタ設定

取り込みするデータの１レコードに複数の明細情報（品名等）がある場合、固定明細データとしてフィルタを作成します。明細情報とは、ゆうプリＲ側の〈商品番号〉、〈品名〉、〈個数〉、〈重量(g)〉、〈単価〉、〈消費税率区分〉、〈金額〉の項目をいいます。

１．取り込みするファイルに関する設定
取り込みファイルに関する設定は、単純明細の操作と同様に設定を行います。
ただし、〈データ種別〉のみ’固定明細’を選択します。



■ 設定項目説明（固定明細）

固定明細 〈データ種別〉で’固定明細’を選択の場合、必須入力項目 	開始位置	固定明細データの明細部の開始位置を指定します。 入力形式　：半角数字　最大 6桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。
	サイズ	固定明細データの明細部のデータサイズを指定します。 ※ 固定長データを選択した場合に入力を行います。 入力形式　：半角数字　最大 6桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。
	明細数	固定明細データの明細部の明細数を指定します。 ※ 例えば１レコードに品名が３項目ある場合は、 明細数は’３’となります。 入力形式　：半角数字　最大 6桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。
	一明細項目数	固定明細データの１明細あたりの項目数を指定します。 ※ 例えば、１明細に品名と個数の項目がある場合は、 項目数は’２’となります。 入力形式　：半角数字　最大 6桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。

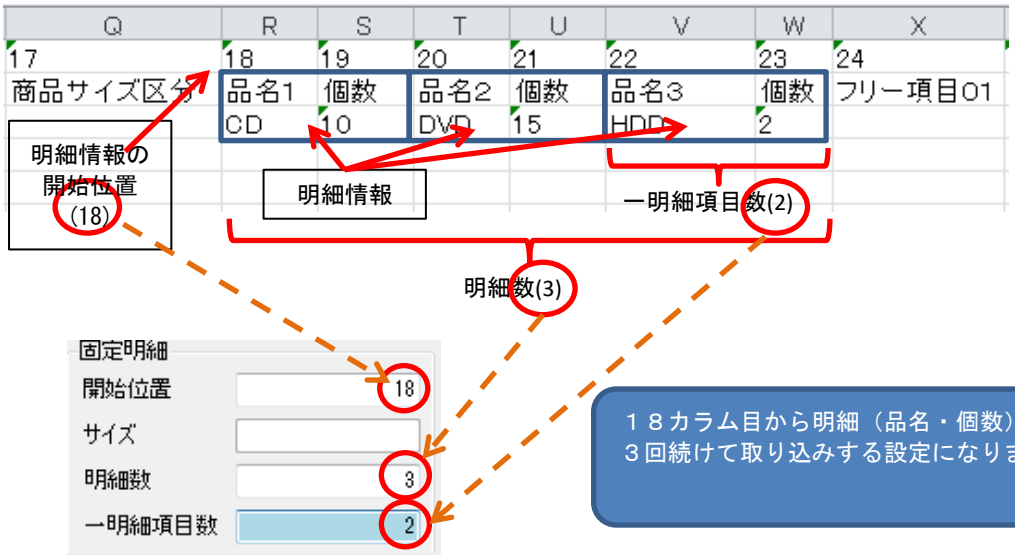
3-2 固定明細データのフィルタ設定

2．明細情報に関する設定

１レコードに複数の明細情報がある場合、ゆうプリＲの項目との紐付は最初の明細部分のみ紐付の設定を行います。２明細以降は、固定明細で設定した明細数、明細項目数の情報にて繰り返し取り込みを行います。

(1) 固定明細の設定

■ 固定明細データのサンプル



１８カラム目から明細（品名・個数）を３回続けて取り込みする設定になります。

上記のサンプルデータの場合、固定明細の設定になります。

実際に設定を行われる場合は、取り込みするデータの構成を確認いただき、開始位置、明細数、一明細項目の設定を行ってください。

Point

固定明細データを取り込みする場合、明細情報は連続していて、かつ、各明細情報の項目数は同一である必要があります。

【取込できる例】

R	S	T	U	V	W
品名1	個数	品名2	個数	品名3	個数
CD	10	DVD	15	HDD	2

明細が連続していて項目数も同一となっている。

【取込不可な例】

R	S	T	U	V	W	X	Y
品名1	個数	色	品名2	個数	予備	品名3	個数
CD	10	赤	DVD	15		HDD	2

一つ目の明細のみ３項目ある。

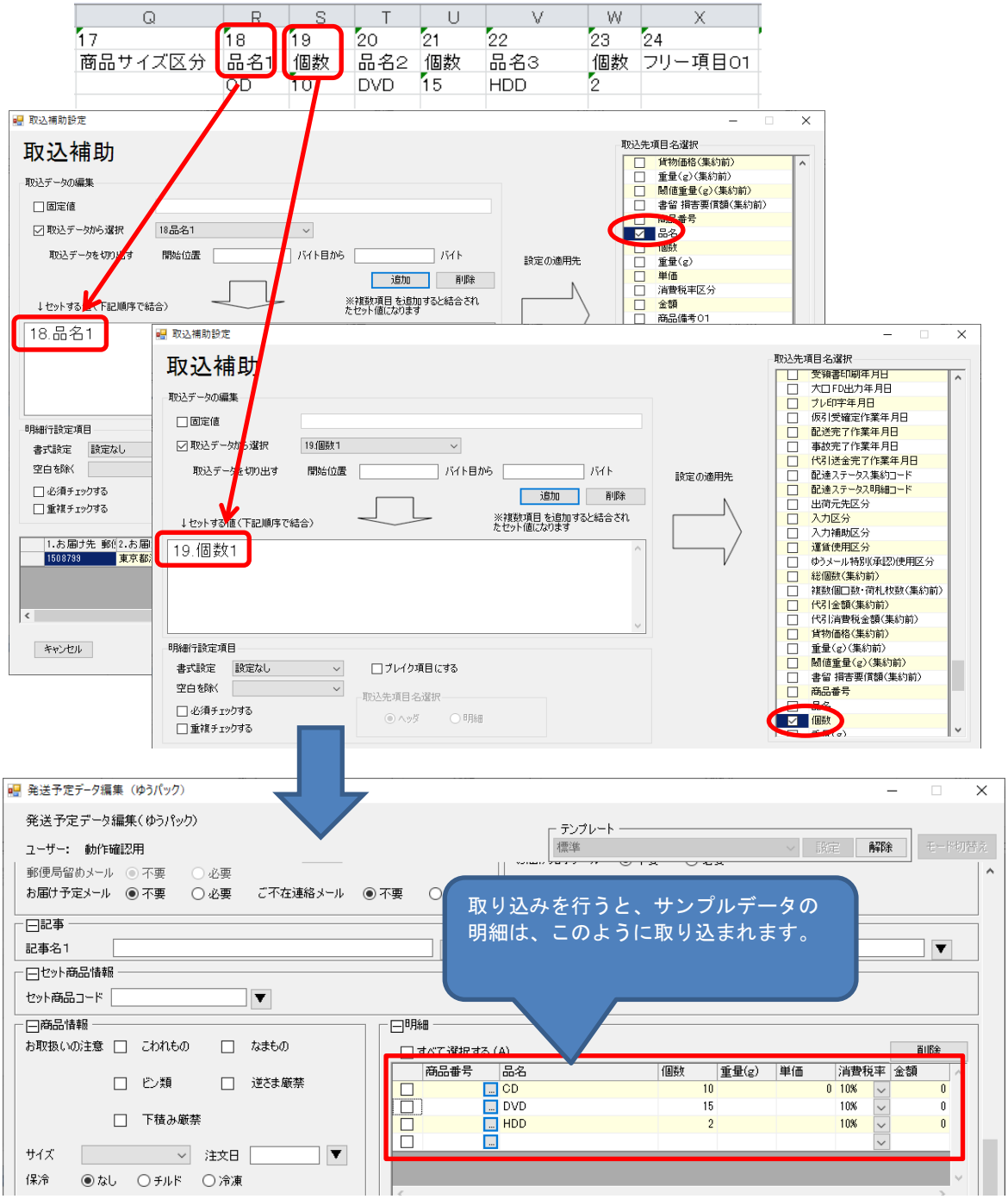
品名２の明細と品名３の明細が連続していない。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-2 固定明細データのフィルタ設定

(2) 明細情報の紐付例

■ 固定明細データのサンプル



3．明細情報以外の項目に関する設定

明細情報以外の項目に関しては、単純明細のデータと同様な方法で各項目の設定を行ってください。

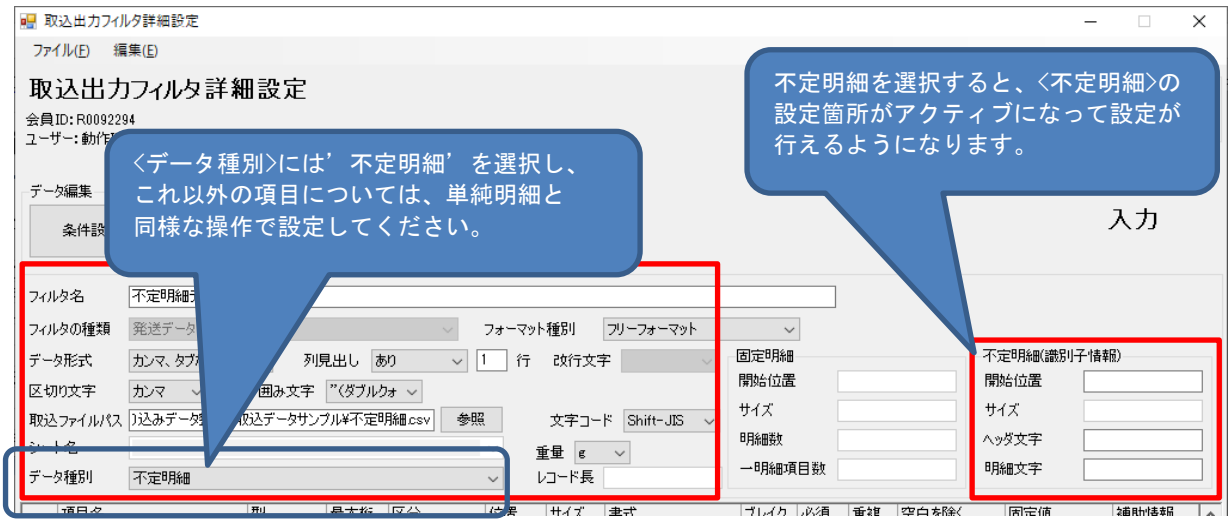
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-3 不定明細データのフィルタ設定

取り込みするデータの１レコードに対して複数レコードの明細情報（品名等）がある場合、
不定明細テータとしてフィルタを作成します。
明細情報とは、ゆうプリＲ側の〈商品番号〉、〈品名〉、〈個数〉、〈重量(g)〉、〈単価〉、〈金額〉の
項目をいいます。

１．取り込みするファイルに関する設定

取り込みファイルに関する設定は、単純明細の操作と同様に設定を行います。
ただし、〈データ種別〉のみ’不定明細’を選択します。



■ 設定項目説明（不定明細）

不定明細 〈データ種別〉で’不定明細’を選択の場合、必須入力項目 	開始位置	不定明細データの識別子の開始位置を指定します。 入力形式　：半角数字　最大 6桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。
	サイズ	不定明細データの明細部のデータサイズを指定します。 ※ 固定長データを選択した場合に入力を行います。 入力形式　：半角数字　最大 6桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。
	ヘッダ文字	不定明細データのヘッダ文字を指定します。 入力形式　：半角英数字　最大 10桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。
	明細文字	不定明細データの明細文字を指定します。 入力形式　：半角英数字　最大 10桁 入力方法　：直接入力 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録内容を表示します。

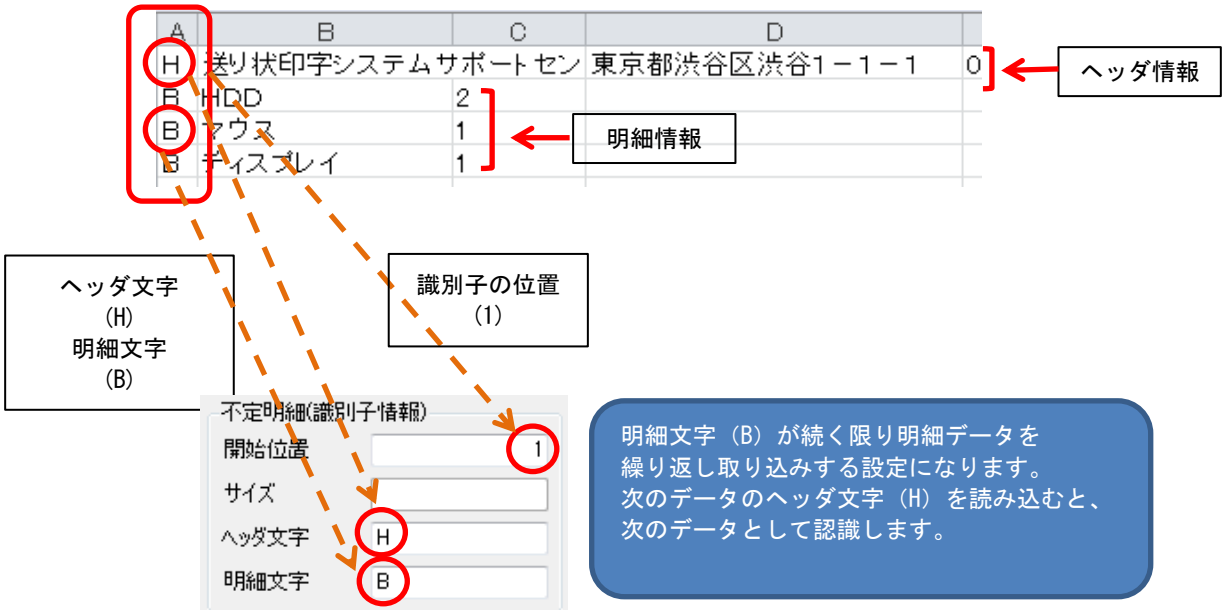
3-3 不定明細データのフィルタ設定

2．明細情報に関する設定

１レコードに対して複数レコードの明細情報がある場合、ゆうプリＲの項目との紐付は、明細情報を識別する文字をもとに最初のレコードの明細情報のみ設定を行います。２明細以降は、不定明細で設定した識別文字をもとに取り込みを行います。

(1) 不定明細の設定

■ 不定明細データのサンプル

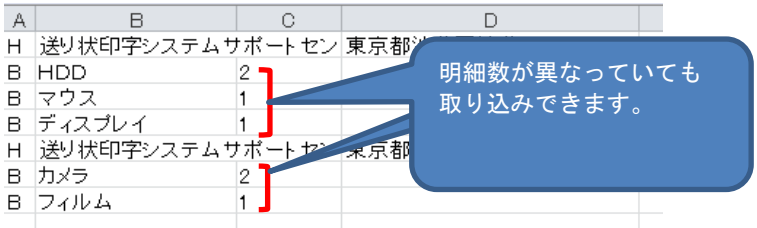


上記のサンプルデータの場合、不定明細の設定になります。

実際に設定を行われる場合は、取り込みするデータの構成を確認いただき、
識別文字のヘッダ文字、明細文字の設定を行ってください。

Point

不定明細データを取り込みする場合、明細情報は各データで同一である
必要はありません。
明細数が２レコードや３レコードのデータが混在していても取り込み可能です。

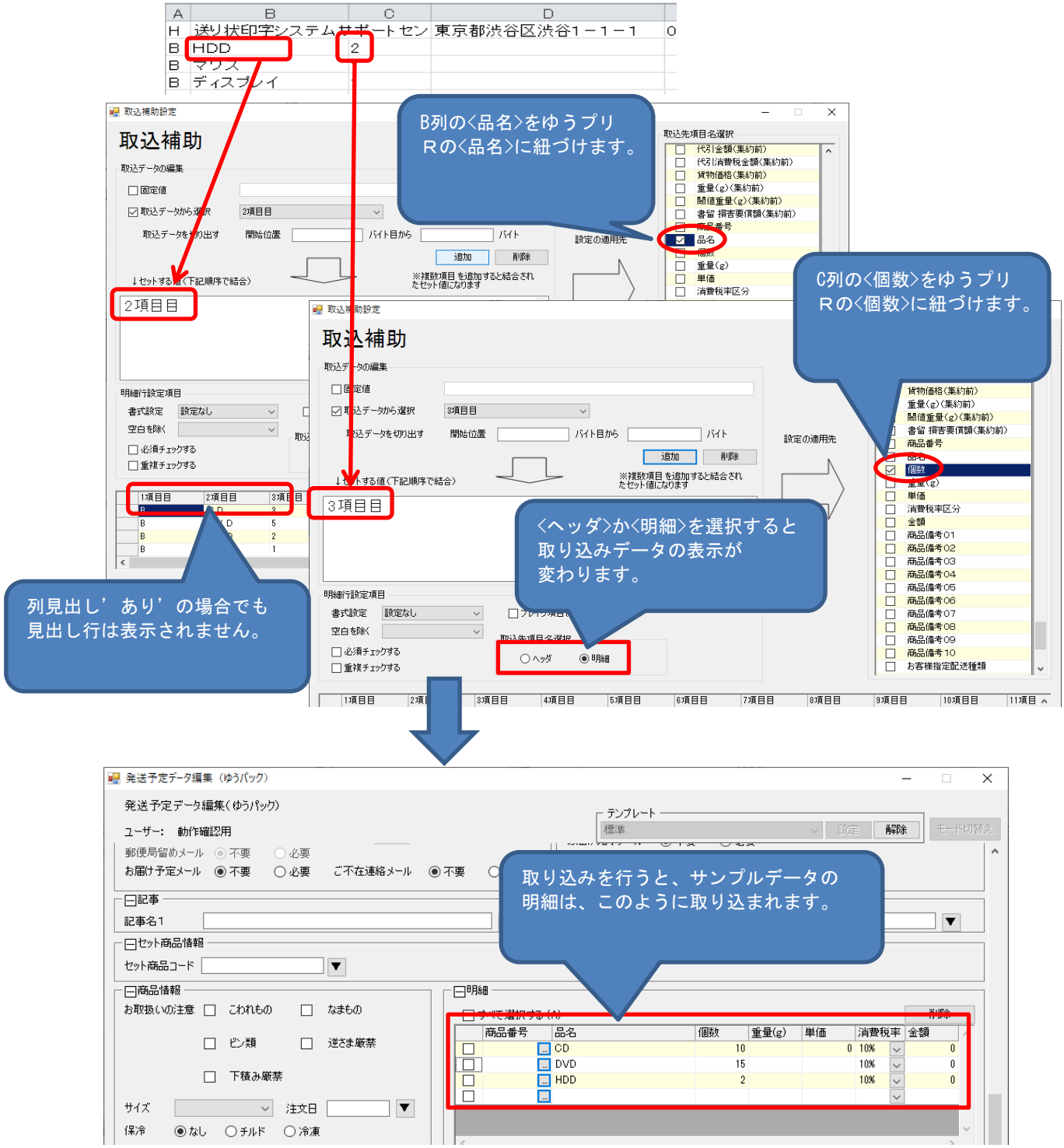


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-3 不定明細データのフィルタ設定

(2) 明細情報の紐付例

■ 不定明細データのサンプル



3．明細情報以外の項目に関する設定

明細情報以外の項目に関しては、単純明細のデータと同様な方法で各項目の設定を行ってください。
ヘッダ情報の紐付は、〈取込先項目名選択〉で’ヘッダ’を選択して紐付を行ってください。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

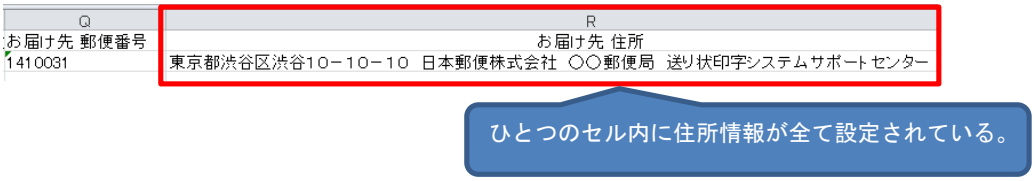
3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

出荷データや顧客データをファイルから取り込みする際、取り込みデータには顧客の住所情報がありますが、ファイル内にどのように定義されているかは、ファイルを作成するシステム等により様々なケースがあります。ゆうプリＲの住所情報は、〈住所１〉、〈住所２〉、〈住所３〉の３項目に分かれており、それぞれ全角25文字もしくは半角50文字（全半角混在可）まで取り込みすることができます（文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合）。取り込みするファイルの住所情報がゆうプリＲと同様に３項目でしたら紐付も簡単ですが、項目数が異なる場合、どのように設定を行えばよいか、設定例をもとに説明をいたします。

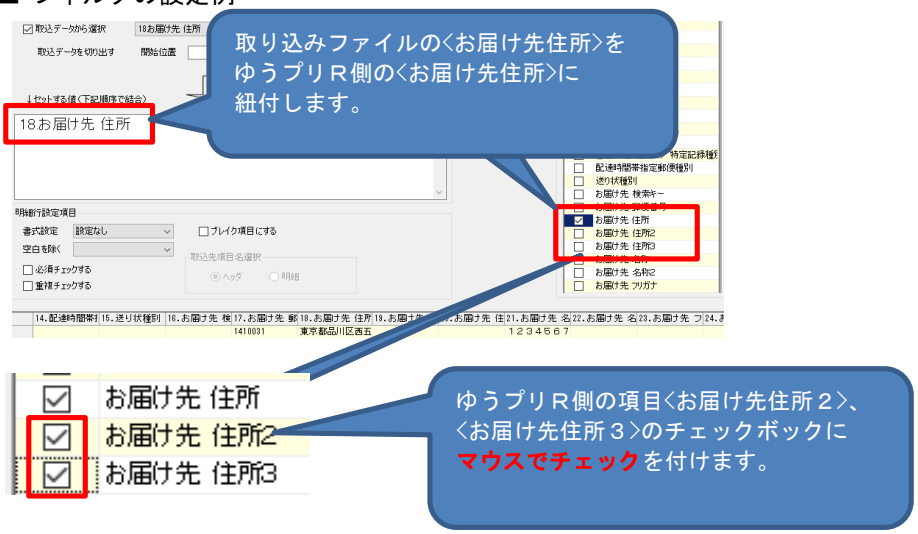
１．取り込みファイルの１カラムのみに住所情報がある場合（自動分割）

取り込みファイルの１カラムのみに住所情報がある場合、〈住所１〉のみに紐付しますと桁数超過により正常に取り込みができない場合があります。この場合、フィルタで以下のように設定します。

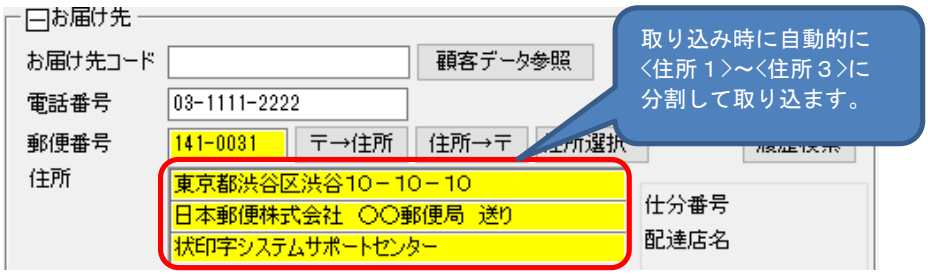
■ ファイルの定義例



■ フィルタの設定例



■ 取込結果例



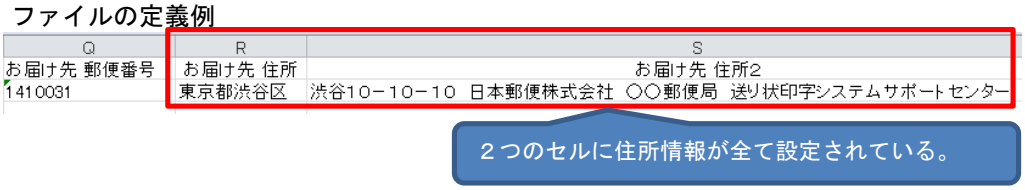
Point システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。
ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

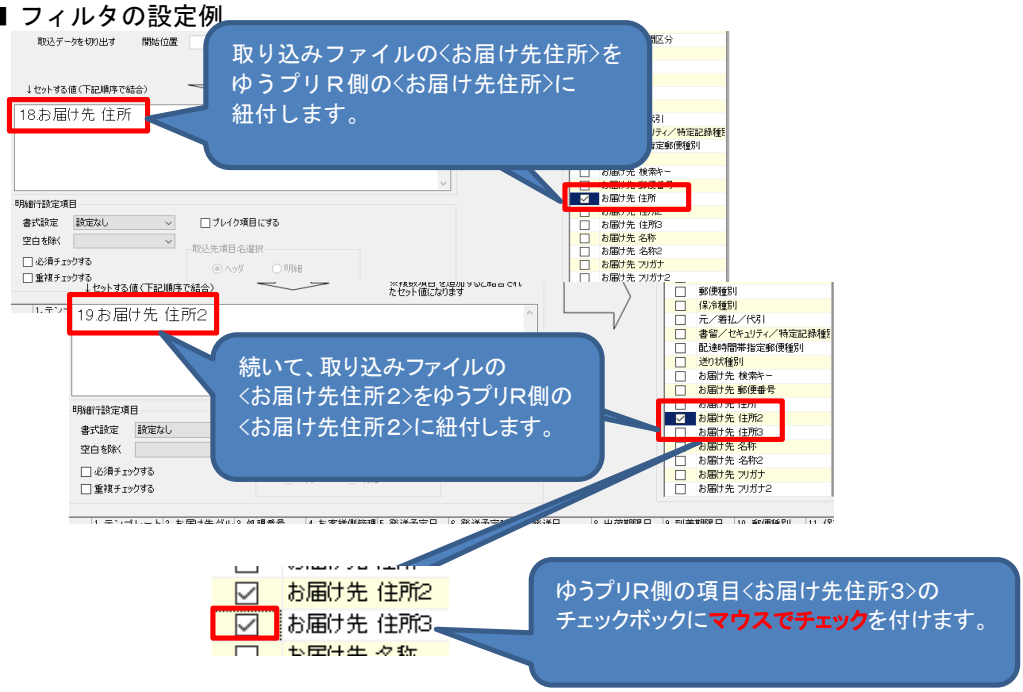
２．取り込みファイルの２カラムに住所情報がある場合（自動分割）

取り込みファイルの２カラムに住所情報がある場合、前頁１の方法と併せて〈住所１〉～〈住所３〉に紐付することで自動的に分割して取り込みすることができます。なお、取り込みファイルの住所情報が２カラムとも全角25文字もしくは半角50文字（全半角混在可）以内のデータでしたら、取り込みファイルの住所をゆうプリＲの〈住所１〉、〈住所２〉にそれぞれ紐付することでも取り込み可能です。なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

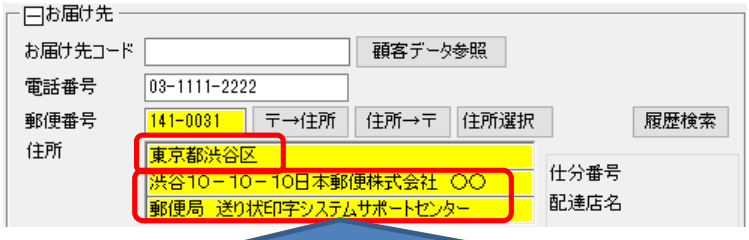
■ ファイルの定義例



■ フィルタの設定例



■ 取込結果例



Point

ゆうプリＲ側の〈住所１〉、〈住所２〉に自動分割で取り込みし、〈住所３〉のみ単独での紐付をすることも可能です。システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。
ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

３．取り込みファイルの住所情報が４カラム以上に分かれている場合（自動分割）

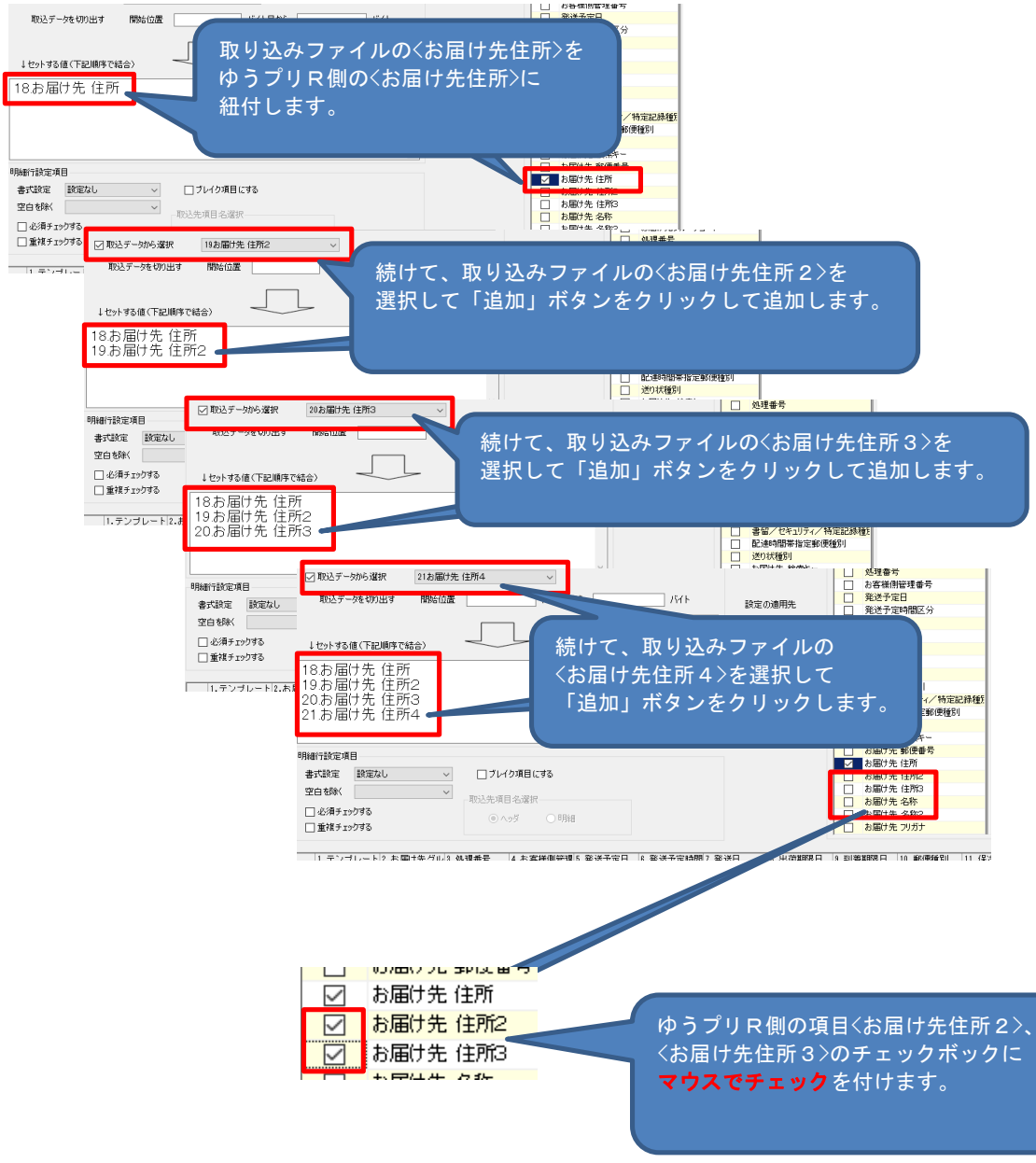
取り込みファイルの住所情報が４カラム以上の項目で分かれている場合、取り込みファイルの住所項目を全て自動分割設定して取り込みします。

■ ファイルの定義例

Q	R	S	T	U
お届け先 郵便番号	お届け先 住所	お届け先 住所2	お届け先 住所3	お届け先 住所4
1508799	東京都	渋谷区	渋谷10－10－10	日本郵便株式会社 ○○郵便局

４つのセルに住所情報が全て設定されている。

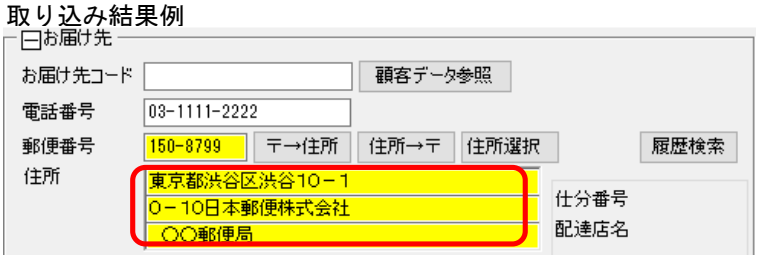
■ フィルタの設定例



3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

■ 取り込み結果例



取り込みファイルの<住所1>～<住所4>の値を全て結合して、
ゆうプリR側の<住所1>～<住所3>へ自動分割されて取り込まれます。

Point 取り込みファイルの住所情報が５カラム以上に分かれている場合も同様な操作で取込みできます。
システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。
ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で
自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

■自動分割機能を設定した場合のデータの分割方法

※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。
なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

１． 住所の自動分割（お届け先・ご依頼主）
※各フォーマット共通の仕様

住所の全文字数により以下のように自動分割します。
24バイト以下 ⇒分割なし
25バイト～72バイト ⇒25バイト目以降を住所2へ分割、
49バイト目以降を住所3へ分割
73バイト以上 ⇒住所1と住所2と住所3が同じ文字数になるよう分割

例：73バイトの場合、住所1と住所2が25～26バイトとなるよう調整。
すべて半角の場合
⇒ 住所１に26バイト、住所２に26バイト、住所３に21バイトで分割

先頭1文字のみ半角、残りすべて全角の場合
⇒ 住所１に25バイト、住所２に26バイト、住所３に22バイトで分割

２． 名称の自動分割（お届け先・ご依頼主）
※各フォーマット共通の仕様

名称の全文字数により以下のように自動分割します。
24バイト以下 ⇒分割なし
25バイト～48バイト ⇒25バイト目以降を名称2へ分割
49バイト以上 ⇒名称1と名称2が同じ文字数になるよう分割

例：49バイトの場合、名称1と名称2が同じ文字数になるよう分割
先頭1文字のみ半角、残りすべて全角の場合
⇒ 名称１に25バイト、名称２に24バイトで分割

末尾1文字のみ半角、残りすべて全角の場合
⇒ 名称１に26バイト、名称２に23バイトで分割

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-5 取り込みファイルの特定項目をキーにまとめる方法（ブレイク設定）

〈ブレイク〉とは、取り込みデータ内で、ある項目が連続しているデータを集約して取り込ませたい場合に利用する設定です。集約して取り込んだ結果、データは１件分にまとまります。
指定した項目をキーに連続したデータを集約しますので、データにより集約要否は設定できません。
なお、固定明細データおよび不定明細データのフィルタ設定ではブレイク機能は使用できません。

１．ブレイク機能の動作

ブレイク機能を利用する場合は、予め取り込みするデータの中のどの項目をキーにして
データの集約を行うかを決める必要があります。
例えば、以下のようなデータで〈届け先名称〉にブレイク設定した場合、取り込みされるデータは
１件になります。

■ 取り込みデータイメージ

届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋１－１－１	品名１
東京太郎	東京都港区虎ノ門１－１－１	品名２
東京太郎	東京都港区虎ノ門１－１－１	品名３

■ 取り込み結果イメージ

届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋１－１－１	品名１
		品名２
		品名３

この３件が集約されて１件分のデータとして取り込まれます。
品名については、全て取り込まれますが、住所が異なっていた場合、１件目のデータの住所が設定されます。

また、ブレイク項目は複数の項目に設定することができます。設定した項目で同じ値が連続している範囲で集約して取込を行います。
例として下記のようなデータで、〈届け先名称〉と〈届け先住所〉にブレイク設定した場合、取り込みされるデータは２件になります。

■ 取り込みデータイメージ

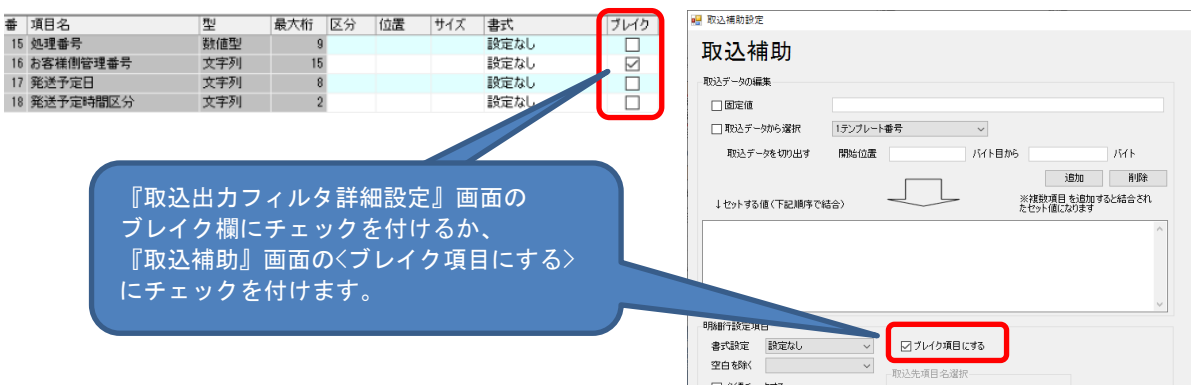
届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋１－１－１	品名１
東京太郎	東京都港区東新橋１－１－１	品名２
東京太郎	東京都渋谷区渋谷１－１－１	品名３

■ 取り込み結果イメージ

届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋１－１－１	品名１
		品名２
東京太郎	東京都渋谷区渋谷１－１－１	品名３

この２件のみ集約されて１件分のデータとして取り込まれます。

２．フィルタ設定箇所



3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-6 取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法（結合設定）

結合設定とは、届け先名称など取り込みデータ内で複数に分かれている項目を１つの項目として取り込みたい場合に使用します。また、固定値と合わせた結合も行うことができます。

１．結合設定の動作

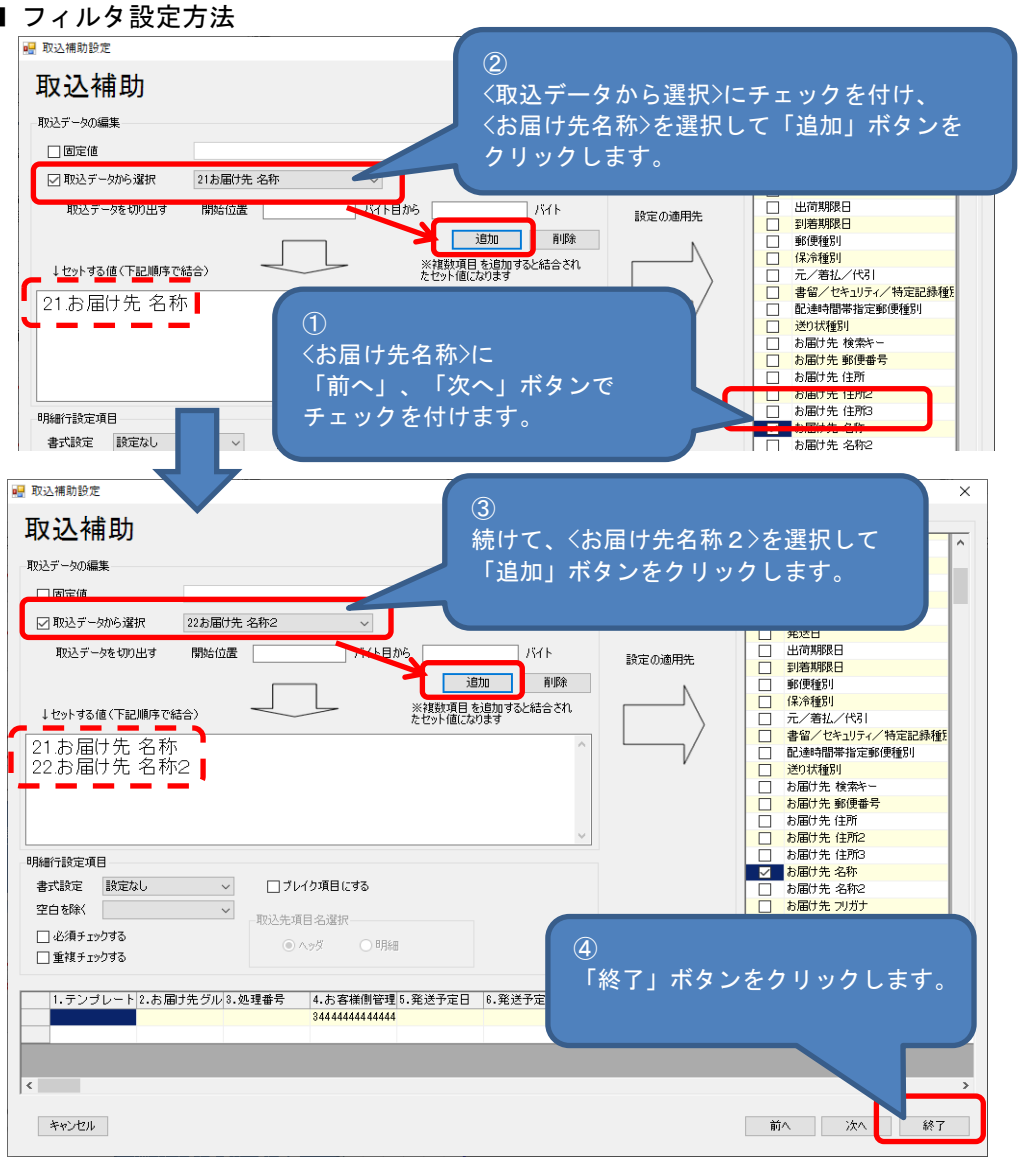
結合設定部分のみについて説明しています。他の項目についても設定は行ってください。

(1) 取り込みデータ内の項目を結合して取り込む場合

例） ２つの項目を結合して〈お届け先名称１〉へ取り込みする

■ 取り込みデータサンプル

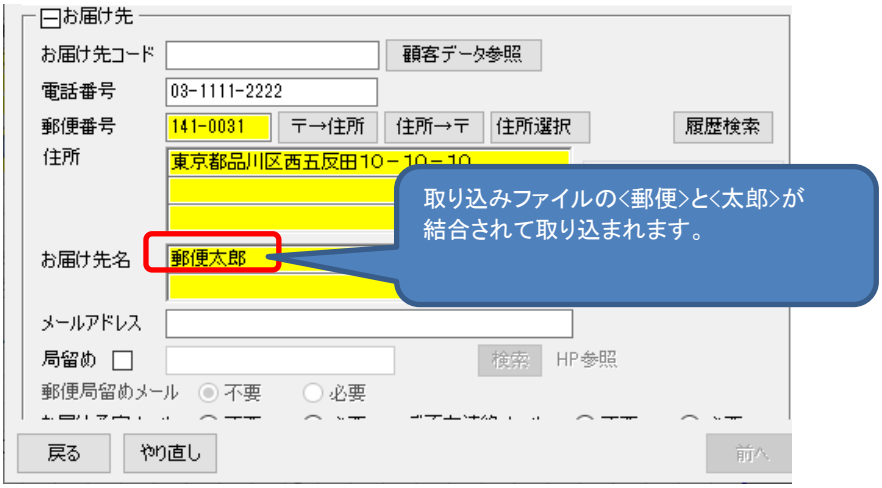
■ フィルタ設定方法



3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-6 取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法（結合設定）

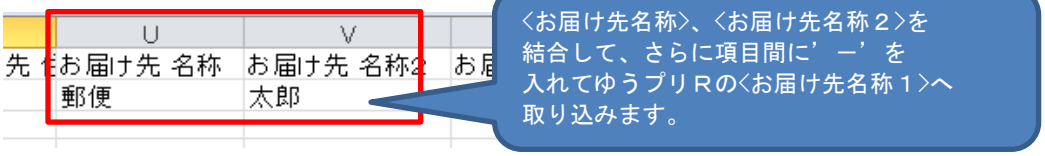
■ 取り込み結果



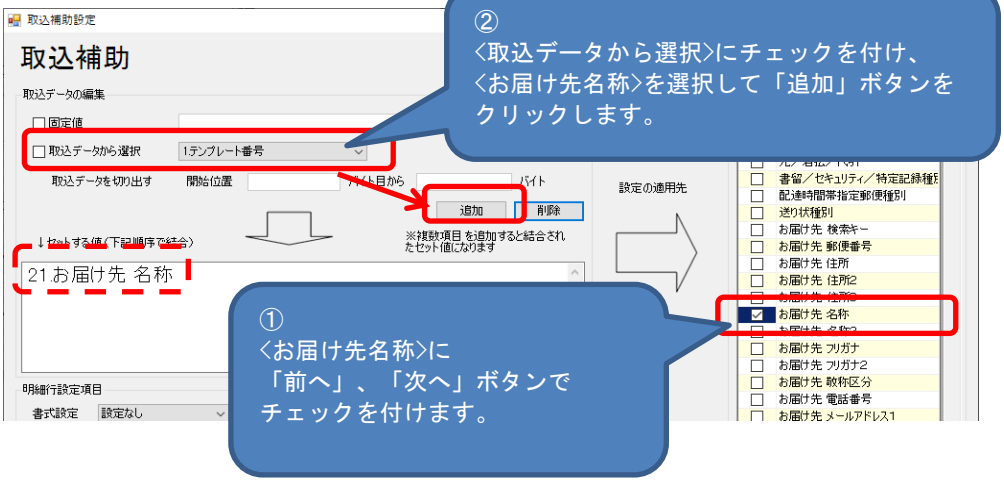
(2) 取り込みデータ内の項目と固定値を合わせて結合して取り込む場合

例） ２つの項目を結合し、さらに項目間に固定値で’－’を入れて<お届け先名称１>へ取り込みする。

■ 取り込みデータサンプル



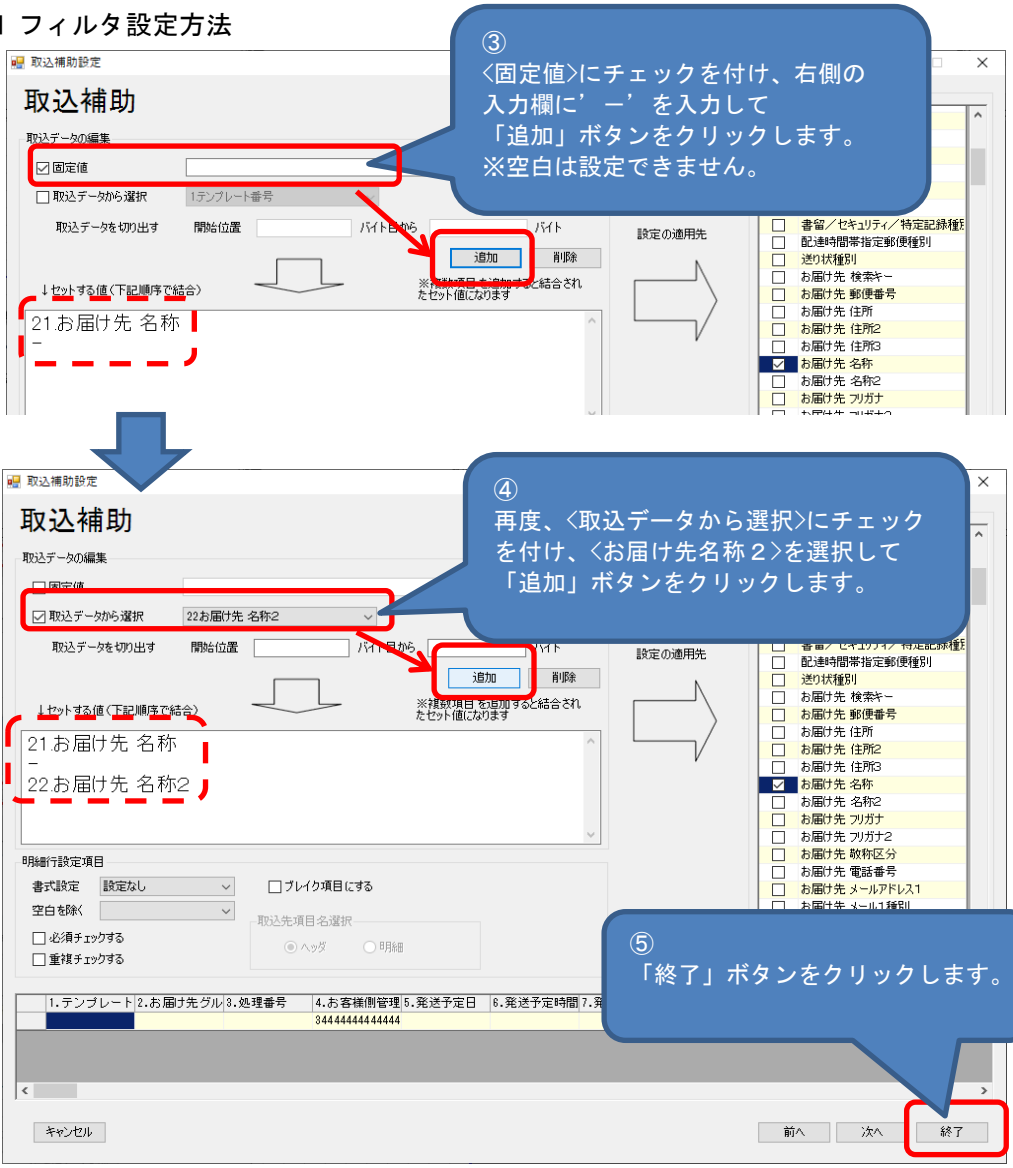
■ フィルタ設定方法



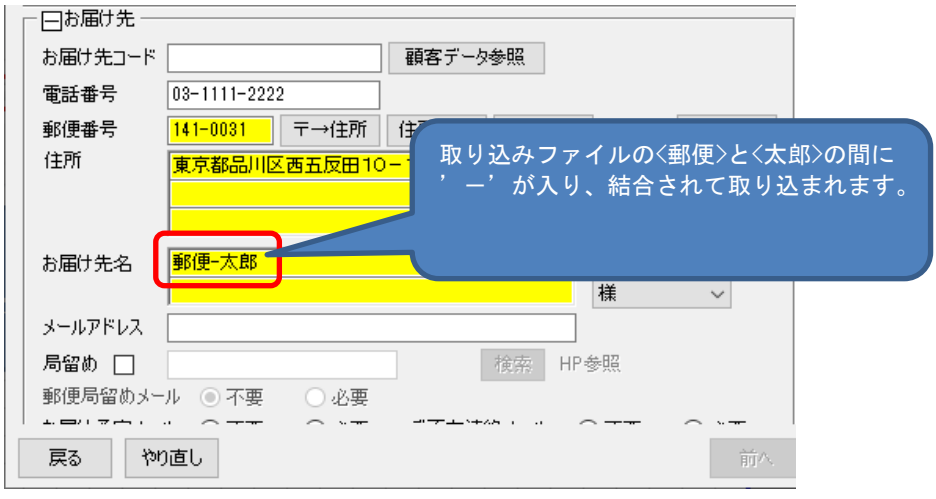
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-6 取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法（結合設定）

■ フィルタ設定方法



■ 取込結果



3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

詳細編集のフィルタ設定では、取り込みデータの値からゆうプリＲの値へ変換（条件設定）して
取り込みすることができます。この機能を利用することで、取り込みデータにゆうプリＲのコード値を
設定することなく取り込みが可能です。

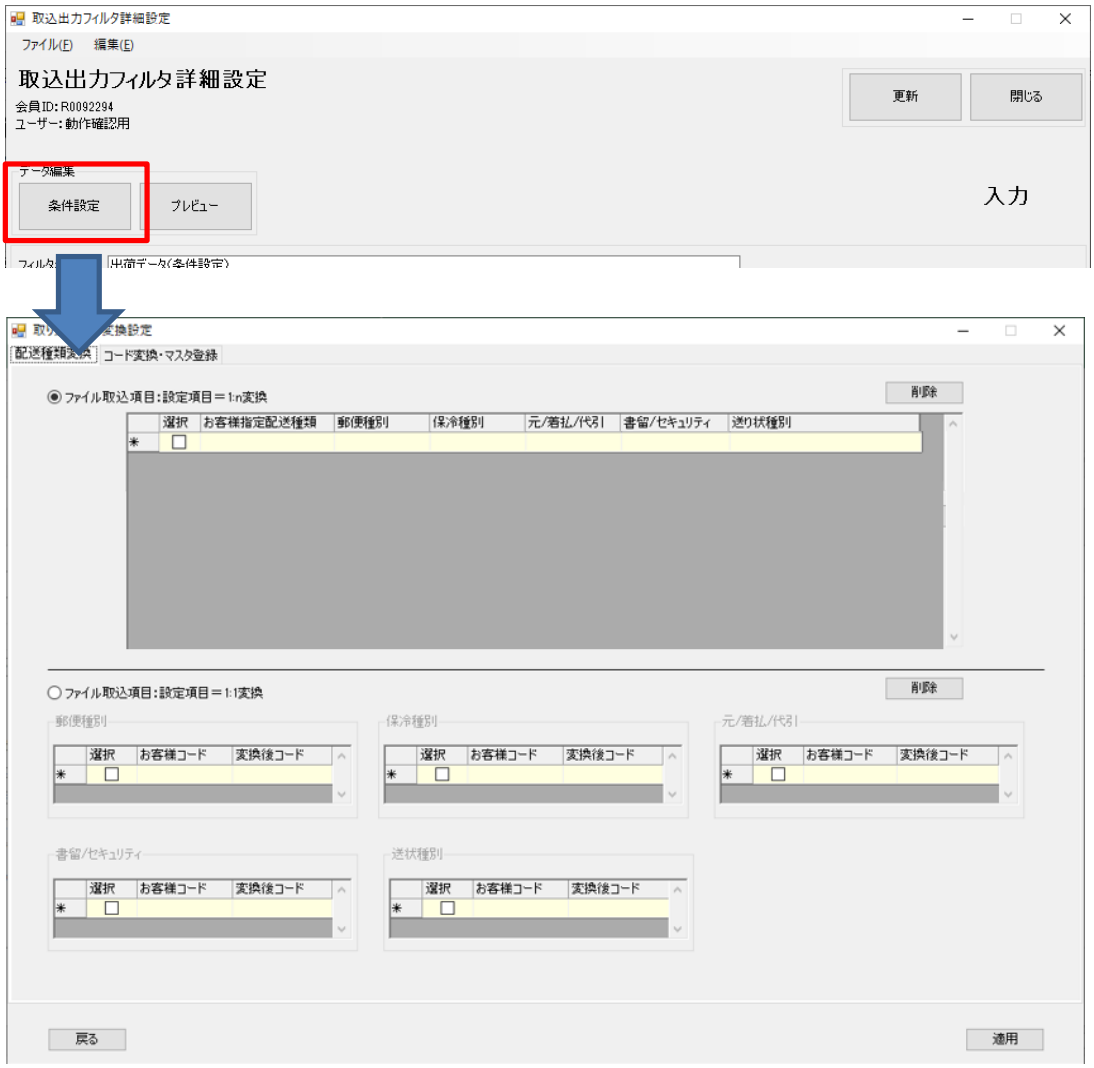
１．変換取り込みができるゆうプリＲ側の項目

変換取り込みが行える項目は以下になります。

〈郵便種別〉、〈保冷種別〉、〈元／着払／代引〉、〈書留／セキュリティ〉、〈送り状種別〉
〈配達時間帯〉、〈サイズ／厚さ区分〉、〈敬称区分〉

２．条件設定の画面

条件設定は、『取込出力フィルタ詳細設定』画面より画面を起動します。



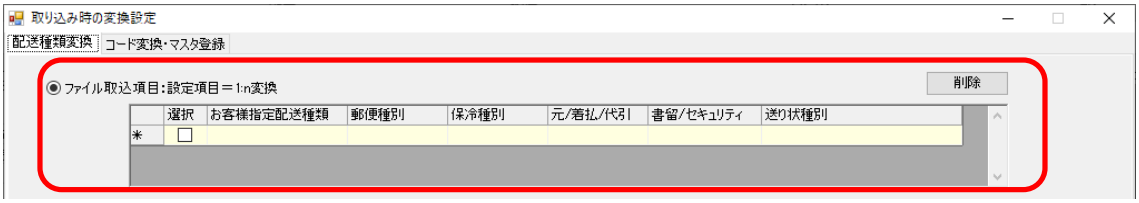
3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

３．配送種類でのコード変換設定

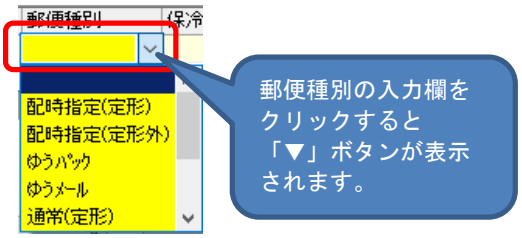
取り込みデータ内にお客様指定配送種類（※）がある場合は、ゆうプリＲの各種別を設定することで、変換して取り込むことができます。
取り込みデータ内に各種別（<郵便種別><保冷種別><元/着種別><代引種別><書留/セキュリティ><送り状種別>）の値が無くても、設定した種別で取り込むことができます。
※ お客様指定配送種類とは、取り込みファイルから以下の情報を特定できる項目（値）のことをいいます。

<郵便種別>、<保冷種別>、<元/着種/代引種別>、<書留/セキュリティ種別>、<送り状種別>

(1) 変換設定画面

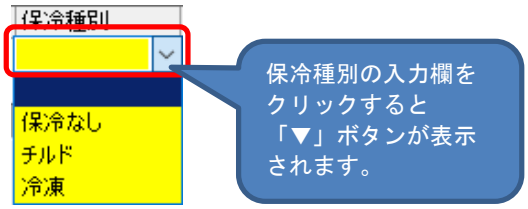
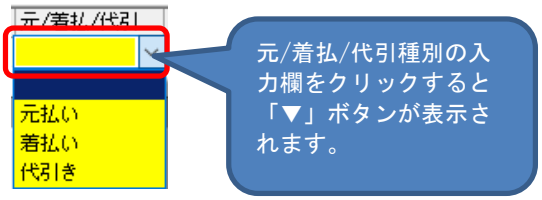
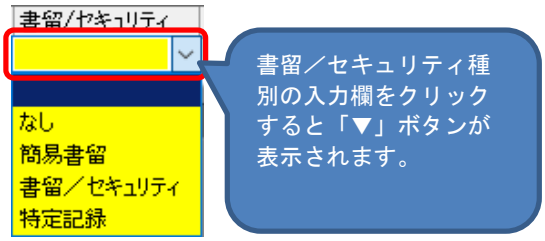
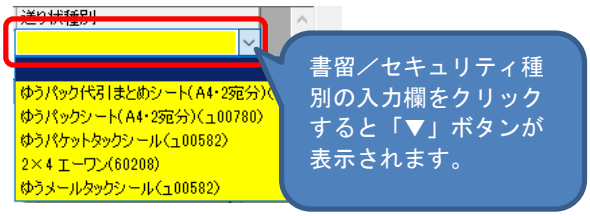


■ 設定項目説明

お客様指定配送種類でのコード変換設定	削除	入力した明細行を削除する場合に選択にチェックをします。 チェックをつけた明細行は「削除」ボタンのクリックで削除されます。 入力方法　：　チェックボックスによる選択 チェックなし：登録 チェックあり：削除 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	お客様指定配送種類	取り込みファイルの配送種類の値を入力します。 入力形式　：　全半角混在可能 ※未入力でも条件設定の指定は可能です。 ただし、未入力行は１行のみです。 入力方法　：　直接入力 入力文字数は全角10文字、半角20文字までです。 ※文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	郵便種別	配送種類の値に対する郵便種別を選択します。 入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

■ 設定項目説明

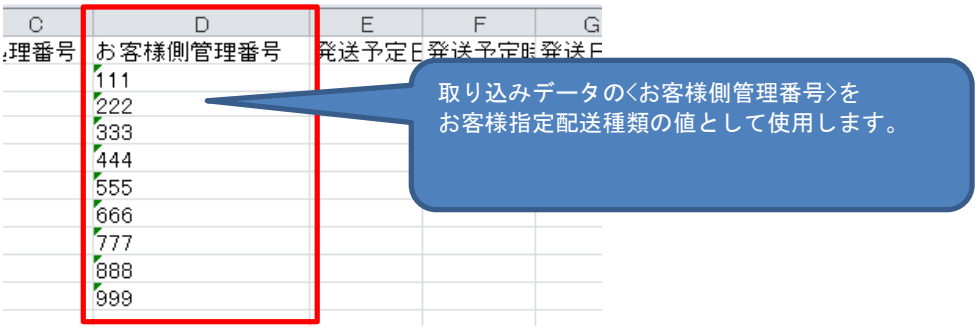
お客様指定配送種類でのコード変換設定	保冷種別	配送種類の値に対する保冷種別を選択します。 入力方法 ： 「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態 ： 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	元／着払／代引種別	配送種類の値に対する元払、着払、代引種別を選択します。 入力方法 ： 「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態 ： 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	書留／セキュリティ	配送種類の値に対する書留／セキュリティ種別を選択します。 入力方法 ： 「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態 ： 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	送り状種別	配送種類の値に対する送り状種別を選択します。 入力方法 ： 「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態 ： 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

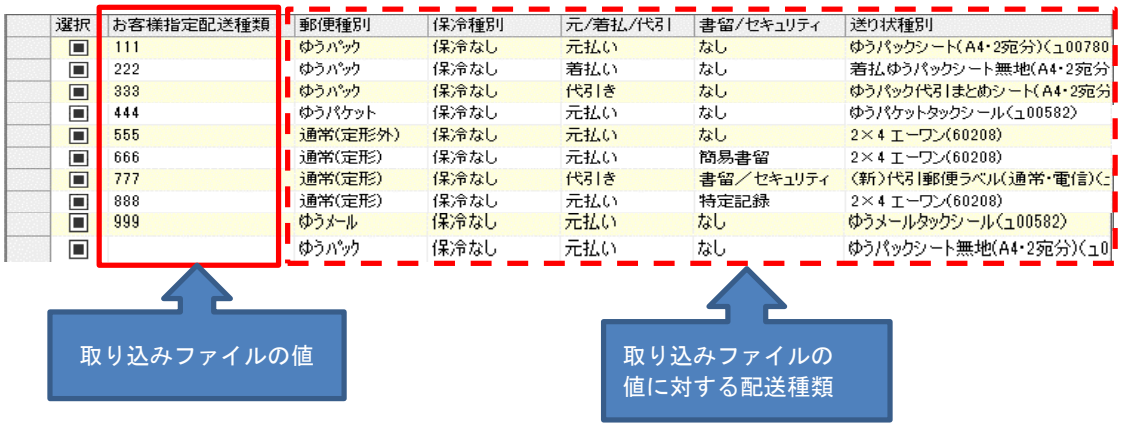
3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(2) お客様指定配送種類による変換設定例

■ 取り込みデータサンプル



■ お客様指定配送種類の設定例



Note

◆ 条件設定
お客様指定配送種類に取り込んだ値からゆうプリRの<郵便種別><保冷種別>
<元/着払/代引種別><書留/セキュリティ><送り状種別>を設定します。

上記のサンプルの場合

お客様指定配送種類に取り込んだ値が’111’の場合、取り込んだデータの
配送種類を以下のように設定します。

郵便種別：ゆうパック　　保冷種別：保冷なし　　元/着払/代引：元払い
書留/セキュリティ：なし　送り状種別：ゆうパックシート（A4・2宛分）（ユ00780）

お客様指定配送種類に取り込んだ値が未設定の場合、取り込んだデータの
配送種類を以下のように設定します。

郵便種別：ゆうパック　　保冷種別：保冷なし　　元/着払/代引：元払い
書留/セキュリティ：なし　送り状種別：ゆうパックシート無地（A4・2宛分）（ユ00783）

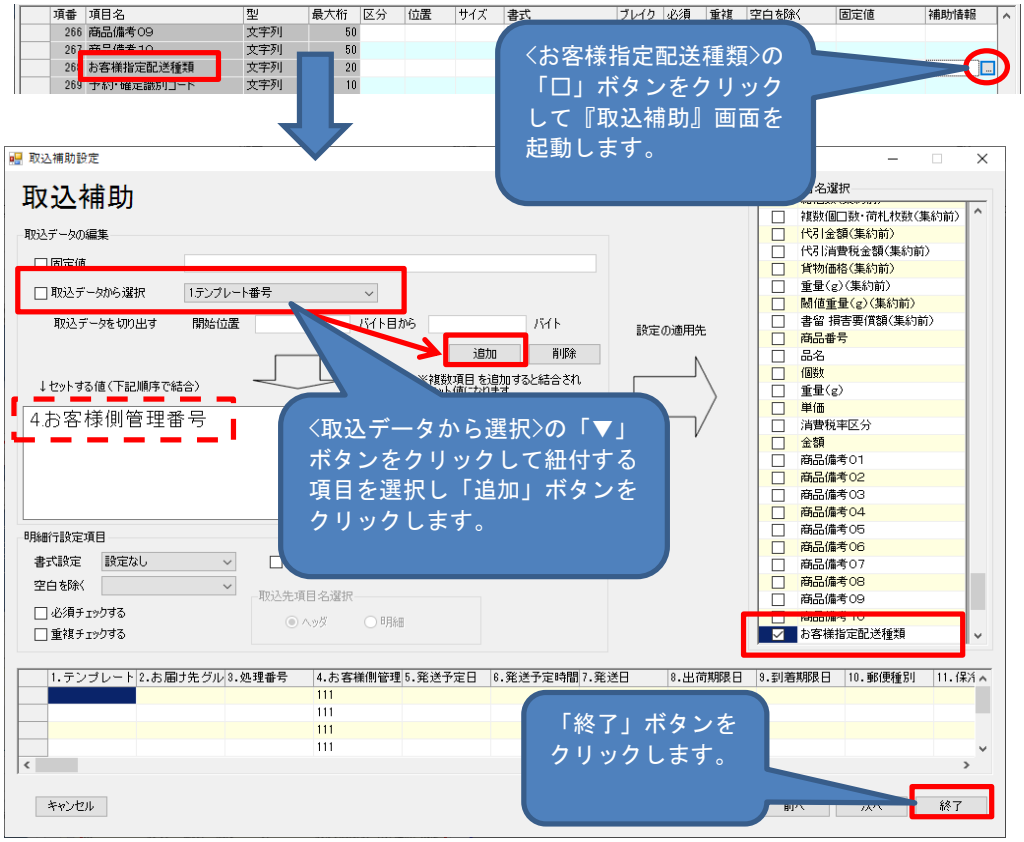
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

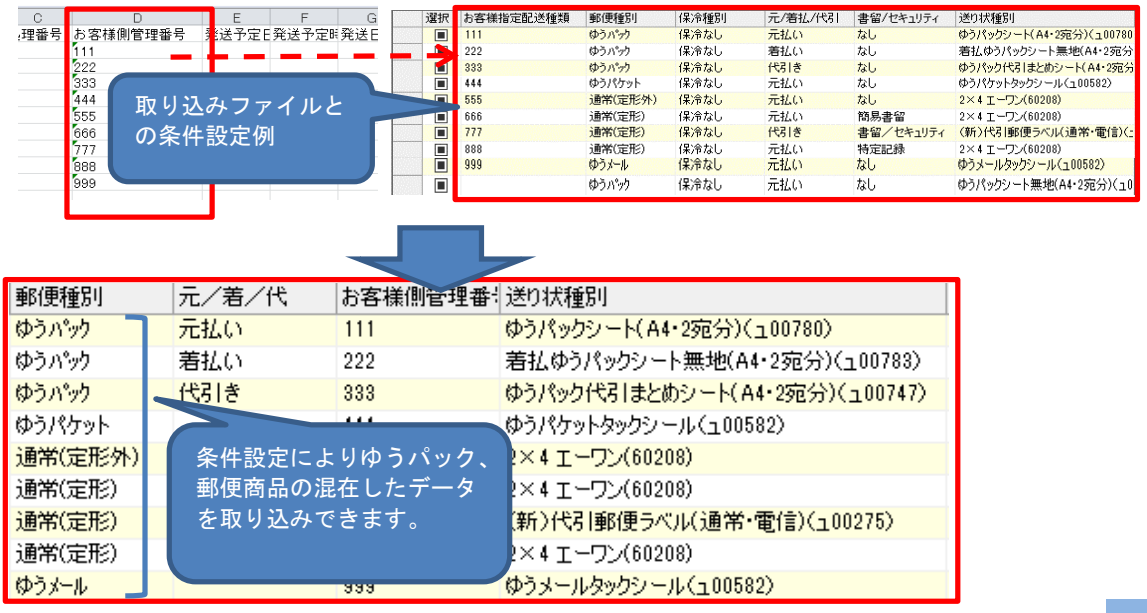
(3) お客様指定配送種類と取り込みデータとの紐付例

取り込みデータとゆうプリＲのお客様指定配送種類の紐付は、以下の項目で設定します。

■ フィルタ設定方法



■ 取り込み結果



郵便種別	元／着／代	お客様側管理番号	送り状種別
ゆうパック	元払い	111	ゆうパックシート(A4･2宛分)(ュ00780)
ゆうパック	着払い	222	着払ゆうパックシート無地(A4･2宛分)(ュ00783)
ゆうパック	代引き	333	ゆうパック代引まとめシート(A4･2宛分)(ュ00747)
ゆうパケット		444	ゆうパケットタックシール(ュ00582)
通常(定形外)		555	2×4 エーワン(60208)
通常(定形)		666	2×4 エーワン(60208)
通常(定形)		777	(新)代引郵便ラベル(通常･電信)(ュ00275)
通常(定形)		888	2×4 エーワン(60208)
ゆうメール		999	ゆうメールタックシール(ュ00582)

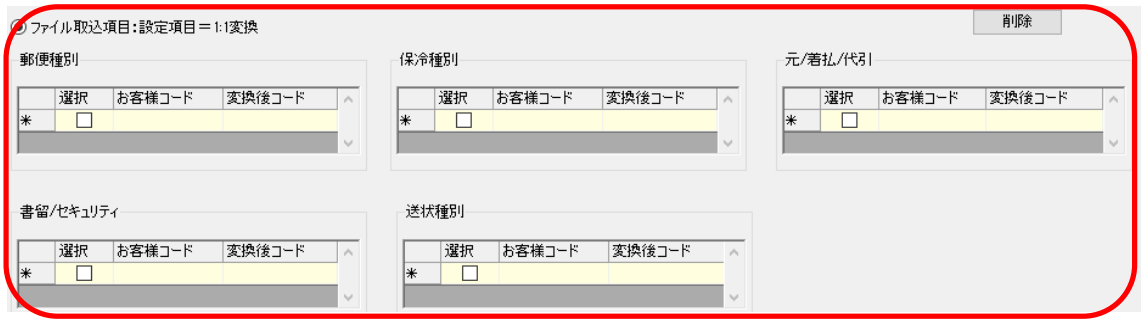
3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

4．お客様コードによる配送種類の変換設定

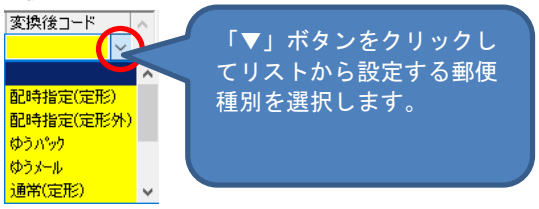
取り込みデータ内で以下の対象項目について、お客さまにて設定された任意のコード値がある場合は、変換後コードを設定することで、変換して取り込むことができます。
対象項目に取り込んだデータに値が無い場合は、お客様コードは設定せず、変換後コードのみ設定することで変換して取り込みすることができます。

■ 対象項目
〈郵便種別〉、〈保冷種別〉、〈元/着種/代引種別〉、〈書留/セキュリティ種別〉、〈送り状種別〉

(1) 変換設定画面

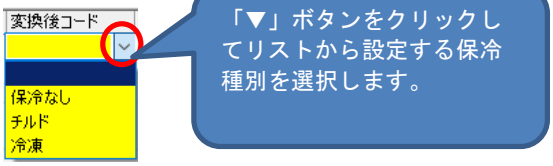
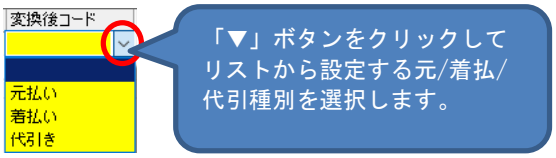
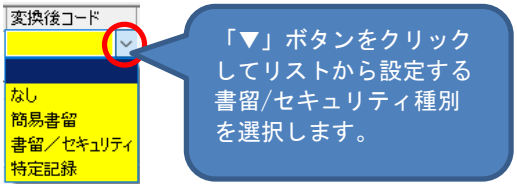


■ 設定項目説明

お客様コードでのコード変換設定	選択	入力した明細行を削除する場合は選択にチェックをします。 チェックをつけた明細行は「削除」をクリックで削除されます。 入力方法　：　チェックボックスによる選択 チェックなし：登録 チェックあり：削除 初期状態　：　新規の場合、未入力（チェックなし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	郵便種別	取り込みファイル内の郵便種別に該当する値に対するゆうプリＲ側の郵便種別を選択します。 入力方法　：　お客様コードは直接入力 ※取込データが値なしの場合、未入力状態で変換後コードの指定が可能です。 変換後コードは「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

■ 設定項目説明

お客様コードでのコード変換設定	保冷種別	取り込みファイル内の保冷種別に該当する値に対するゆうプリＲ側の保冷種別を選択します。 入力方法　：　お客様コードは直接入力 変換後コードは「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	元/着払/代引	取り込みファイル内の元/着払/代引種別に該当する値に対するゆうプリＲ側の元/着払/代引種別を選択します。 入力方法　：　お客様コードは直接入力 変換後コードは「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	書留/セキュリティ	取り込みファイル内の書留/セキュリティ種別に該当する値に対するゆうプリＲ側の書留/セキュリティ種別を選択します。 入力方法　：　お客様コードは直接入力 変換後コードは「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	送り状種別	取り込みファイル内の送り状種別に該当する値に対するゆうプリＲ側の送り状種別を選択します。 入力形式　：　直接入力 変換後コードに入力する値は、別紙〔８．入出力インターフェース仕様書〕をご確認ください。 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(2) お客様コードによる変換設定例

■ 取り込みデータサンプル

J	K	L	M	N	O
郵便種別	保冷種別	元／着払／代引	書留／セキュリティ	配達時間帯	送り状種
宅配便	常温	クレジット	なし		780
宅配便	冷蔵	代金引換	セキュリティ		747
宅配便	冷凍	代金引換	セキュリティ		747

取り込みデータの<郵便種別>、<保冷種別>、<書留/セキュリティ>、<元/着払/代引>、<送り状種別>をお客様コードの値として使用します。

■ お客様コードの設定例

郵便種別

選択	お客様コード	変換後コード
☑	宅配便	ゆうパック
☐		ゆうメール

保冷種別

選択	お客様コード	変換後コード
☑	常温	保冷なし
☑	冷蔵	チルド

元/着払/代引

選択	お客様コード	変換後コード
☑	クレジット	元払い
☑	代金引換	代引き

書留/セキュリティ

選択	お客様コード	変換後コード
☑	なし	なし
☑	セキュリティ	書留／セキュリティ

送状種別

選択	お客様コード	変換後コード
☑	780	1100780
☑	747	1100747

取込みファイルの値　　ゆうプリR側の設定値

【上記設定例の内容】

郵便種別	取り込みデータが<宅配便>の場合、ゆうプリR側に<ゆうパック>を設定します。 取り込みデータに値が無い場合、ゆうプリR側に<ゆうメール>を設定します。
保冷種別	取り込みデータが<常温>の場合、ゆうプリR側に<保冷なし>を設定します。 取り込みデータが<冷蔵>の場合、ゆうプリR側に<チルド>を設定します。
元/着払/代引	取り込みデータが<クレジット>の場合、ゆうプリR側に<元払い>を設定します。 取り込みデータが<代金引換>の場合、ゆうプリR側に<代引き>を設定します。
書留/セキュリティ	取り込みデータが<なし>の場合、ゆうプリR側に<なし>を設定します。 取り込みデータが<セキュリティ>の場合、ゆうプリRに<セキュリティ>を設定します。
送状種別	取り込みデータが<780>の場合、ゆうプリR側に<1100780>を設定します。 取り込みデータが<747>の場合、ゆうプリR側に<1100747>を設定します。

Note

◆ お客様コードの変換設定
お客様コードからの変換設定は、１対１の変換になります。したがいまして、
<郵便種別><保冷種別><元/着払/代引種別><書留/セキュリティ><送り状種別>が
それぞれ独立して変換を行います。
このため、変換した結果、データの整合性が取れていない場合は、取り込みエラーとなります。

お客様コードが未設定の場合でも変換後コードを指定し、変換をすることができます。

また、<郵便種別><保冷種別><元/着払/代引種別><書留/セキュリティ>
<送り状種別>の全てを設定する必要はありません。変換設定する項目のみ設定し
取り込みすることができます。

◆ 送状種別について
ゆうプリR側の変換後コードは、別紙〔８．入出力インターフェース仕様書〕を
参照ください。

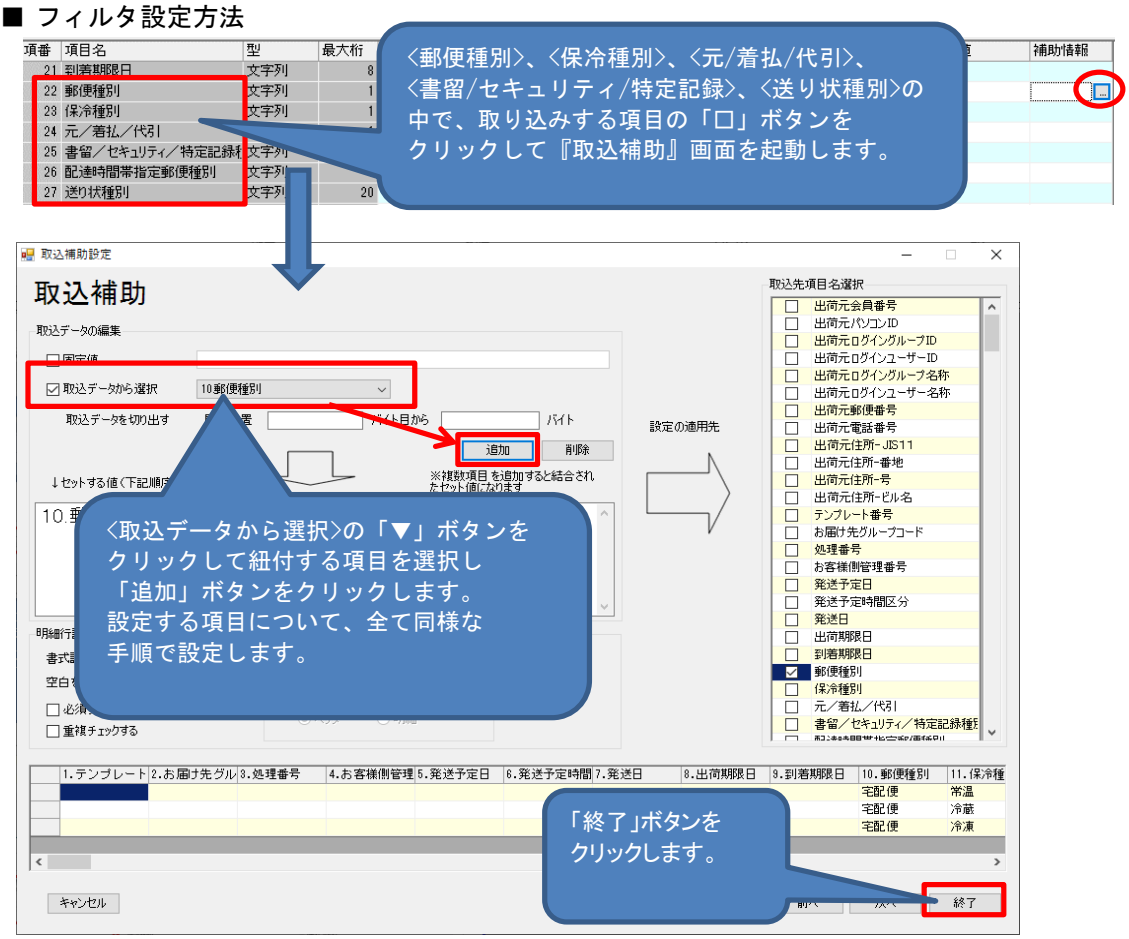
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

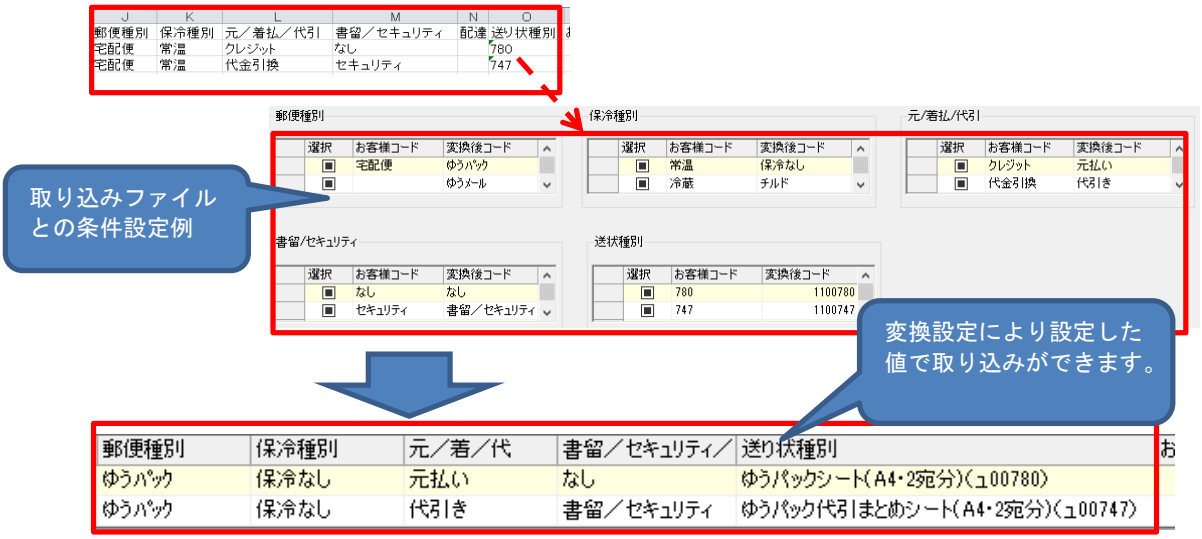
(3) ゆうプリＲ側の項目と取り込みデータとの紐付例

取り込みデータとゆうプリＲの紐付は、以下の項目で設定します。

■ フィルタ設定方法



■ 取込結果



郵便種別	保冷種別	元／着／代	書留／セキュリティ／	送り状種別
ゆうパック	保冷なし	元払い	なし	ゆうパックシート(A4・2宛分)(ュ00780)
ゆうパック	保冷なし	代引き	書留／セキュリティ	ゆうパック代引まとめシート(A4・2宛分)(ュ00747)

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

５．その他のコードによる変換設定

取り込みデータ内で以下の対象項目について、お客さまにて設定された任意のコード値がある場合は、変換後コードを設定することで、変換して取り込むことができます。

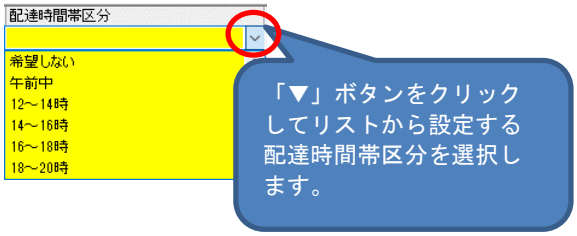
■ 対象項目

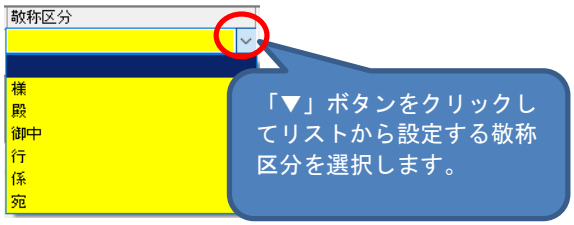
〈配達時間帯区分〉、〈敬称区分〉、〈商品サイズ区分〉

(1) 変換設定画面

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

■ 設定項目説明

<table>
<tr><td rowspan="5">その他のコードでのコード変換設定</td><td>選択</td><td>入力した明細行を削除する場合は選択にチェックをします。
チェック後、「削除」をクリックで削除されます。
入力方法　：　チェックボックスによる選択
<table><tr><td>チェックなし</td><td>登録</td></tr><tr><td>チェックあり</td><td>削除</td></tr></table>
初期状態　：　新規の場合、未入力（チェックなし）となります。
修正の場合、登録されている内容を
表示します。</td></tr>
<tr><td>お客様配達時間帯区分</td><td>取り込みファイル内の配達時間帯区分に該当する値を
入力します。
入力形式　：　全半角混在可能
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を
表示します。</td></tr>
<tr><td>配達時間帯区分</td><td>取り込みファイル内の配達時間帯区分に該当する値に
対するゆうプリＲ側の配達時間帯区分を選択します。
入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして選択します。
 

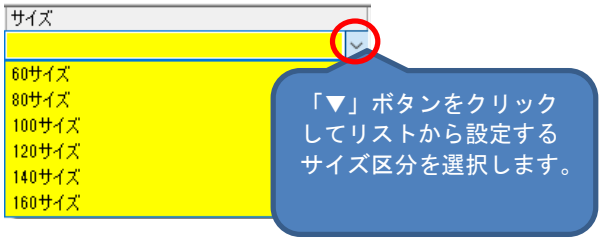
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を
表示します。</td></tr>
<tr><td>お客様敬称区分</td><td>取り込みファイル内の敬称区分に該当する値を入力します。
入力形式　：　全半角混在可能
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を
表示します。</td></tr>
<tr><td>敬称区分</td><td>取り込みファイル内の敬称区分に該当する値に対する
ゆうプリＲ側の敬称区分を選択します。
入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして選択します。
 

初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を
表示します。</td></tr>
</table>

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

■ 設定項目説明

その他のコードでのコード変換設定	お客様指定サイズ	取り込みファイル内のサイズ区分に該当する値を入力します。 入力形式　：　全半角混在可能 入力方法　：　直接入力 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。
	サイズ	取り込みファイル内のサイズ区分に該当する値に対する ゆうプリＲ側のサイズ区分を選択します。 入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして選択します。  初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

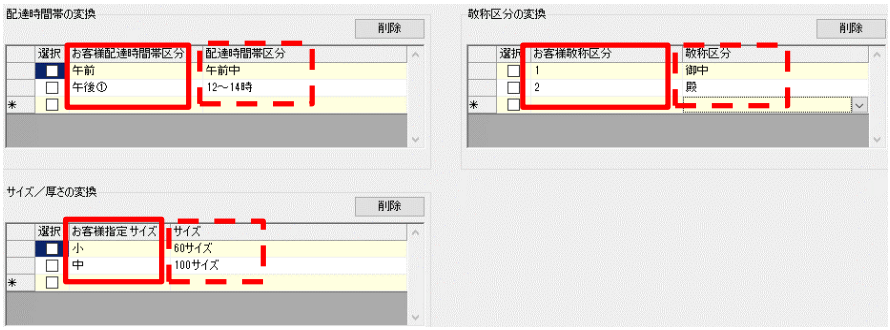
(2) お客様コードによる変換設定例

■ 取り込みデータサンプル

	Z	AA	AB
1	お届け先 敬称区分	商品サイズ区分	配達時間帯区分
2	1	小	午前
3	2	中	午後①

取り込みデータの〈お届け先敬称区分〉、〈商品サイズ区分〉、〈配達時間帯区分〉をお客様コードの値として使用します。

■ お客様コードの設定例



取込みファイルの値　　ゆうプリR側の設定値

【上記設定例の内容】

配達時間帯	取り込みデータが〈午前〉の場合、ゆうプリR側に〈午前中〉を設定します。 取り込みデータが〈午後①〉の場合、ゆうプリR側に〈12～14時〉を設定します。
敬称区分	取り込みデータが〈1〉の場合、ゆうプリR側に〈御中〉を設定します。 取り込みデータが〈2〉の場合、ゆうプリR側に〈殿〉を設定します。
サイズ／厚さ	取り込みデータが〈小〉の場合、ゆうプリR側に〈60サイズ〉を設定します。 取り込みデータが〈中〉の場合、ゆうプリRに〈100サイズ〉を設定します。

Note

◆ お客様コードの変換設定
お客様コードからの変換設定は、１対１の変換になります。したがいまして、〈配達時間帯〉〈敬称区分〉〈サイズ／厚さ〉がそれぞれ独立して変換を行います。

また、〈配達時間帯〉〈敬称区分〉〈サイズ／厚さ〉の全てを設定する必要はありません。
変換設定する項目のみ設定し取り込みすることができます。

◆ 敬称区分の変換
敬称区分の変換設定は、お届け先の敬称とご依頼主の敬称について変換することができます。この場合、〈お届け先敬称区分〉と〈ご依頼主敬称区分〉に取り込みする設定を登録してください。

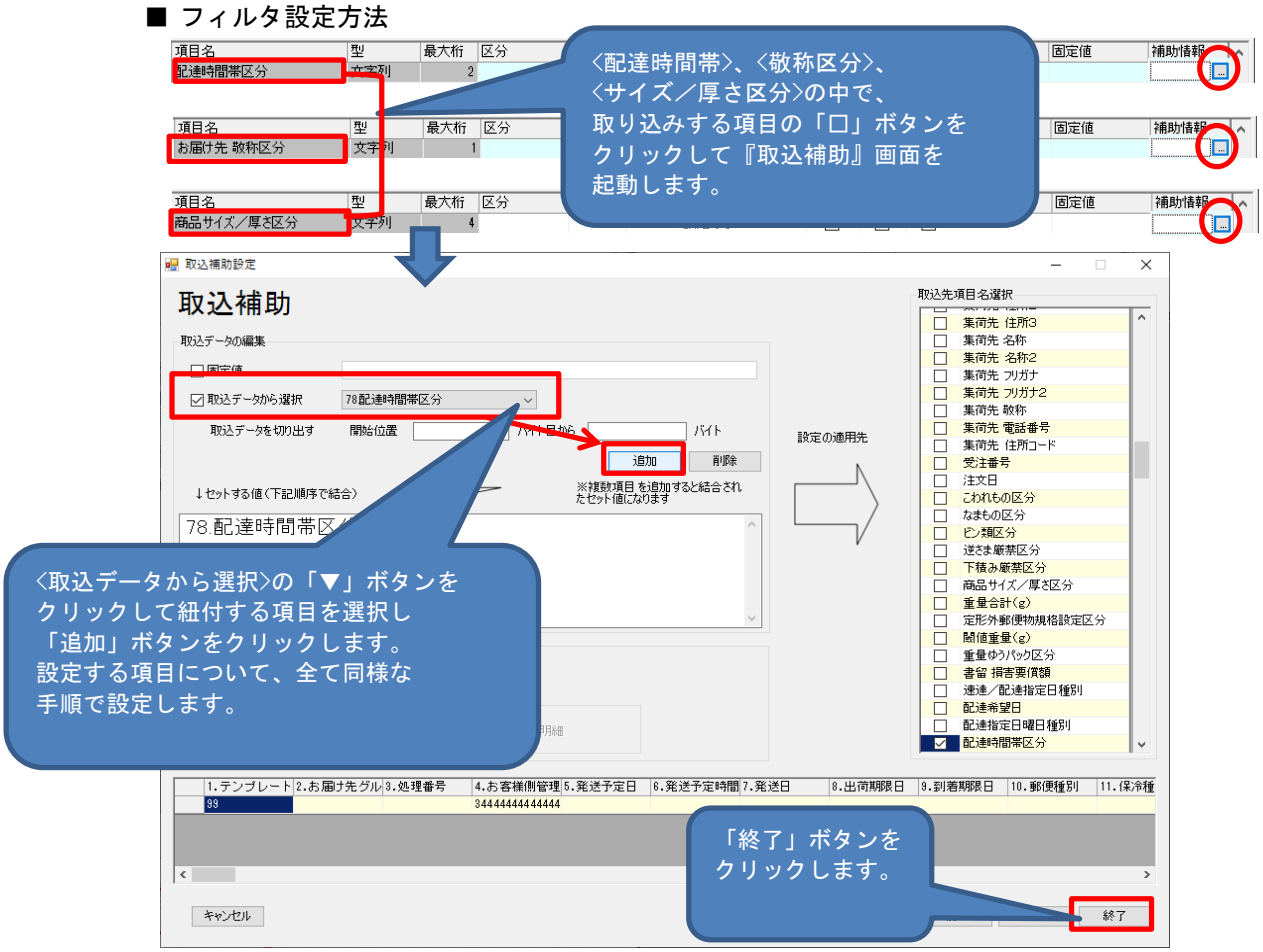
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）

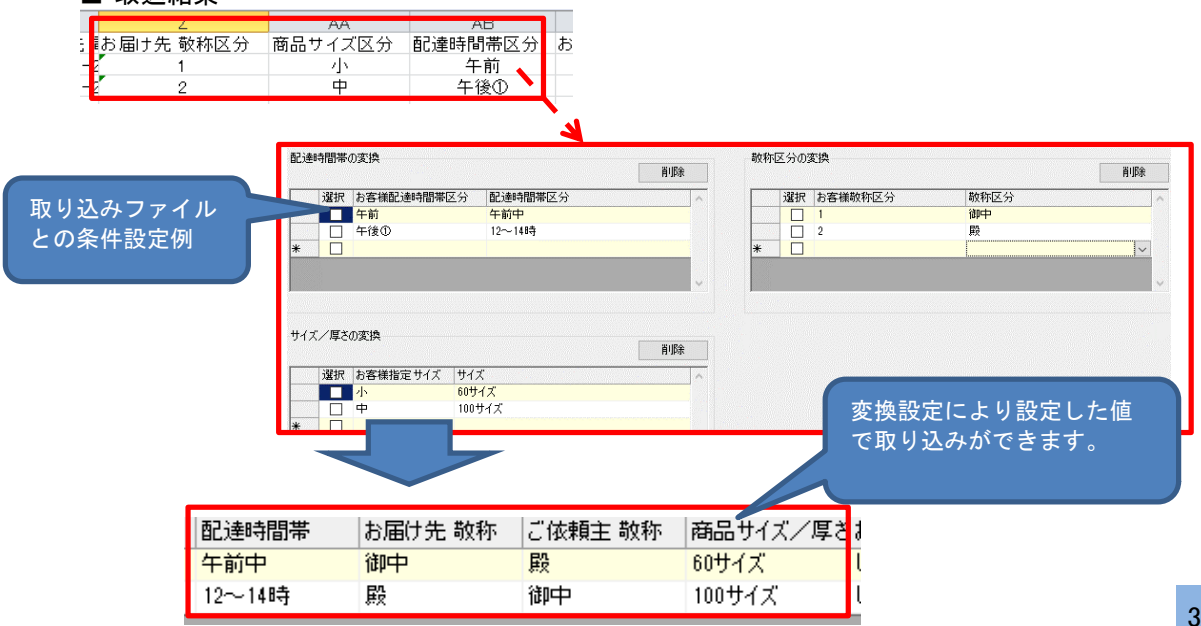
(3) ゆうプリＲ側の項目と取り込みデータとの紐付例

取り込みデータとゆうプリＲの紐付は、以下の項目で設定します。

■ フィルタ設定方法



■ 取込結果



3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

出荷データを取り込みする際、取り込みするデータにゆうプリＲに登録してあるお届け先コードや
ご依頼主コード、商品コードがある場合、そのコードからマスタ情報を参照して出荷データに反映する
ことができます。また、取り込みしたコードが既にマスタに存在する場合は、取り込んだ情報で
更新することもできます。

１．マスタ参照ができるゆうプリＲ側の情報

ゆうプリＲに登録してある以下のマスタ情報について、コードから参照できます。

〈顧客マスタ（届け先マスタ、ご依頼主マスタ）〉、〈商品マスタ〉

２．条件設定の画面

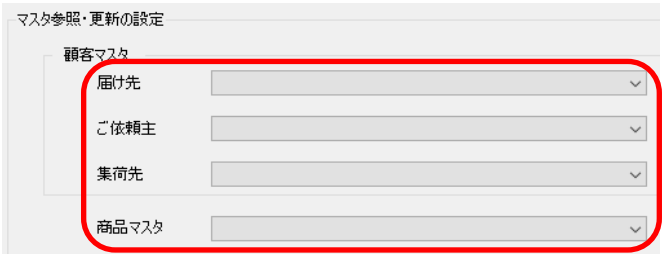
条件設定は、『取込出力フィルタ詳細設定』画面より画面を起動します。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

３．マスタ参照の設定

(1) 変換設定画面



■ 設定項目説明

顧客マスタ	届け先	届け先マスタの参照・更新方法を選択します。 入力方法　：「▼」ボタンをクリックして選択します。 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。
	ご依頼主	ご依頼主マスタの参照・更新方法を選択します。 入力方法　：「▼」ボタンをクリックして選択します。 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。
	集荷先	※ 現状、本機能についてはご利用いただけません。
商品マスタ	商品マスタの参照・更新方法を選択します。 入力方法　：「▼」ボタンをクリックして選択します。 初期状態　：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。	

(2) マスタ参照設定の選択項目

マスタ参照・更新の選択項目と動作は以下のとおりです。

選択項目	マスタ参照	上書更新	新規作成
既にコードがある場合は上書き、なければ新規作成する。	する	する	する
既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。	する	しない	する
マスタ参照する。	する	しない	しない
取込データそのまま	しない	しない	しない

※〈既にコードがある場合〉のマスタ参照については、同一コードの存在チェックとして参照を行います。

※〈取込データそのまま〉は、設定しない場合の動作と同じ取り込み結果になります。

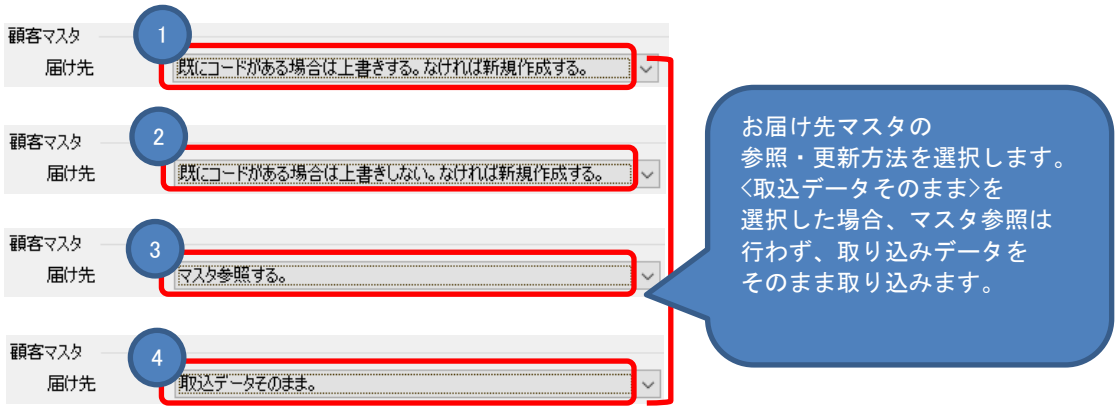
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

(3) マスタ参照・更新の設定と取り込みデータの紐付

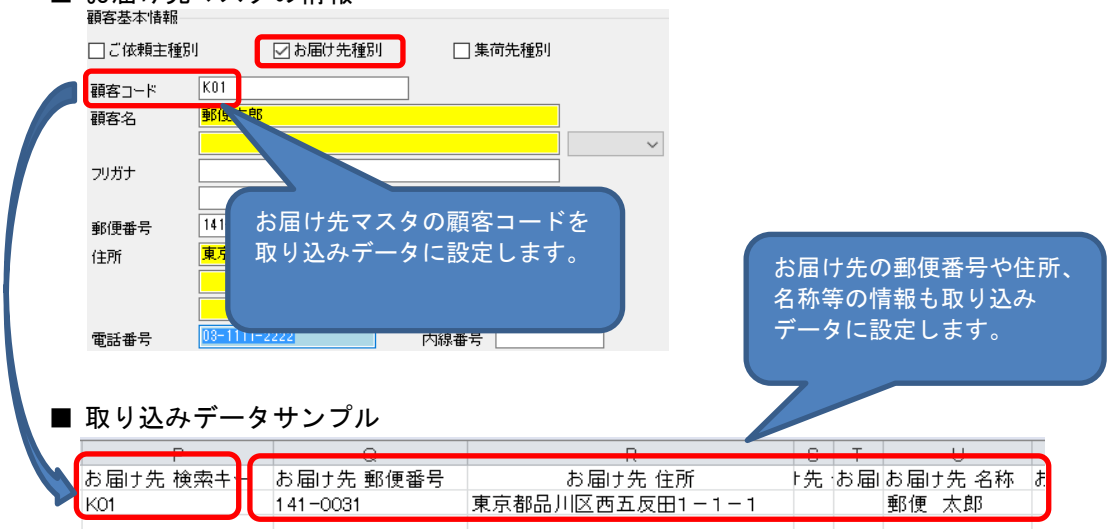
① お届け先マスタの参照・更新設定と項目の紐付

(a) マスタ参照・更新方法の選択



(b) 取り込みファイルの項目とゆうプリＲ側の項目との紐付例
【マスタ参照・更新設定①②の場合】

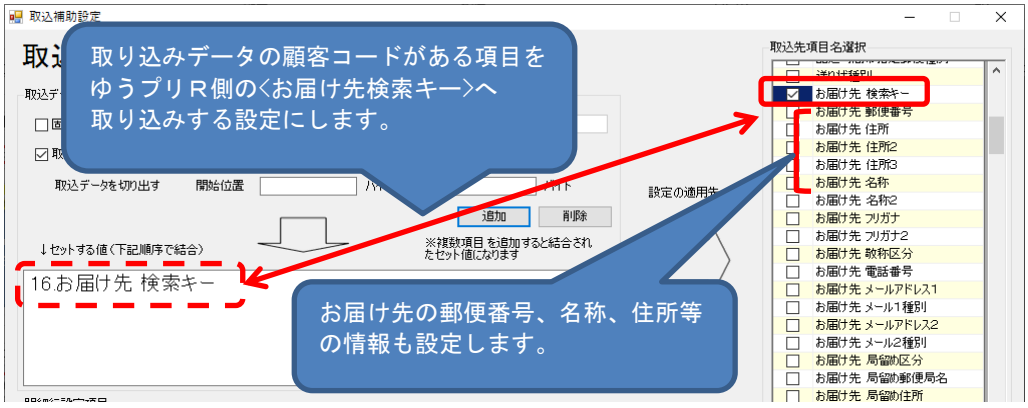
■ お届け先マスタの情報



■ 取り込みデータサンプル

P	Q	R	S	T	U
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	ト先	お届	お届け先 名称
K01	141-0031	東京都品川区西五反田1－1－1			郵便　太郎

■ ゆうプリＲ側の項目との紐付け

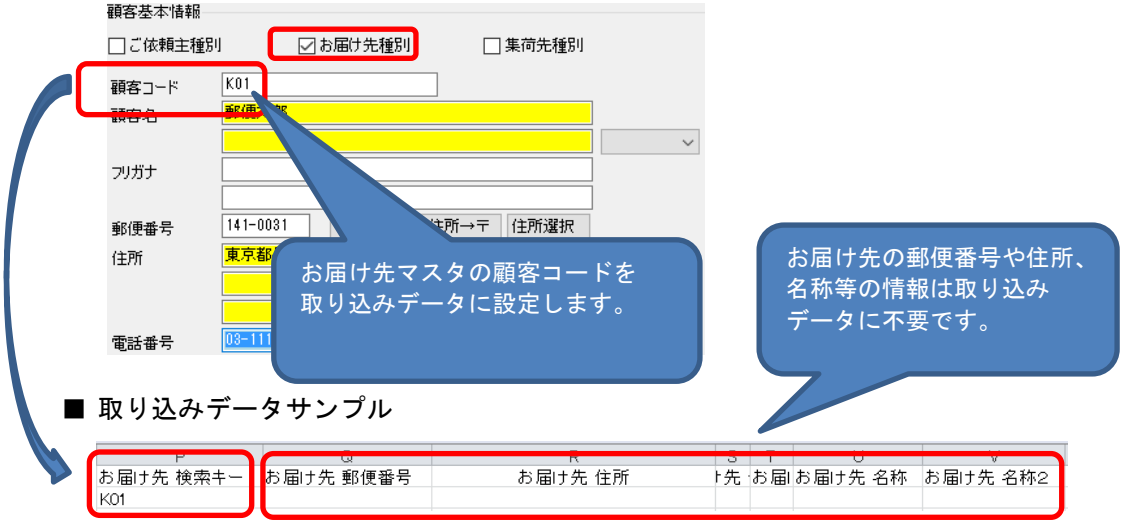


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

【マスタ参照・更新設定③の場合】

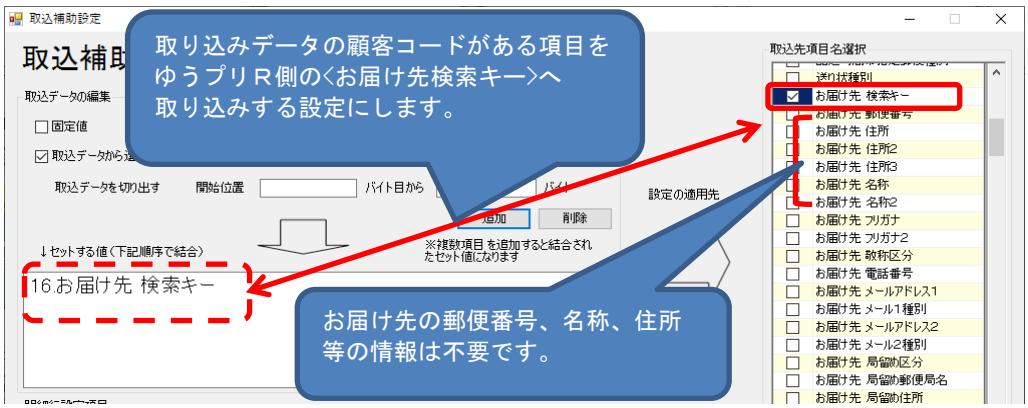
■ お届け先マスタの情報



■ 取り込みデータサンプル

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	先	お届	お届け先 名称	お届け先 名称2
K01						

■ ゆうプリＲ側の項目との紐付



【マスタ参照・更新設定④の場合】

■ 取り込みデータサンプル

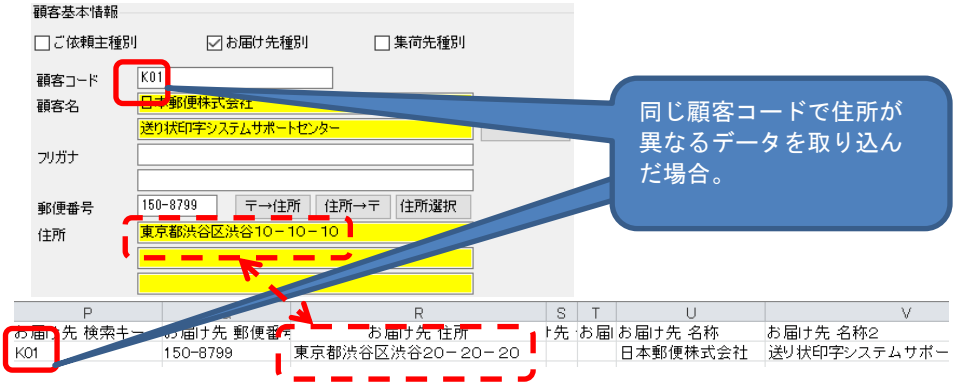
P	Q	R	S	T	U
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	先	お届	お届け先 名称
K01	141-0031	東京都品川区西五反田1－1－1			郵便　太郎

■ ゆうプリＲ側の項目との紐付

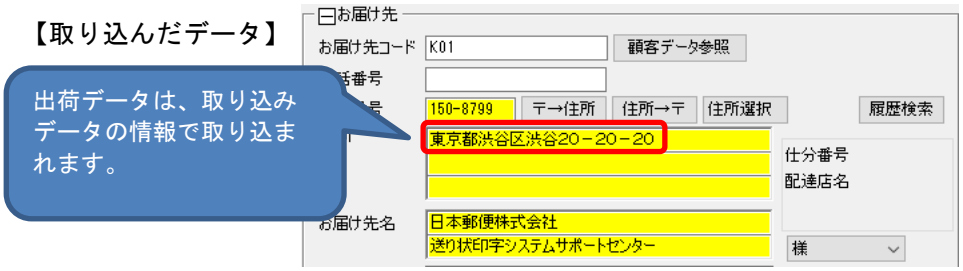
3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

（c）取り込み結果例

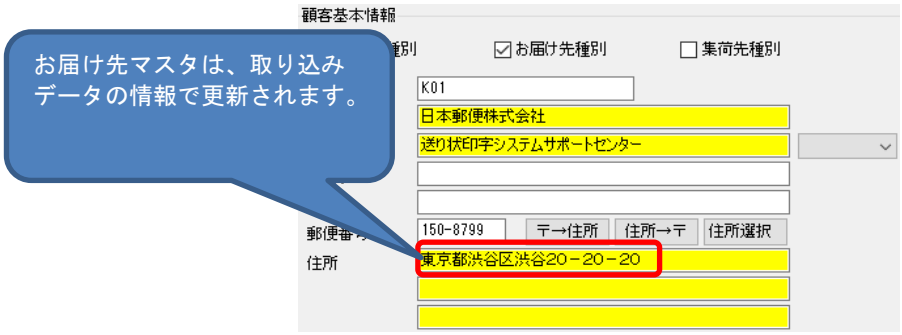
■ マスタ参照・更新設定が
①’既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。’の場合

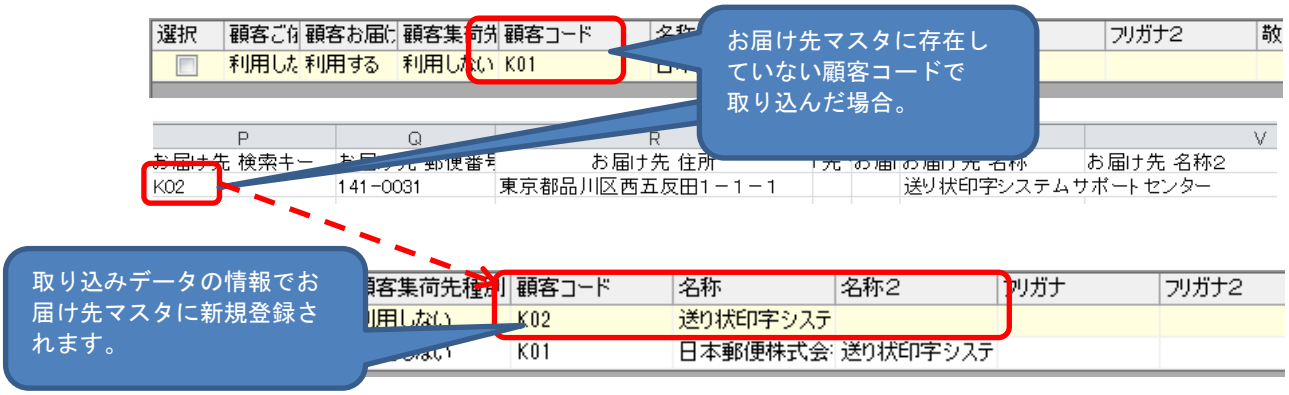


【取り込んだデータ】



【お届け先マスタの情報】

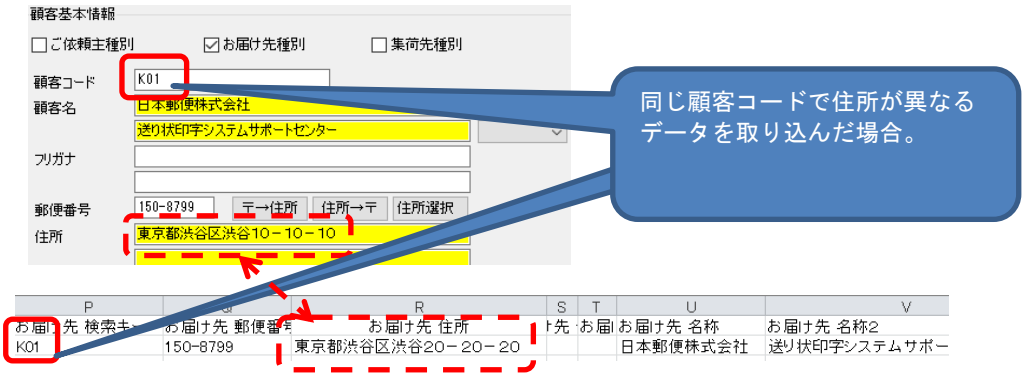




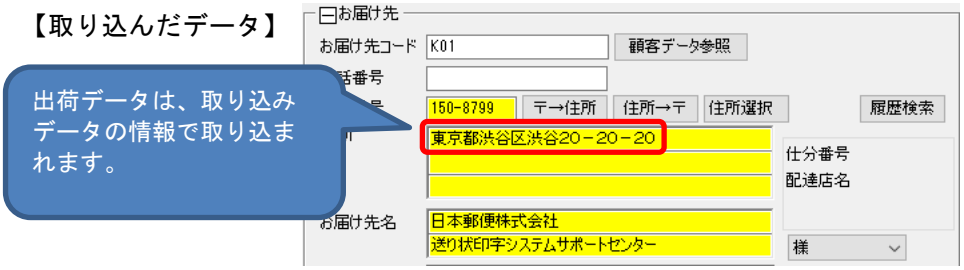
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

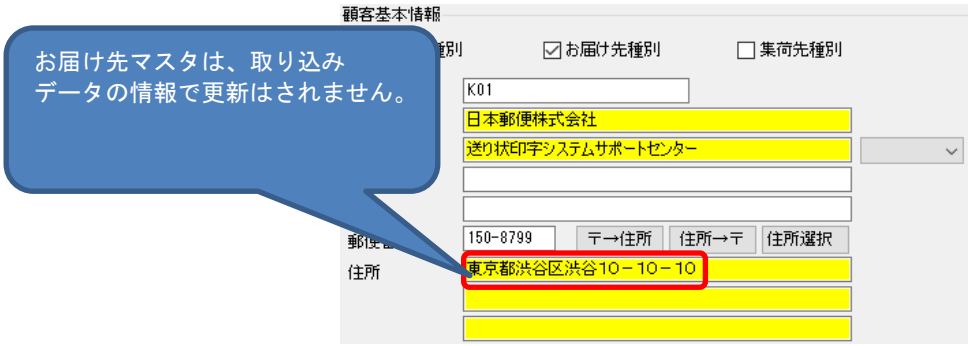
■ マスタ参照・更新設定が
②’既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。’の場合

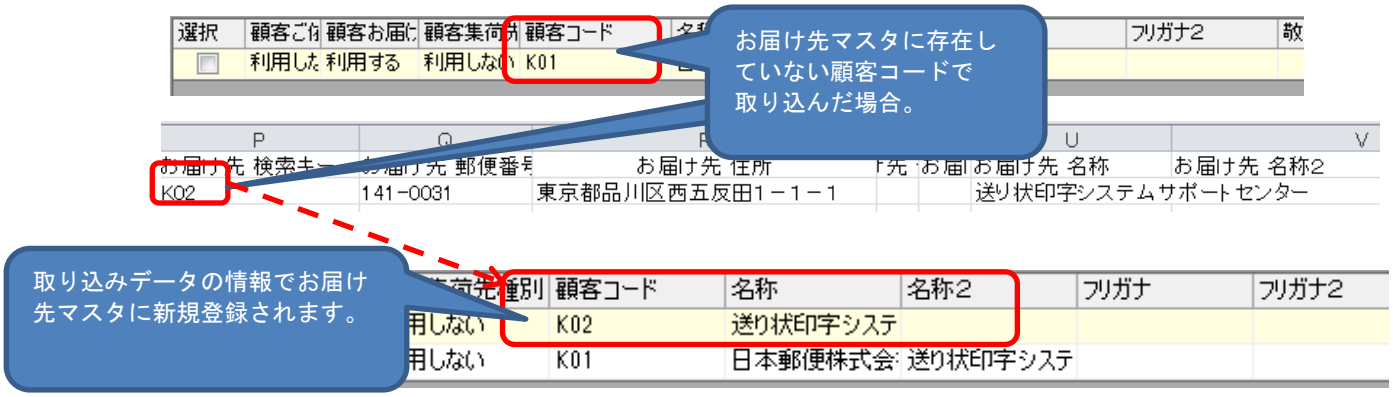


【取り込んだデータ】



【お届け先マスタの情報】

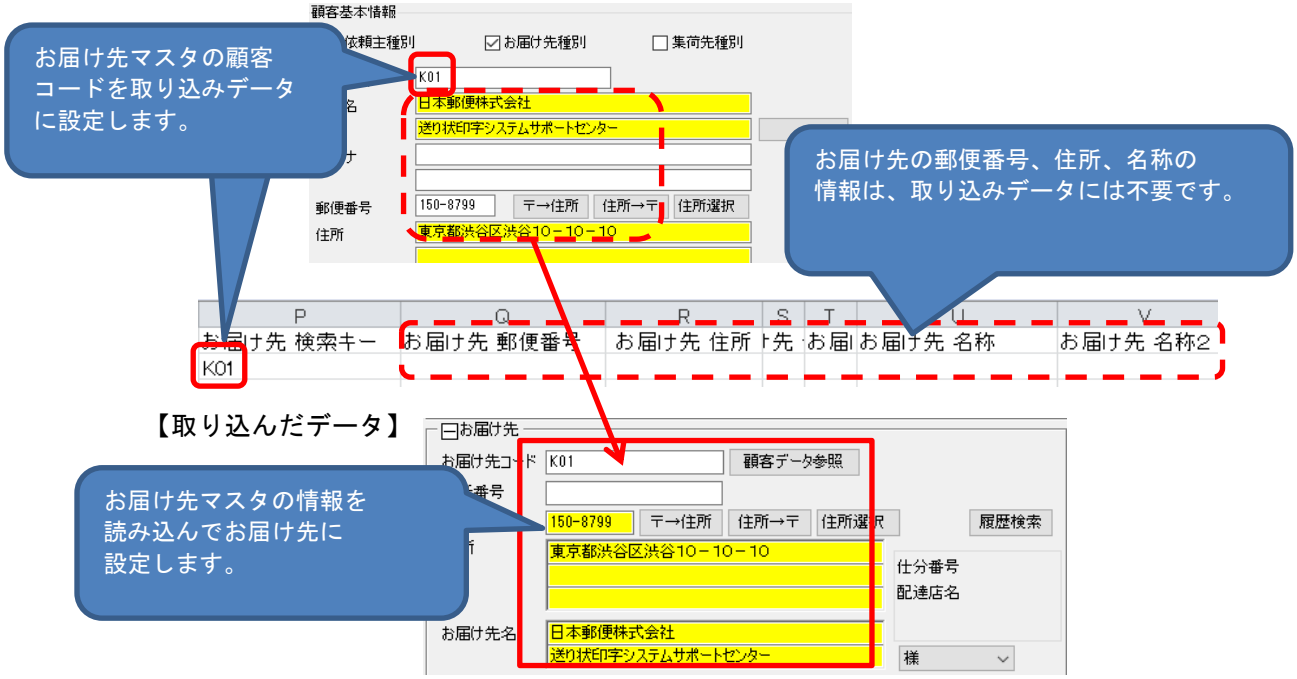




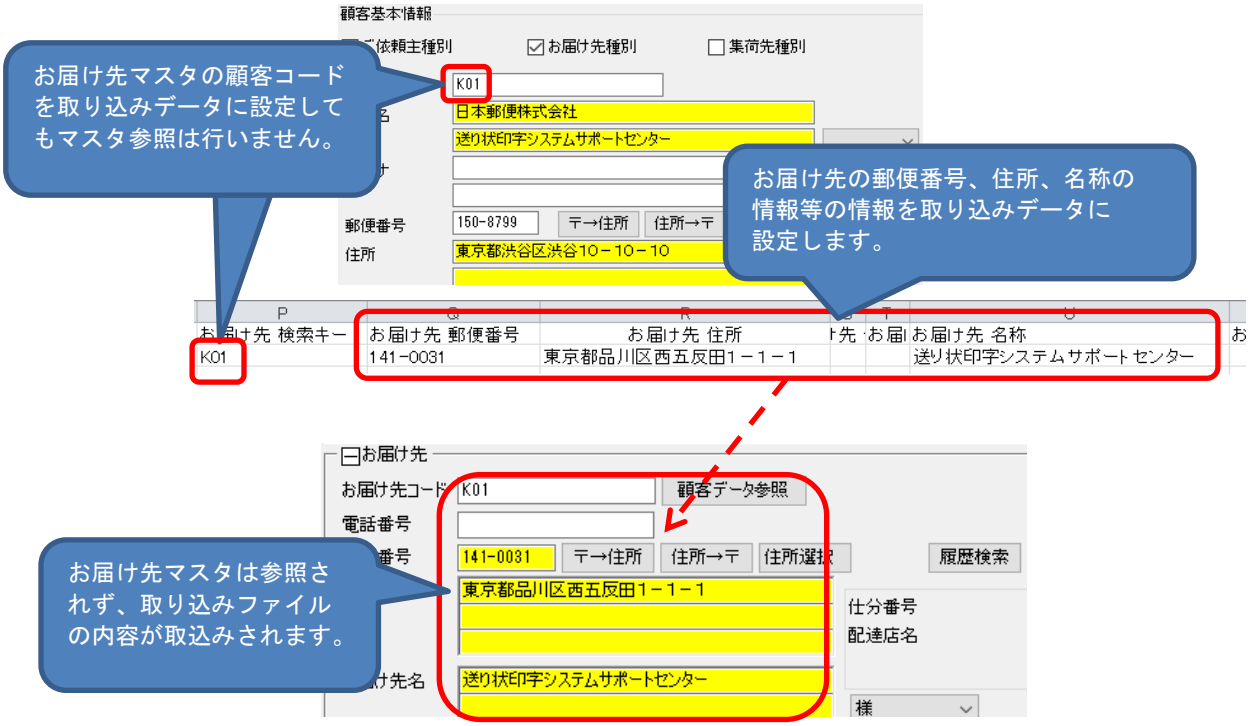
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

■ マスタ参照・更新設定が③’マスタ参照する’の場合
’マスタ参照する’の場合、お届け先マスタの情報を呼び出すのみで、マスタ情報の新規登録や更新は行いません。



■ マスタ参照・更新設定が④’取込データそのまま’の場合
’取込データそのまま’を設定した場合、マスタ参照機能は動作せず、取込ファイルのお届け先情報を取り込みします。

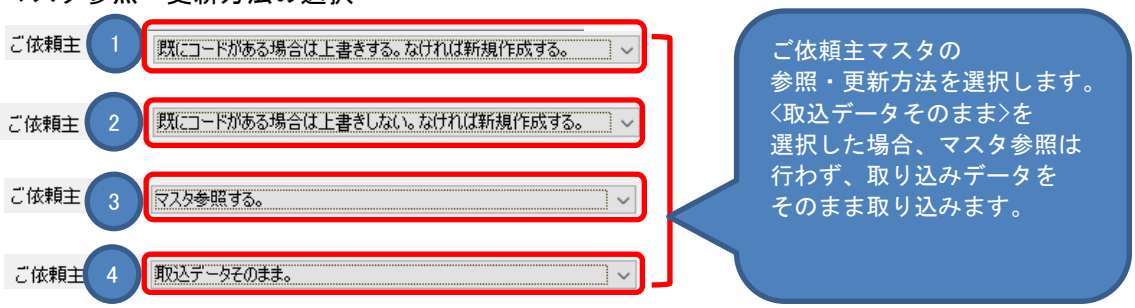


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

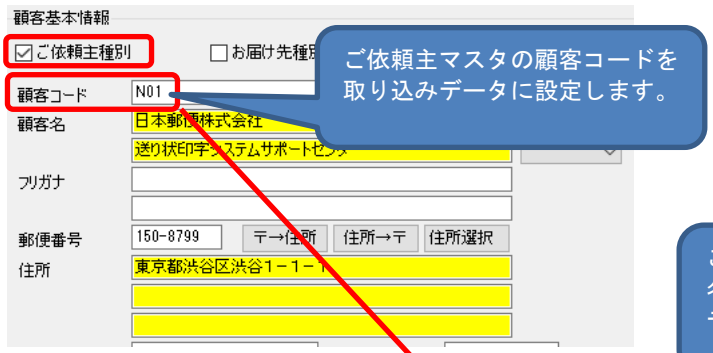
② ご依頼主マスタの参照・更新設定と項目の紐付

（a）マスタ参照・更新方法の選択



（b）取り込みファイルの項目とゆうプリＲ側の項目との紐付例
【マスタ参照・更新設定①②の場合】

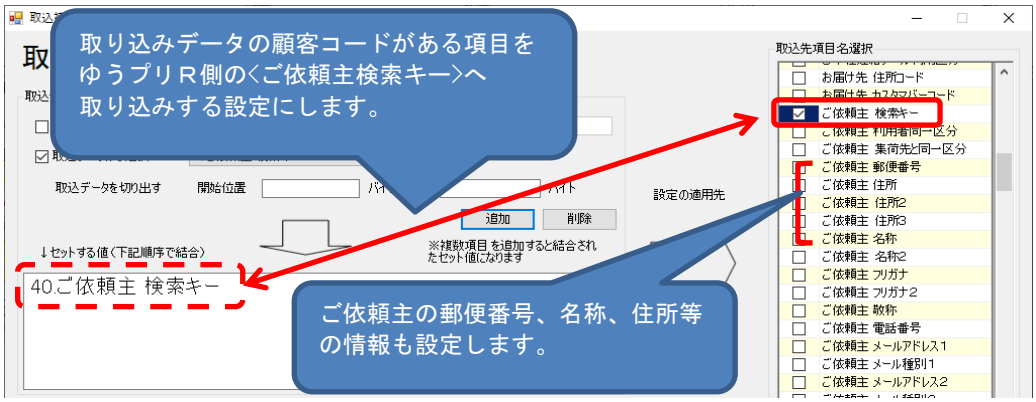
■ ご依頼主マスタの情報



■ 取り込みデータサンプル

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼	ご依頼主	ご依頼主 名称
N01			141-0031	東京都品川区西五反田1－1－1			郵便　太郎

■ ゆうプリＲ側の項目との紐付

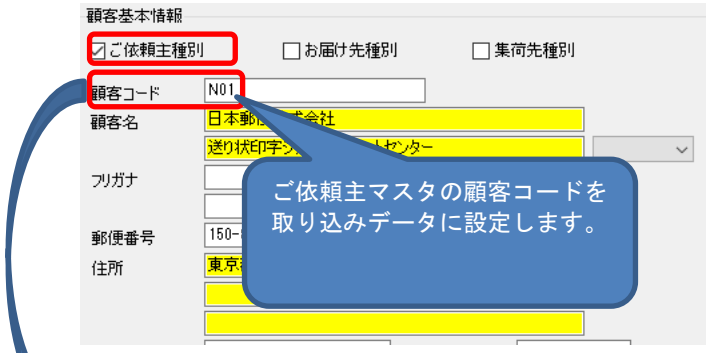


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

【マスタ参照・更新設定③の場合】

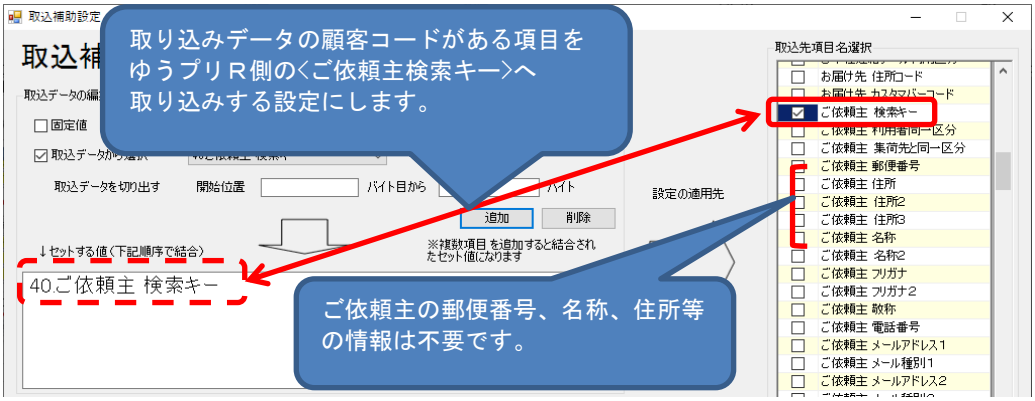
■ ご依頼主マスタの情報



■ 取込みデータサンプル

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼	ご依頼	ご依頼主 名称
N01							

■ ゆうプリＲ側の項目との紐付



【マスタ参照・更新設定④の場合】

■ 取り込みデータサンプル

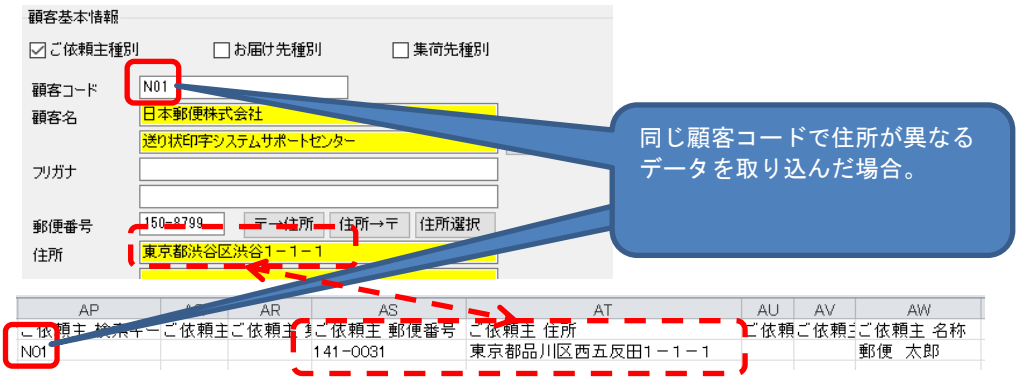
AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼	ご依頼	ご依頼主 名称
N01			141-0031	東京都品川区西五反田１－１－１			郵便　太郎

■ ゆうプリＲ側の項目との紐付

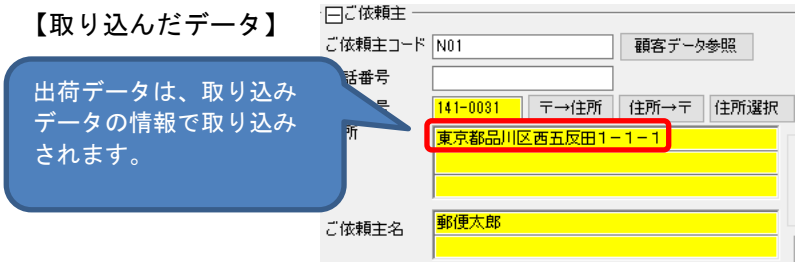
3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

（c）取り込み結果例

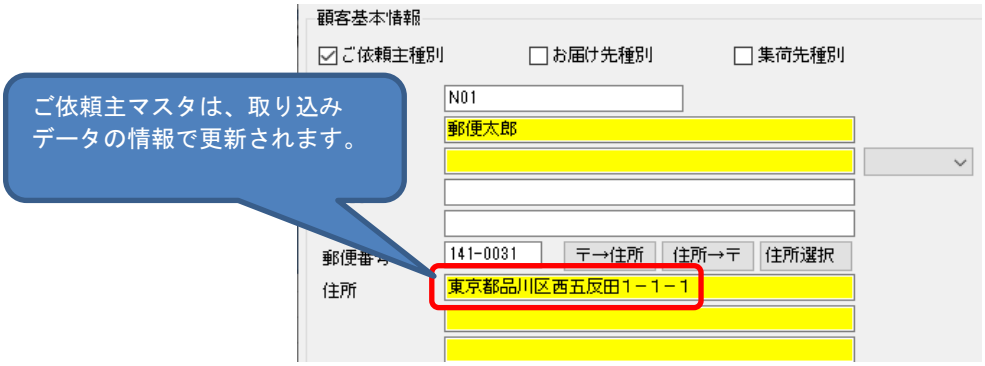
■ マスタ参照・更新設定が
①’既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。’の場合



【取り込んだデータ】



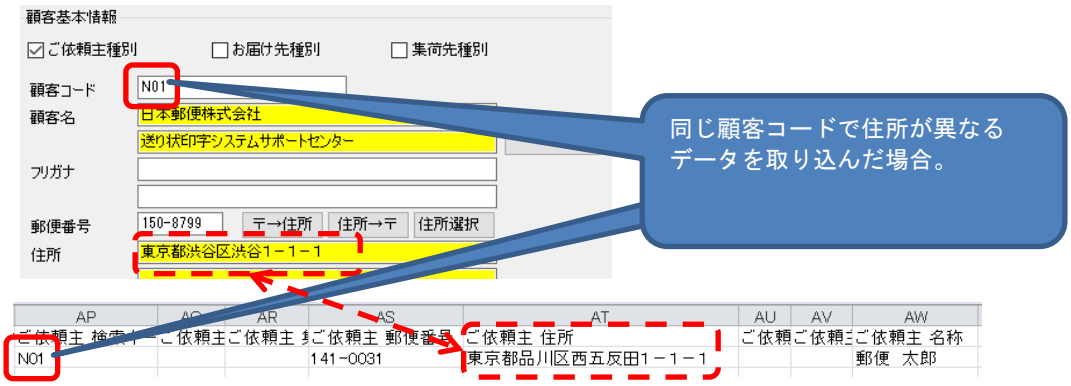
【ご依頼主マスタの情報】



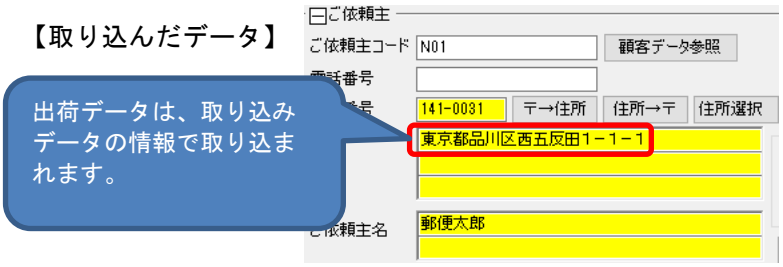
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

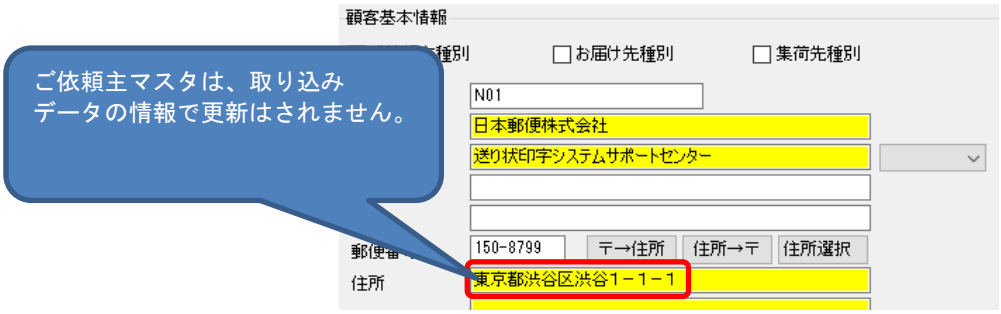
■ マスタ参照・更新設定が
②’既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。’の場合

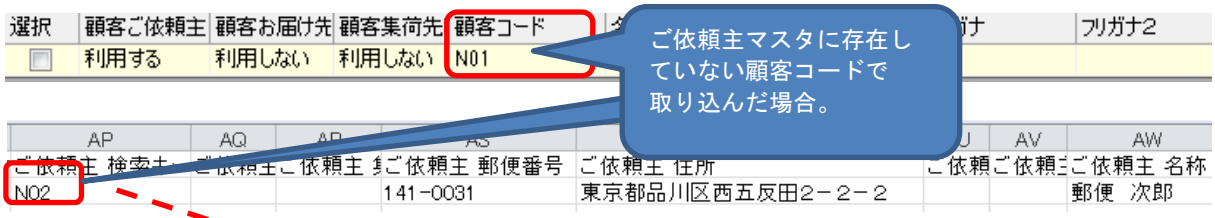


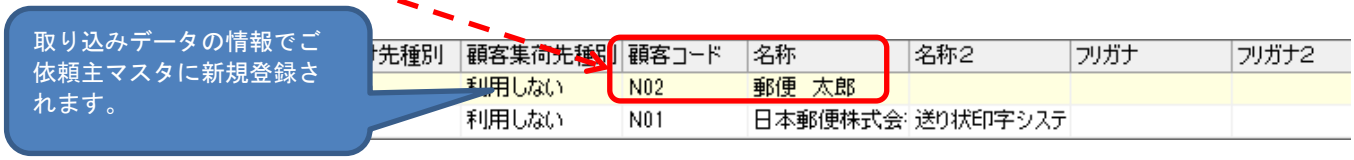
【取り込んだデータ】



【ご依頼主マスタの情報】



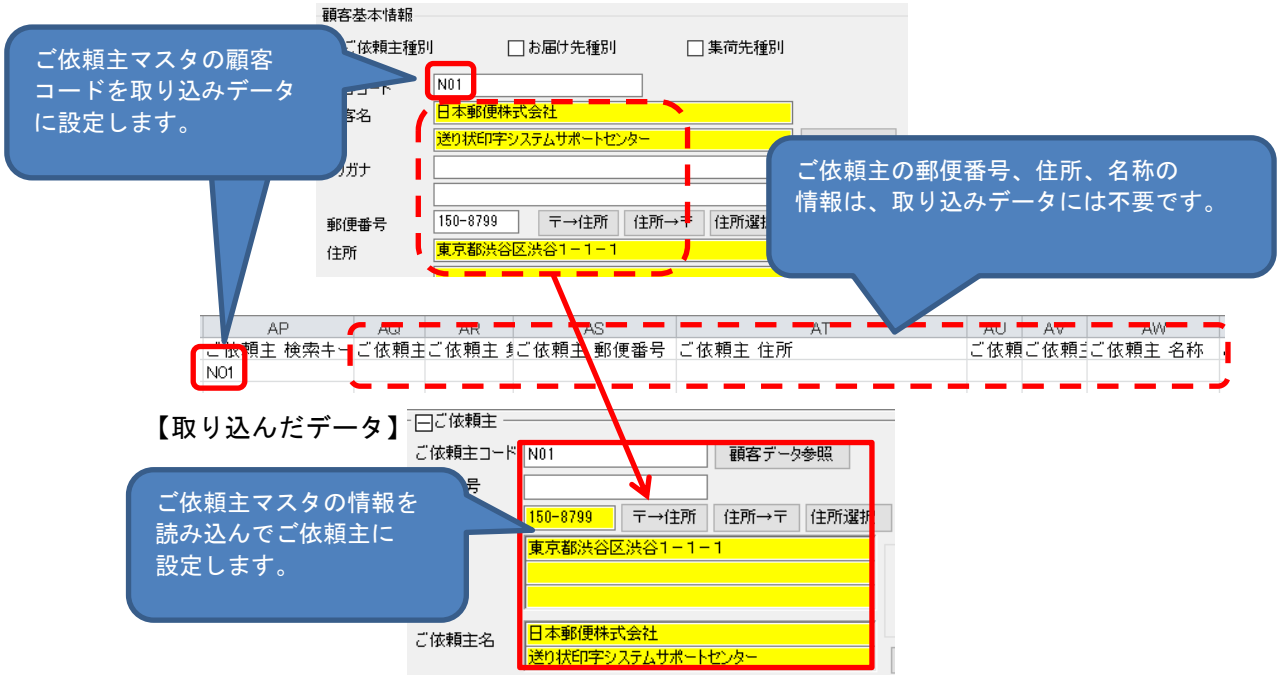




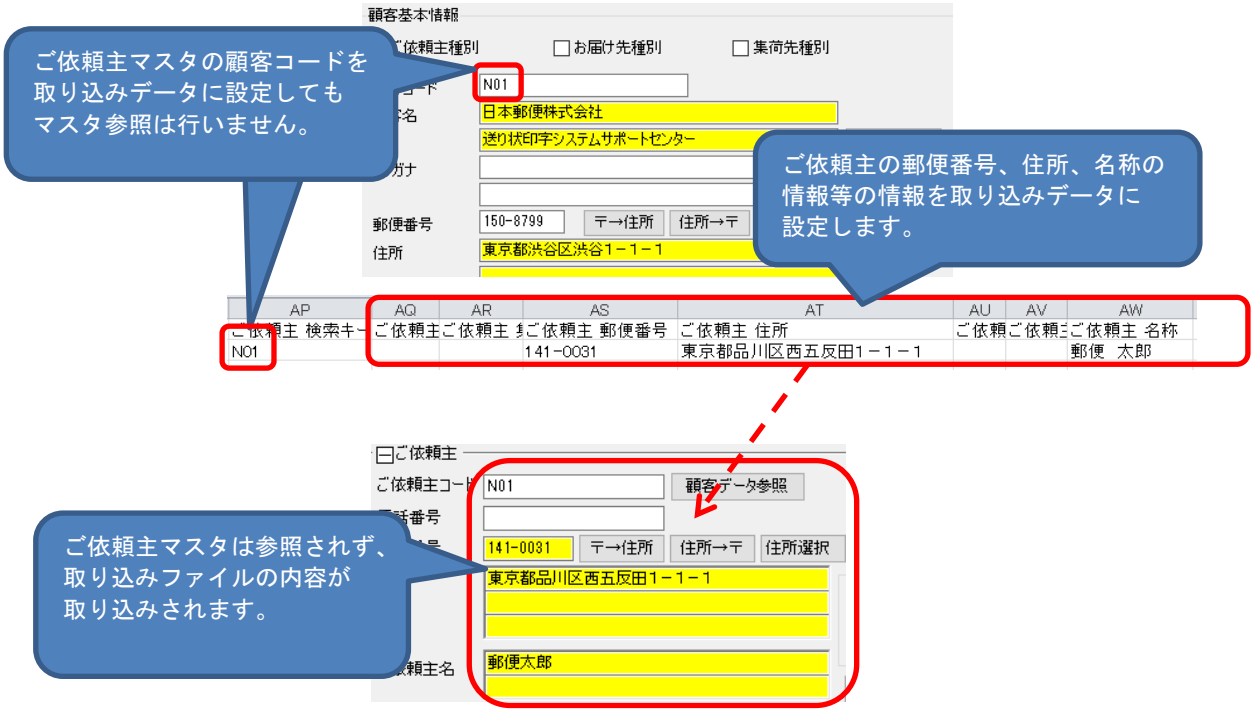
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

■ マスタ参照・更新設定が③’マスタ参照する’の場合
’マスタ参照する’の場合、ご依頼主マスタの情報を呼び出すのみで、マスタ情報の新規登録や更新は行いません。



■ マスタ参照・更新設定が④’取込データそのまま’の場合
’取込データそのまま’を設定した場合、マスタ参照機能は動作せず、取込ファイルのご依頼主情報を取り込みします。

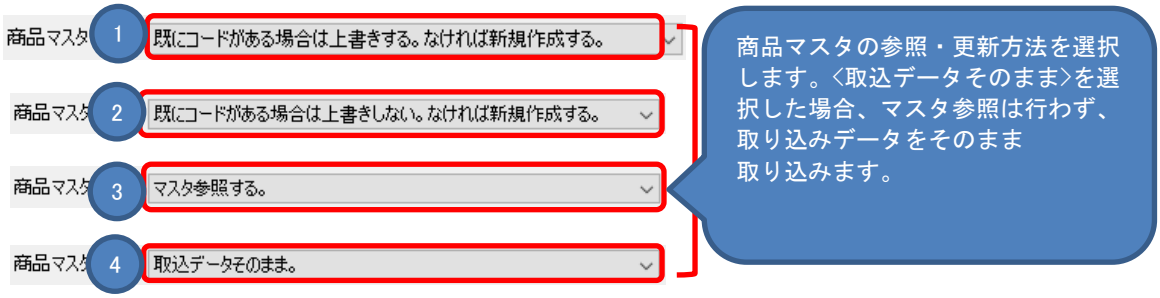


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

③ 商品マスタの参照・更新設定と項目の紐付

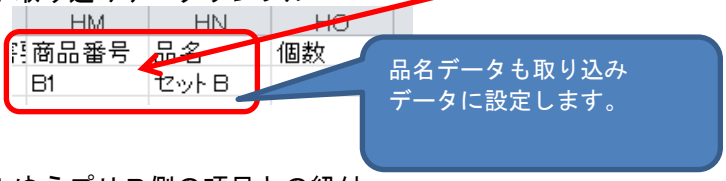
(a) マスタ参照・更新方法の選択



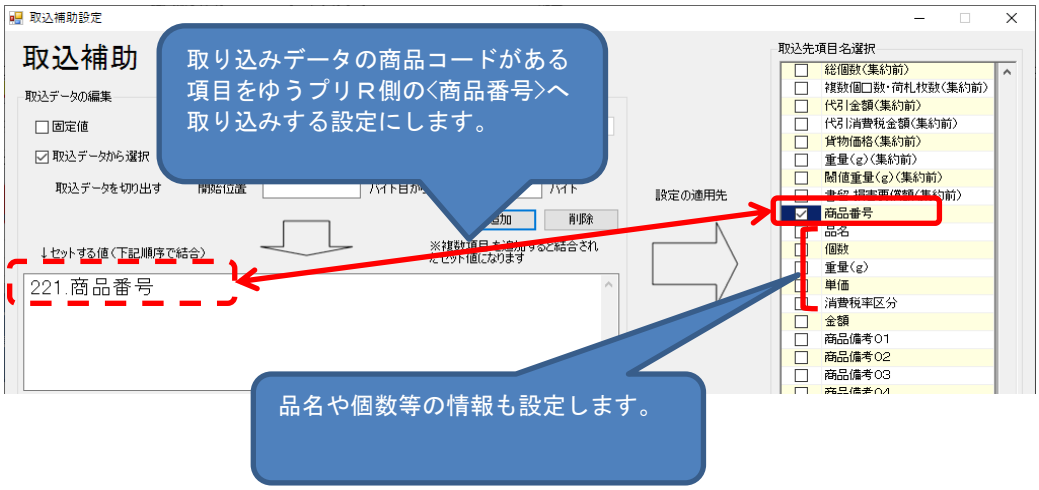
(b) 取り込みファイルの項目とゆうプリR側の項目との紐付例
【マスタ参照・更新設定①②の場合】

■ 商品マスタの情報

■ 取り込みデータサンプル



■ ゆうプリR側の項目との紐付

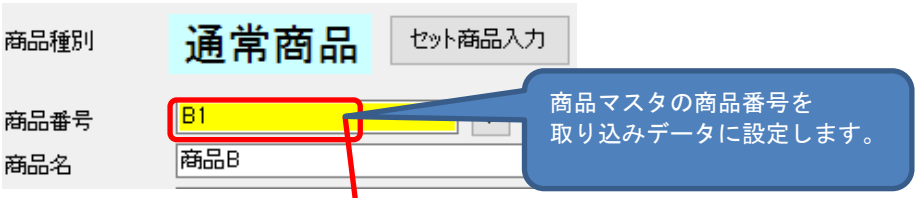


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

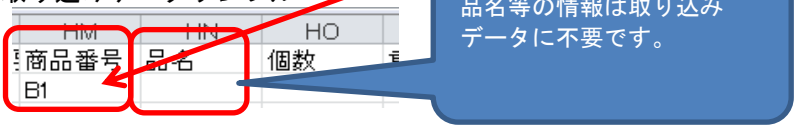
3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

【マスタ参照・更新設定③の場合】

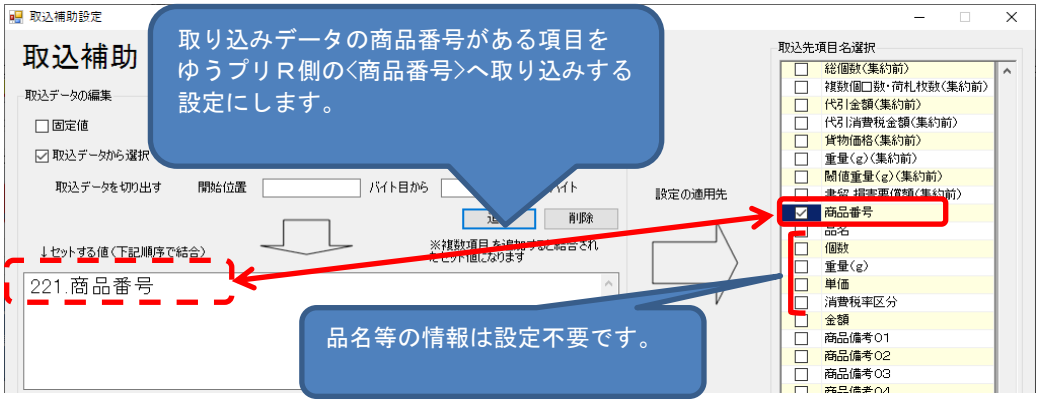
■ 商品マスタの情報



■ 取り込みデータサンプル

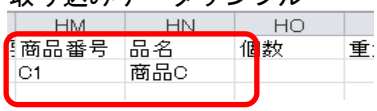


■ ゆうプリＲ側の項目との紐付

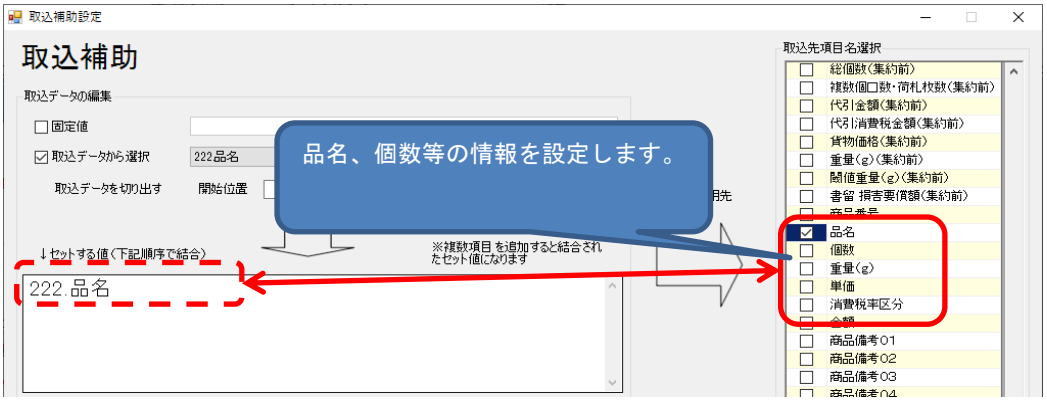


【マスタ参照・更新設定④の場合】

■ 取り込みデータサンプル



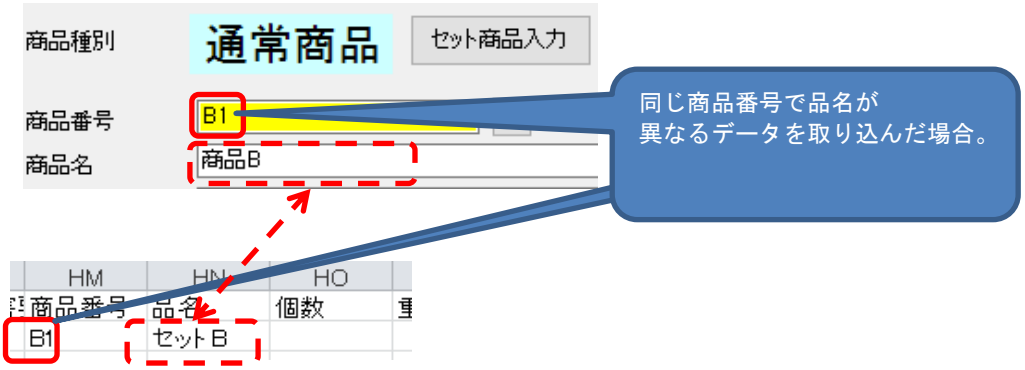
■ ゆうプリＲ側の項目との紐付



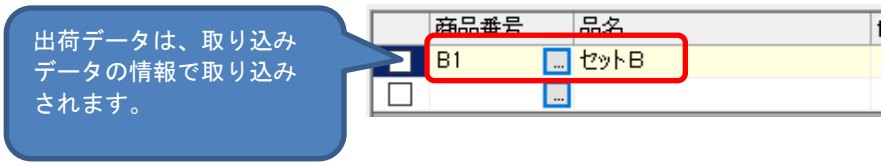
3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

（c）取り込み結果例

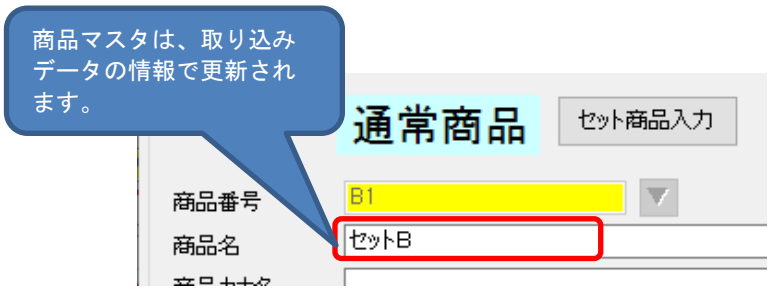
■ マスタ参照・更新設定が
①’既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。’の場合

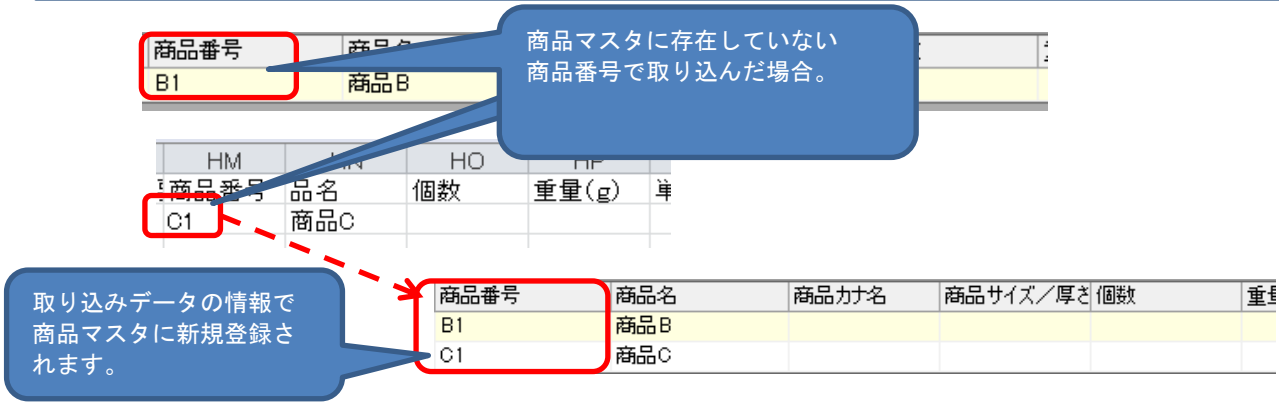


【取り込んだデータ】



【商品マスタの情報】

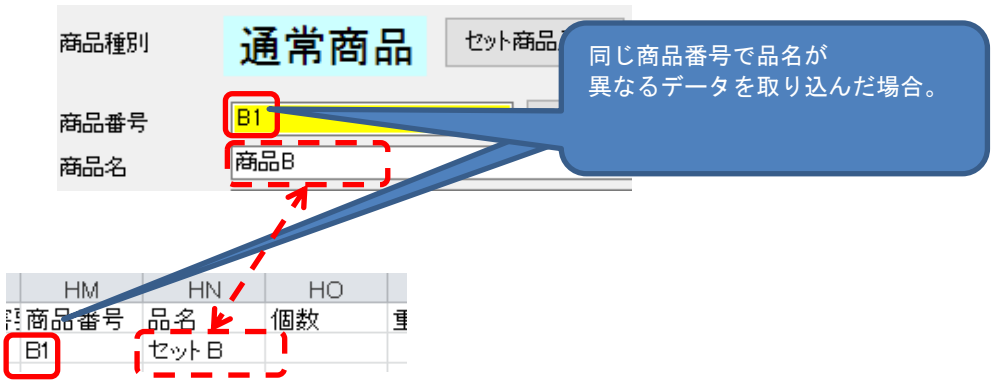




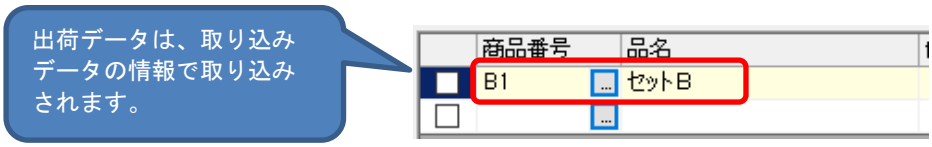
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

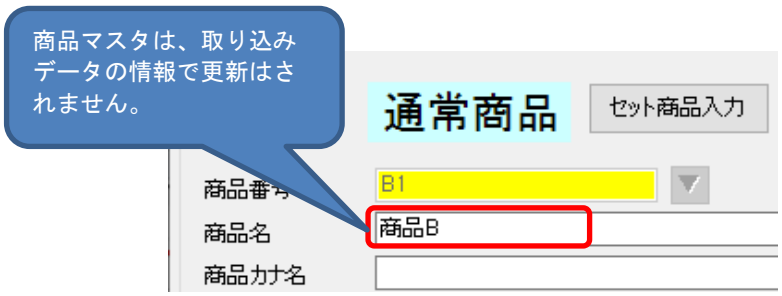
■ マスタ参照・更新設定が
②’既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。’の場合

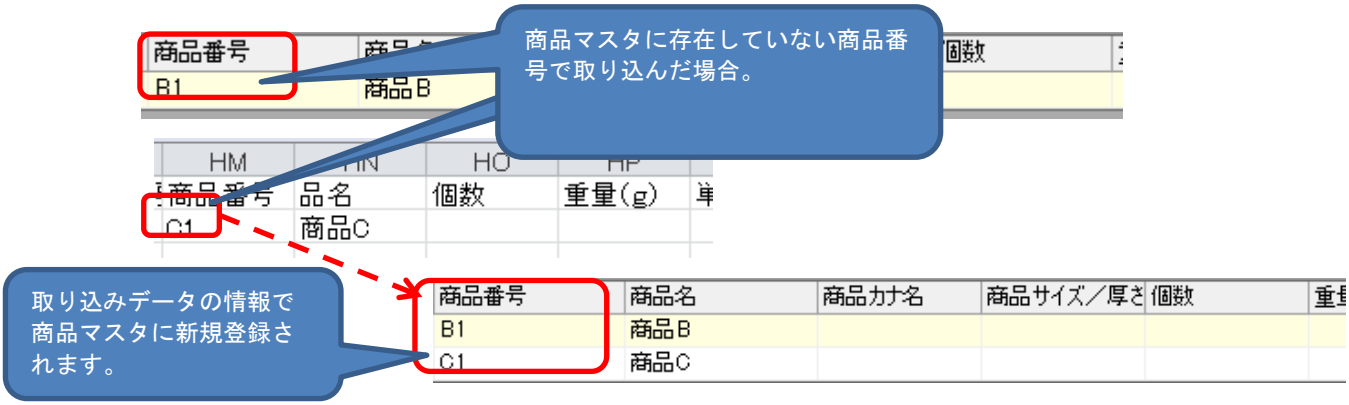


【取り込んだデータ】



【商品マスタの情報】

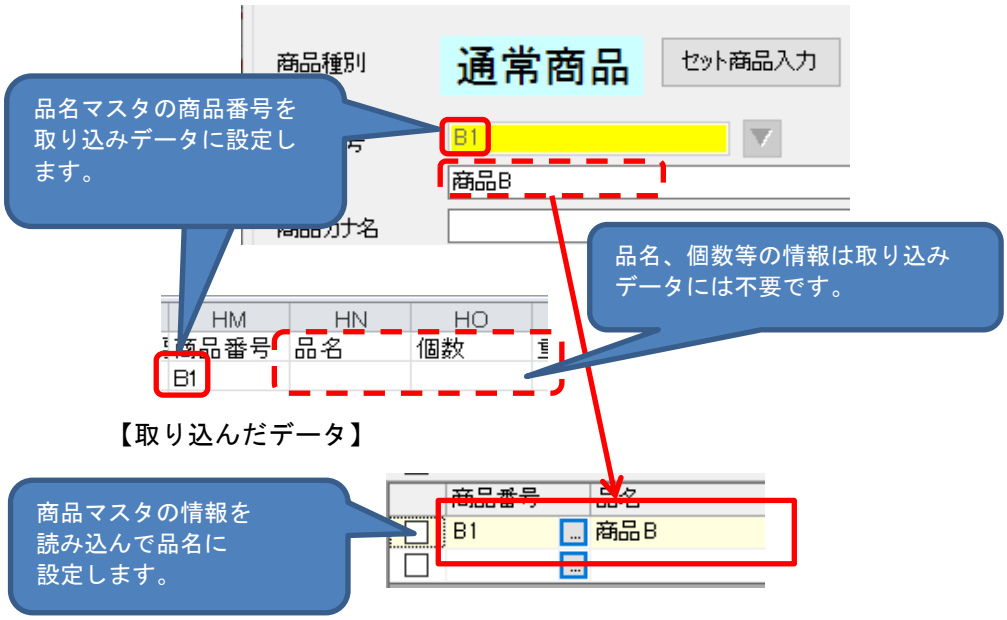




3 フィルタの作成方法（詳細編集）

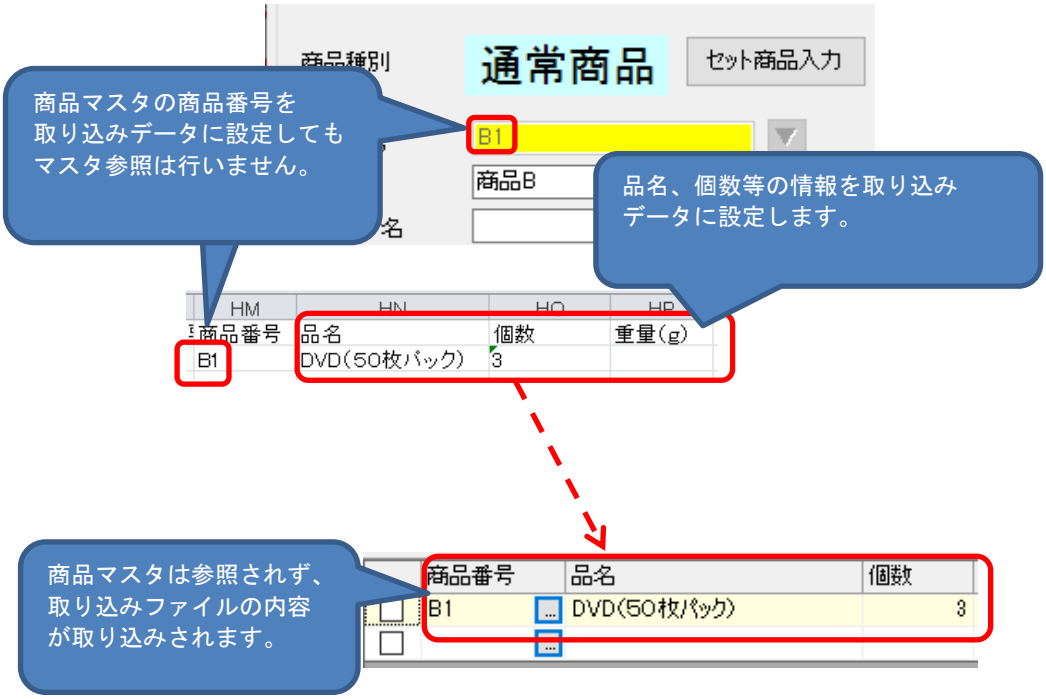
3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

■ マスタ参照・更新設定が③’マスタ参照する’の場合
’マスタ参照する’の場合、商品マスタの情報を呼び出すのみで、マスタ情報の新規登録や更新は行いません。



【取り込んだデータ】

■ マスタ参照・更新設定が④’取込データそのまま’の場合
’取込データそのまま’を設定した場合、マスタ参照機能は動作せず、取り込みファイルの品名情報を取り込みします。

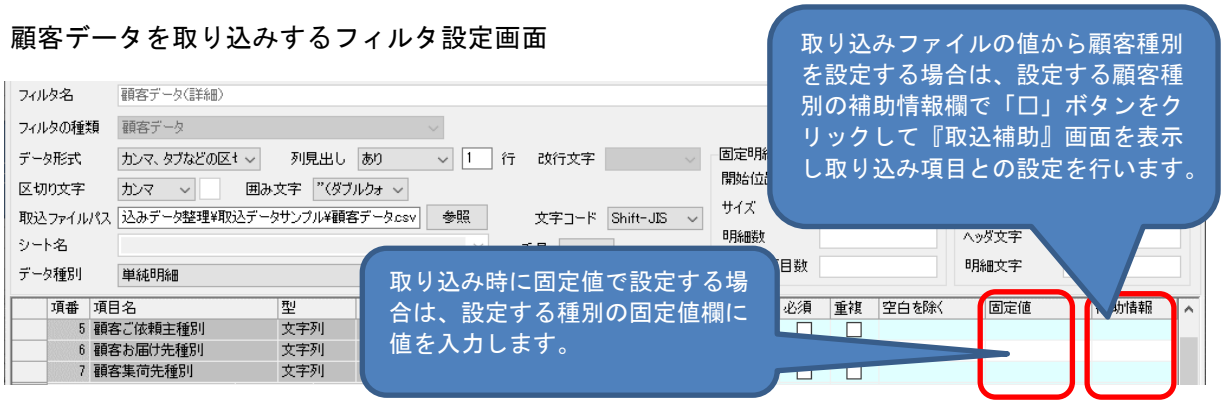


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-9 顧客データ取り込み時の顧客種別について

CSVファイルやExcelファイルから顧客データへ取り込みする場合、顧客の種別を決定する必要があります。
顧客種別を設定していなくてもデータ取り込みはエラーとならずに取り込みできますが、データ取り込み後、顧客データとして参照することができません。データ取り込み時に設定するか、取り込み後に１件毎設定する作業が必要です。

■ 顧客データを取り込みするフィルタ設定画面

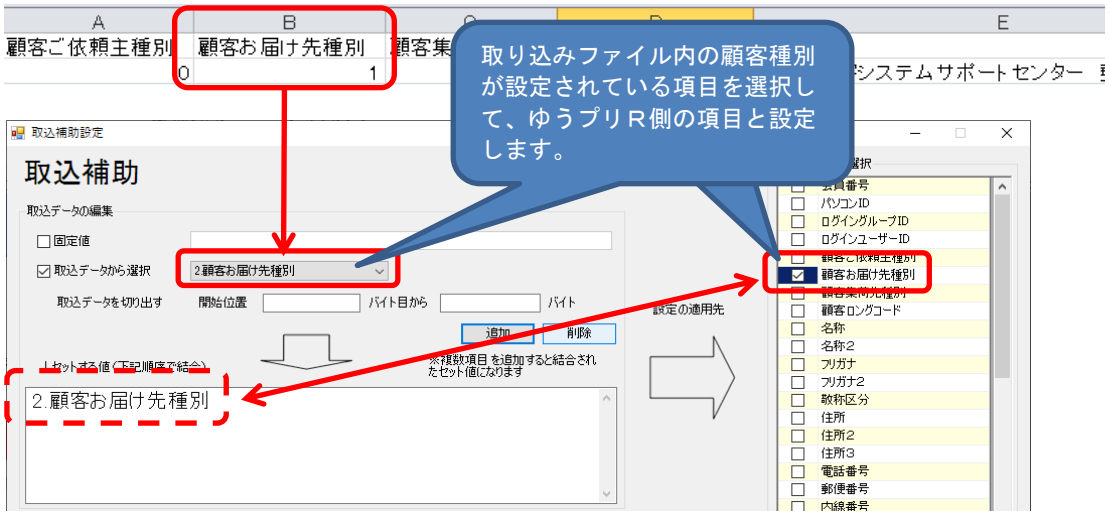


■ 顧客種別について

顧客ご依頼主種別	顧客データをご依頼主データとして使用する場合に設定します。
顧客お届け先種別	顧客データをお届け先データとして使用する場合に設定します。
顧客集荷先種別	顧客データを集荷先データとして使用する場合に設定します。

■ 取り込みファイルの項目との紐付例

【取り込みデータサンプル】



【取り込みデータに設定する値について】
取り込みデータから顧客種別を決定する場合は、取り込みする項目に以下の値を設定します。

顧客種別を設定する場合	取り込みする項目に’1’を設定します。
顧客種別を設定しない場合	取り込みする項目に’0’（ゼロ）を設定します。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-9 顧客データ取り込み時の顧客種別について

■ 固定値の設定について
フィルタ設定画面の固定値欄に顧客種別の設定を行う場合は、以下の値を設定します。

利用する　　取り込みする項目に’1’を設定します。
利用しない　　取り込みする項目に’0’（ゼロ）を設定します。
※ ３つの種別について、全て’利用する’に設定することも可能です。

■ 〈顧客お届け先種別〉を使用する設定で取り込みした場合の利用例

Point

① 取り込む顧客データが全てお届け先用となる場合は、〈顧客お届け先種別〉の固定値に’1’を入力します。
取り込む顧客データが全てご依頼主用となる場合は、〈顧客ご依頼主種別〉の固定値に’1’を入力します。

② 〈顧客集荷先種別]〉’利用する’として取り込んだ顧客データの使用方法については、別紙〔５．操作説明書　⑫集荷の申し込みをする〕を参照ください。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

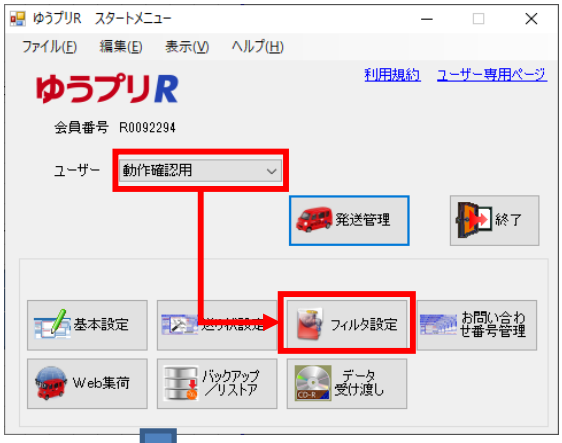
3-10 出力用のフィルタを登録する方法

ゆうプリＲで送り状を発行したデータや顧客データに登録した顧客情報をCSVファイルやExcelファイルで出力することができます。出力する場合は、予め出力用のフィルタを登録する必要があります。
本項では、詳細編集でのフィルタ設定方法をご案内します。

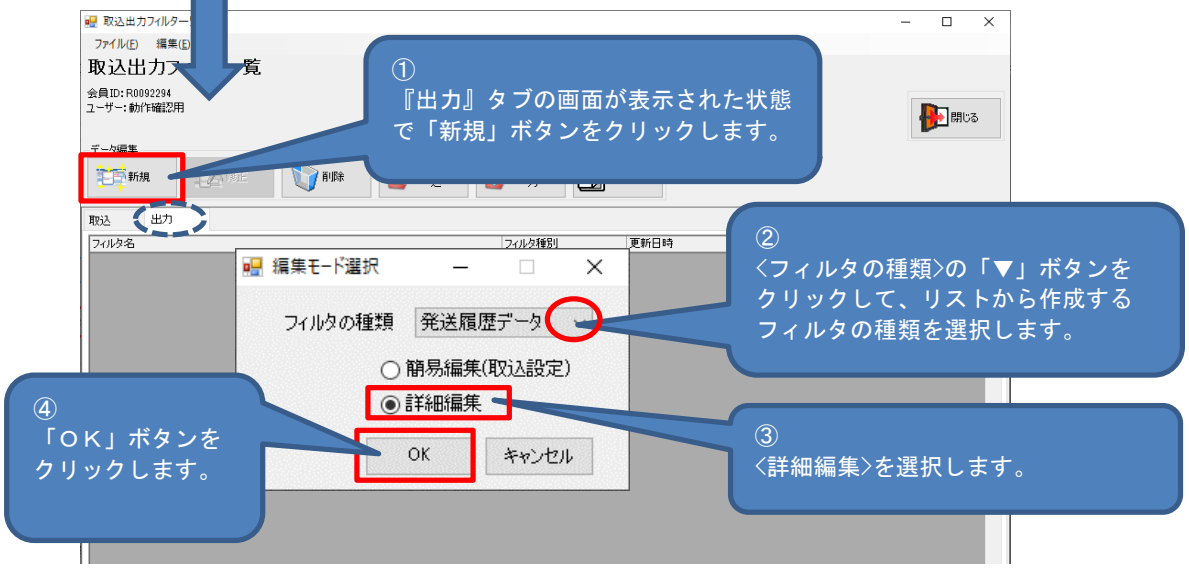
1．出力用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリＲスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを出力する場合を例に説明を行っております。



Point

■ フィルタの種類について
登録できるフィルタは、<発送データ>、<発送履歴データ>、<顧客データ>、<顧客商品データ>、<記事マスタ>です。
ご利用の用途を間違えないようご注意ください。

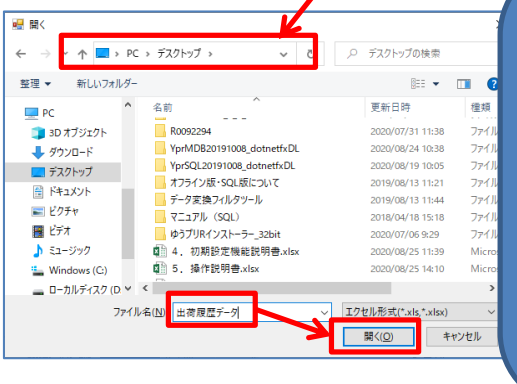
また、<発送データ>は送り状印刷前のデータを出力するフィルタです。
送り状印刷後のデータを出力する場合は、<発送履歴データ>を選択してください。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

(2) 出力するファイルに関する設定

『取込出力フィルタ詳細設定』画面が開きますので、出力するファイルに関する設定を行います。



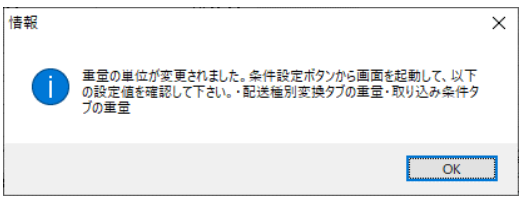
①フィルタ名を入力します。
②フォーマット種別を選択します。
③明細数分出力を選択します。
④列見出し、データ形式を設定します。
　CSVファイルの場合、区切り文字、囲み文字、
　〈数値項目にも囲み文字を使用する〉を選択します。
⑤固定長テキストの場合、改行文字、レコード長を
　選択します。
⑥文字コードを選択します。
⑦「参照」ボタンをクリックして、出力するファイルを
　指定します。
　※出力時に指定することも可能です。

■ 設定項目説明

取込フィルタ名 必須入力項目	フィルタに任意の名前を付けます。 入力形式　：　全角の場合、最大 50文字 　　半角の場合、最大 100文字　（全半角混在可能） 入力方法　：　直接入力 初期状態　：　未入力（表示なし） ※ フィルタ名は、後から変更することができません。 　登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。
フィルタの種類	編集モード選択画面で選択したフィルタの種類を表示します。 フィルタの種類は変更ができませんので、再度、編集モード選択画面から選択を行ってください。

Note

重量の単位を変更した場合、右記のメッセージが表示されますが、出力用のフィルタ設定では不要なものであるため確認の必要はありません。

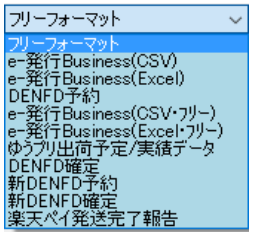


3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

フォーマット種別
必須選択項目



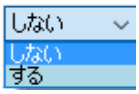
出力項目を自由に設定が行えるフリーフォーマットとe-発行Businessで
出力していたレイアウト、発送予約データの出力が行えます。
出力するデータに合わせてフォーマット種別を選択してください。

入力方法　：　「▼」ボタンをクリックしてフォーマットを選択します。

フリーフォーマット	自由に出力設定を行う時に選択します。
e-発行Business(CSV)	<e-発行Business>仕様のデータをCSV形式で 出力設定時に選択します。
e-発行Business(Excel)	<e-発行Business>仕様のデータをExcel形式で 出力設定時に選択します。
e-発行Business(CSV・フリー)	<e-発行Business>仕様のレイアウトに ゆうプリRのフリー項目を追加したデータを CSV形式で出力設定時に選択します。
e-発行 Business(Excel・フリー)	<e-発行Business>仕様のレイアウトに ゆうプリRのフリー項目を追加したデータを Excel形式で出力設定時に選択します。
DENFD予約	発送予約データの出力設定時に選択します。
DENFD確定	発送確定データの出力設定時に選択します。
ゆうプリ 出荷予定/実績データ	「ゆうプリ出荷予定/実績データ」仕様の データ出力設定時に選択します。
新DENFD予約	コンビニ情報を含む発送予約データの 出力設定時に選択します。
新DENFD確定	コンビニ情報を含む発送確定データの 出力設定時に選択します。
楽天ペイ発送完了報告	楽天ペイ対応RMS用の発送完了報告データの 出力設定時に選択します。

初期状態　：　新規の場合、フリーフォーマットとなります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

明細数分出力
必須選択項目



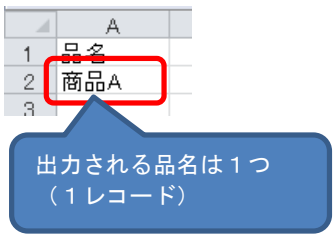
出力するデータの商品明細について出力方法を選択します。
入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして選択します。

する	全明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が３つ登録が ある場合、３レコード出力します。
しない	１明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が３つ登録が ある場合でも、１レコード出力します。

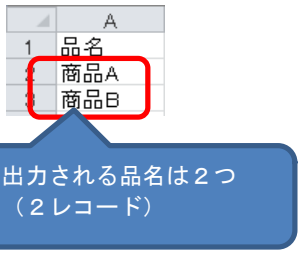
初期状態　：　新規の場合、「しない」となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

出力例

’しない’を選択した場合



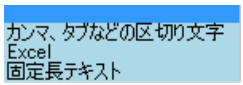
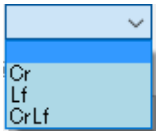
’する’を選択した場合



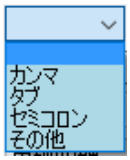
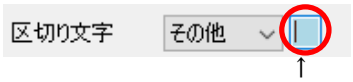
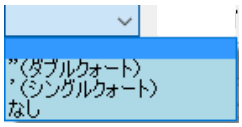
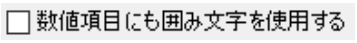
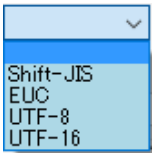
3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

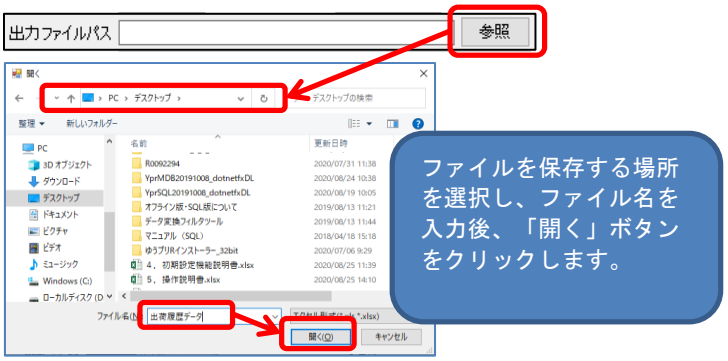
<table>
<tr><td>データ形式
必須選択項目
 
</td><td>出力するデータの形式を選択します。
入力方法　：　「▼」ボタンをクリックしてデータ形式を選択します。
<table><tr><td>カンマ、タブなどの区切り文字</td><td>CSV（カンマ区切り）やTAB区切りされたデータで出力する際に選択します。</td></tr><tr><td>Excel</td><td>Excelデータで出力する際に選択します。
Microsoft Excel 2003以降が必要です。
※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。</td></tr><tr><td>固定長テキスト</td><td>固定長テキストデータで出力する際に選択します。</td></tr></table>
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>列見出し
データ形式で<固定長テキスト>以外を選択した場合、必須選択項目</td><td>出力するデータの列見出しの’あり’、’なし’を選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして’あり’または’なし’を選択します。
※ ファイルの１行目にデータの見出しが出力されます。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>改行文字
データ形式で<固定長テキスト>を選択の場合、必須選択項目
 
</td><td>出力するデータの改行文字を選択します。
入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして改行文字を選択します。
<table><tr><td>Cr</td><td>Crでの改行の場合に選択します。</td></tr><tr><td>Lf</td><td>Lfでの改行の場合に選択します。</td></tr><tr><td>CrLf</td><td>CrLfでの改行の場合に選択します。</td></tr></table>※ 出力したデータを他システムへ連携する場合は、連携先の仕様をご確認ください。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
</table>

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

<table>
<tr><td>区切り文字
データ形式で<カンマ、タブなどの区切り文字>を選択の場合、必須選択項目
  </td><td>出力するデータの区切り文字を指定します。
入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。
<table><tr><td>カンマ</td><td>出力データをカンマで区切ります。</td></tr><tr><td>タブ</td><td>出力データをタブで区切ります。</td></tr><tr><td>セミコロン</td><td>出力データをセミコロンで区切ります。</td></tr><tr><td>その他</td><td>出力データを指定した区切り文字で区切ります。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>区切り文字（値）
<区切り文字>で<その他>を選択の場合、入力必須項目</td><td>出力するデータの区切り文字を指定します。
入力形式　：　半角英数字　1桁
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。
 
この部分にデータの
区切り文字を入力します。</td></tr>
<tr><td>囲み文字
データ形式で<カンマ、タブなどの区切り文字>を選択の場合、必須選択項目
  </td><td>出力するデータの囲み文字を選択します。
入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。
<table><tr><td>ダブルクォート</td><td><”　>で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>シングルクォート</td><td><’　>で囲む場合に選択します。</td></tr><tr><td>なし</td><td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>数値項目にも囲み文字を使用する</td><td>出力データの数値項目にも囲み文字を付けるか選択します。
入力方法　：　チェックボックにチェックします。
<table><tr><td>チェックあり</td><td>数値項目にも囲み文字を付けます。</td></tr><tr><td>チェックなし</td><td>数値項目に囲み文字を付けません。</td></tr></table> 
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>文字コード
  </td><td>出力するデータの文字コードを選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして文字コードを選択します。
<table><tr><td>Shift-JIS</td><td>Shift-JISを指定する場合に選択します。</td></tr><tr><td>EUC</td><td>EUCを指定する場合に選択します。</td></tr><tr><td>UTF-8</td><td>UTF-8を指定する場合に選択します。</td></tr><tr><td>UTF-16</td><td>UTF-16を指定する場合に選択します。</td></tr></table>初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
</table>

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

<table>
<tr><td>重量</td><td>出力するデータの重量を選択します。
※ゆうプリＲの項目は、「重量合計（ｇ）」を使用します。
入力方法　：「▼」ボタンをクリックして重量の単位を選択します。
<table><tr><td>g</td><td>重量の単位がgの場合に選択します。</td></tr><tr><td>kg</td><td>重量の単位がkgの場合に選択します。</td></tr></table>
初期状態　：新規の場合、g となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>レコード長
データ形式で<固定長テキスト>を選択の場合、必須入力項目</td><td>出力するデータのレコード長を入力します。
入力形式　：　半角数字　最大 4桁
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>出力ファイルパス</td><td>ファイル出力時に初期表示させるファイルの保存場所を指定します。
※ 出力する際にも都度変更は可能です。
入力形式　：　「参照」ボタンをクリックして選択します。
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。
 
</td></tr>
<tr><td>シート名
データ形式で<Excel>を選択した場合、必須選択項目</td><td>出力ファイルのデータを出力するシート名を入力します。
入力形式　：　全半角混在可能
入力方法　：　直接入力
初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。
修正の場合、登録されている内容を表示します。

※ データを出力したシート以外のシートはファイルから削除されますのでご注意ください。例えば、ファイルに<Sheet1>～<Sheet3>まであり、<Sheet1>に出力した場合、<Sheet2>と<Sheet3>は削除されます。
シートを指定しない場合、<Sheet3>に出力し、これ以外のシートは削除されます。
ファイルに<Sheet3>が無い場合は出力時に作成します。</td></tr>
<tr><td>データ種別</td><td><単純明細>固定です。</td></tr>
</table>

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

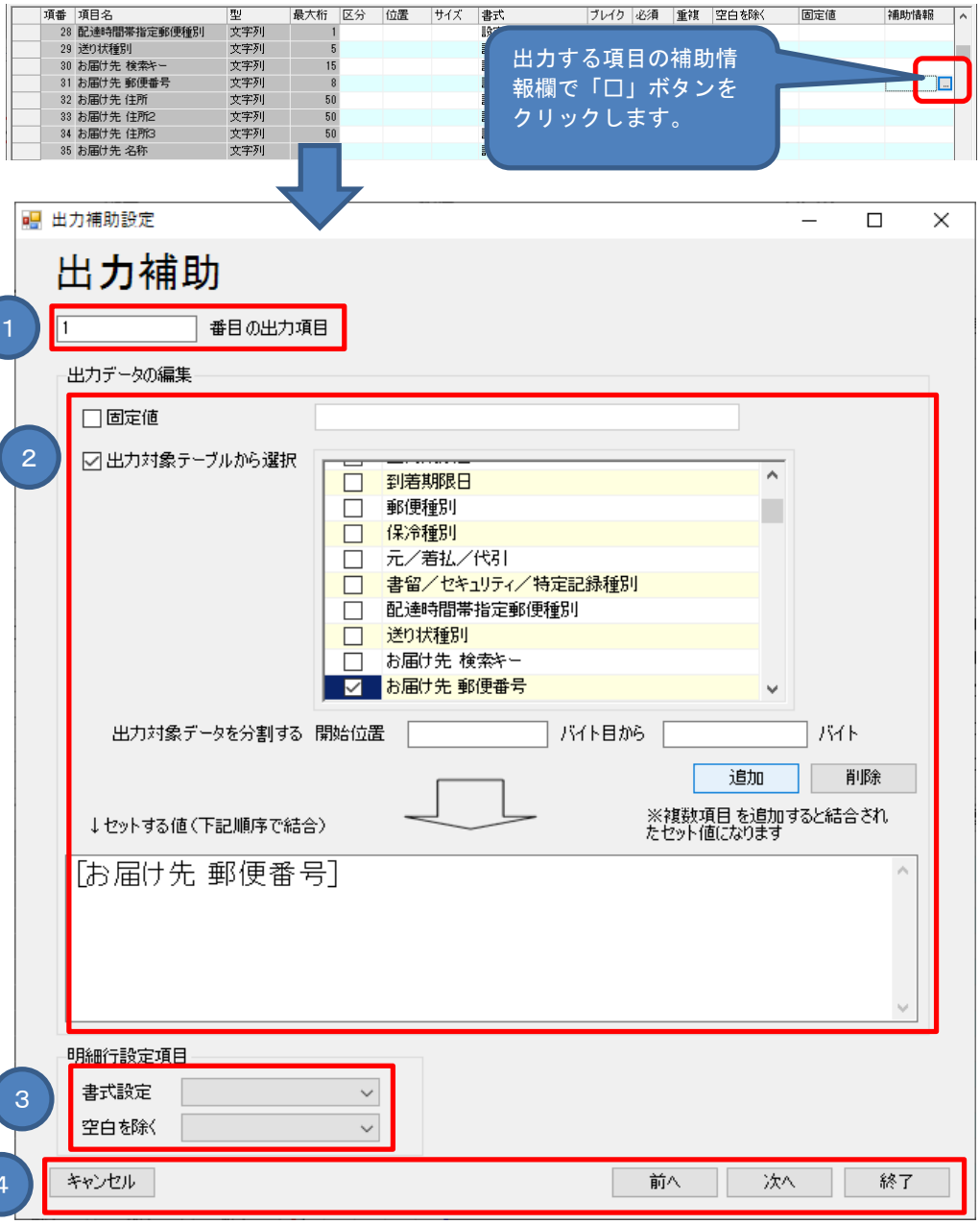
3-10 出力用のフィルタを登録する方法

(3) ゆうプリＲの項目と出力順序の紐付

ゆうプリＲの項目に対してどの順番でファイルに出力するか設定を行います。
出力の順番は、ファイルの左から順番に出力され、途中の出力順を飛ばすことはできません。
例えば、出力順として１番目、２番目、４番目という設定はできません。

① 出力ファイルの項目を紐付します。
下記の①②の何れかの方法で出力する項目を紐付します。

紐付方法①　出力する項目を『出力補助』画面を使用して詳細な設定を行います。

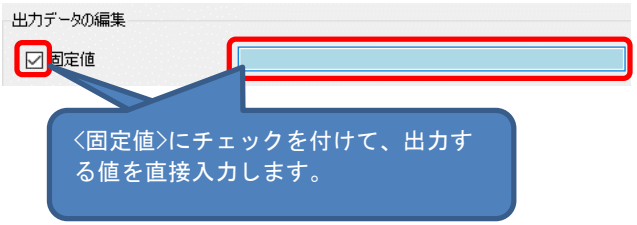


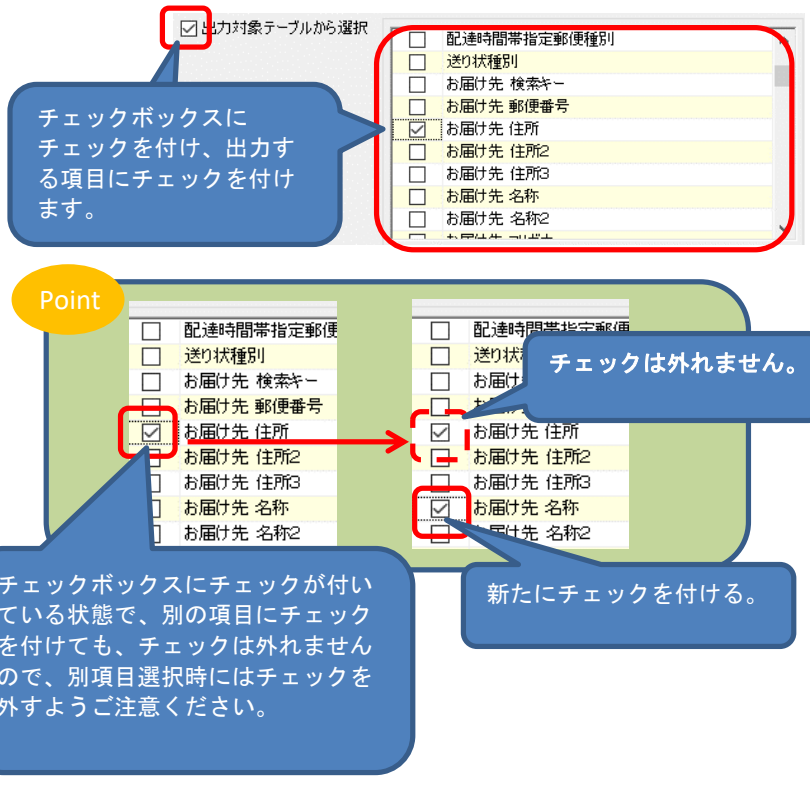
3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

①	番目の出力項目	ファイルに出力する位置を選択します。 入力形式　：　半角数字 入力方法　：　直接入力 初期状態　：　新規の場合、「1」となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
②	固定値	出力項目に<固定値>を出力する場合はチェックボックスにチェックし、値を入力します。固定値で出力した場合、見出し項目はありません。 入力形式　：　全半角混在可能 入力方法　：　直接入力(入力文字数は全項目共通で全角25文字、半角50文字までです。なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。) 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	出力対象テーブルから選択	<出力対象テーブルから選択>にチェックし、出力する項目をリストより選択します。 入力方法　：　チェックボックスによる選択 チェックなし：出力の対象としない。 チェックあり：出力の対象とする。 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

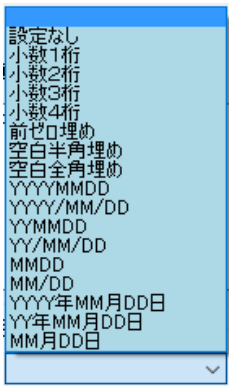




3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

②	出力対象データを分割する	出力項目から切り出す文字列の開始位置と文字数を指定します。 入力形式　：　半角数字 入力方法　：　直接入力 例) 出力データ　〈東京都港区虎ノ門〉のうち、〈港区虎ノ門〉の 全角5文字を切り出して出力する。 開始位置　[7]バイト目から　[10]バイト ※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。 なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。 初期状態　：　新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	追加・削除ボタン	「追加」ボタンで出力設定を〈セットする値〉欄に設定します。 「削除」ボタンでセットした設定を削除します。
	セットする値	出力設定を表示します。
③	書式設定	出力データに関する書式や空白処理等を設定します。 入力方法　：　「▼」ボタンをクリックして選択します。



設定なし	特に設定がない場合に選択します。
小数１桁	出力時、小数部１桁までの数値データとする場合に選択します。 例 10000⇒10000.0
小数２桁	出力時、小数部２桁までの数値データとする場合に選択します。 例 10000⇒10000.00
小数３桁	出力時、小数部３桁までの数値データとする場合に選択します。 例 10000⇒10000.000
小数４桁	現状、ご利用できません。
前ゼロ埋め	指定したサイズになるまで前0を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効
空白半角埋め	指定したサイズになるまで後ろに半角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効
空白全角埋め	指定したサイズになるまで後ろに全角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効
YYYYMMDD	値がYYYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。
YYYY/MM/DD	値がYYYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。
YYMMDD	値がYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。
YY/MM/DD	値がYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。
MMDD	値がMMDD形式の日付データの場合に選択します。
MM/DD	値がMM/DD形式の日付データの場合に選択します。
YYYY年MM月DD日	値がYYYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。
YY年MM月DD日	値がYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。
MM月DD日	値がMM月DD日形式の日付データの場合に選択します。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

③ 書式設定

コード名称出力	ゆうプリＲのコード値をコード名称に変換して出力する場合に選択します。

以下の項目については、ゆうプリＲのコード値ではなく、
コード値の名称で出力することができます。

① 商品サイズ／厚さ区分
　書式設定　：設定なし
　　出力データ例　〈060〉、〈140〉等
　　：コード名称出力
　　出力データ例　〈60サイズ〉、〈140サイズ〉等

② 配達時間帯区分
　書式設定　：設定なし
　　出力データ例　〈51〉、〈55〉等
　　：コード名称出力
　　出力データ例　〈午前中〉、〈18～20時〉等

③ 配達ステータス明細コード
　書式設定　：設定なし
　　出力データ例　〈0A〉、〈01〉等
　　：コード名称出力
　　出力データ例　〈引受予定〉、〈配達完了〉等

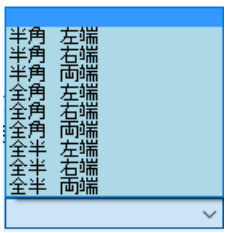
コード値（e-発行）	ゆうプリＲのコード値をe-発行で取り扱っていたコード値で出力する場合に選択します。

以下の項目については、ゆうプリＲのコード値ではなく、
e-発行のコード値で出力することができます。

　配達時間帯区分
　書式設定　：コード値（e-発行）
　　出力データ例　〈60〉、〈65〉等

初期状態　：新規の場合、選択されていない状態になります。
　　修正の場合、登録されている内容を表示します。

空白を除く



出力項目の空白の除去方法をプルダウンより選択します。
入力形式　：　「▼」ボタンをクリックして選択します。

半角　左端	項目左端の空白（半角）部分を除きます。
半角　右端	項目右端の空白（半角）部分を除きます。
半角　両端	項目両端の空白（半角）部分を除きます。
全角　左端	項目左端の空白（全角）部分を除きます。
全角　右端	項目右端の空白（全角）部分を除きます。
全角　両端	項目両端の空白（全角）部分を除きます。
全半　左端	項目左端の空白（全角・半角）部分を除きます。
全半　右端	項目右端の空白（全角・半角）部分を除きます。
全半　両端	項目両端の空白（全角・半角）部分を除きます。

例　全角両端を選択して結合出力した場合
　〈□□名前１□□〉＋〈□□名前２□□〉⇒〈名前１□□□□名前２〉
初期状態　：　新規の場合、選択されていない状態になります。
　　修正の場合、登録されている内容を表示します。

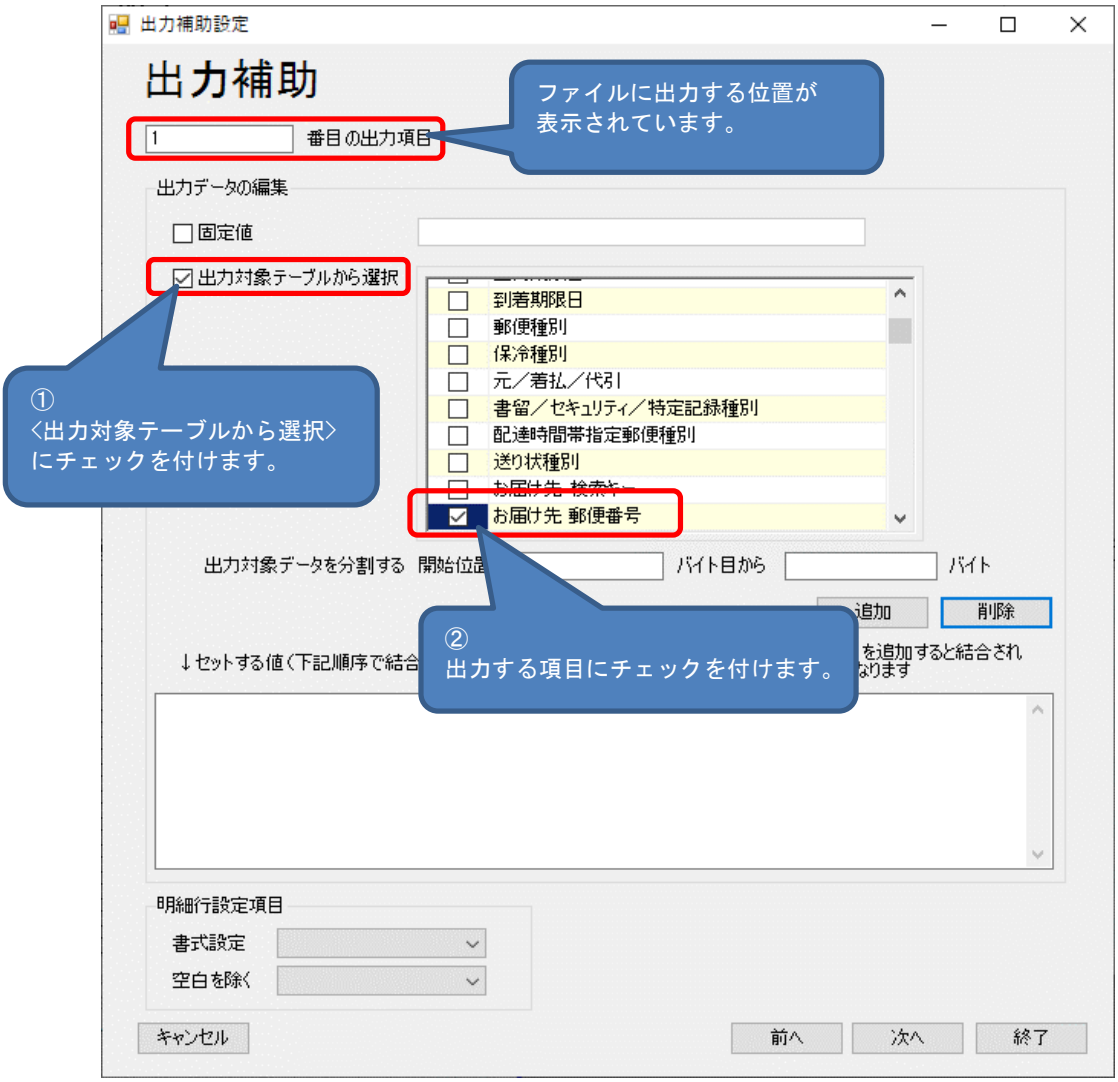
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

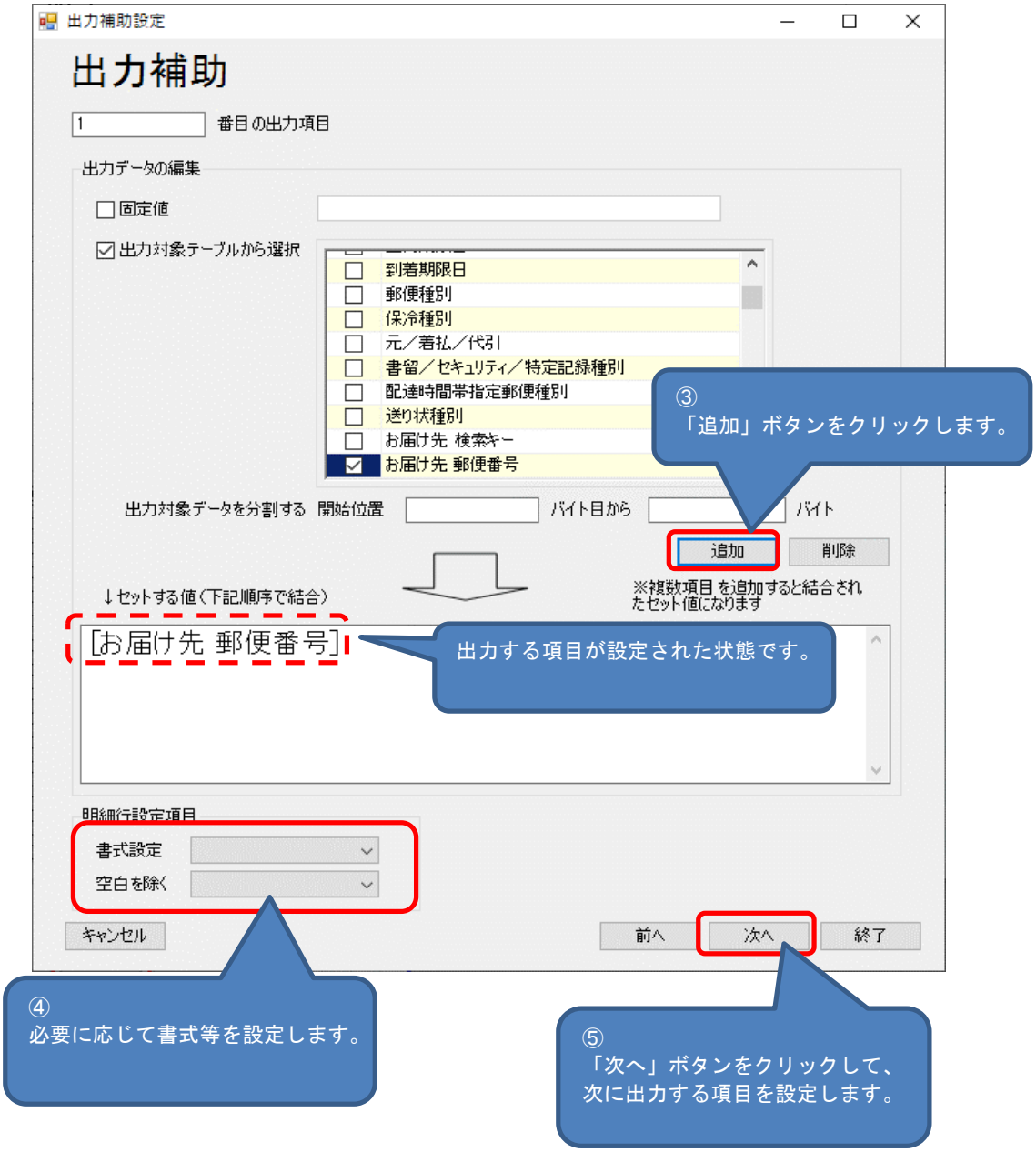
④	「前へ」ボタン	現在の出力編集の設定内容が一時保存されて、一つ前の出力項目へ移動します。
	「次へ」ボタン	現在の出力編集の設定内容が一時保存されて、一つ後の出力項目へ移動します。
	「終了」ボタン	設定を一時保存して『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。
	「キャンセル」ボタン	設定を一時保存しないで『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。 ※ 一度、「次へ」ボタンで出力項目を進めた場合、それまでの設定は一時保存されますので『出力補助』画面で設定を削除してください。

■ 出力補助画面での設定方法（通常設定）



3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

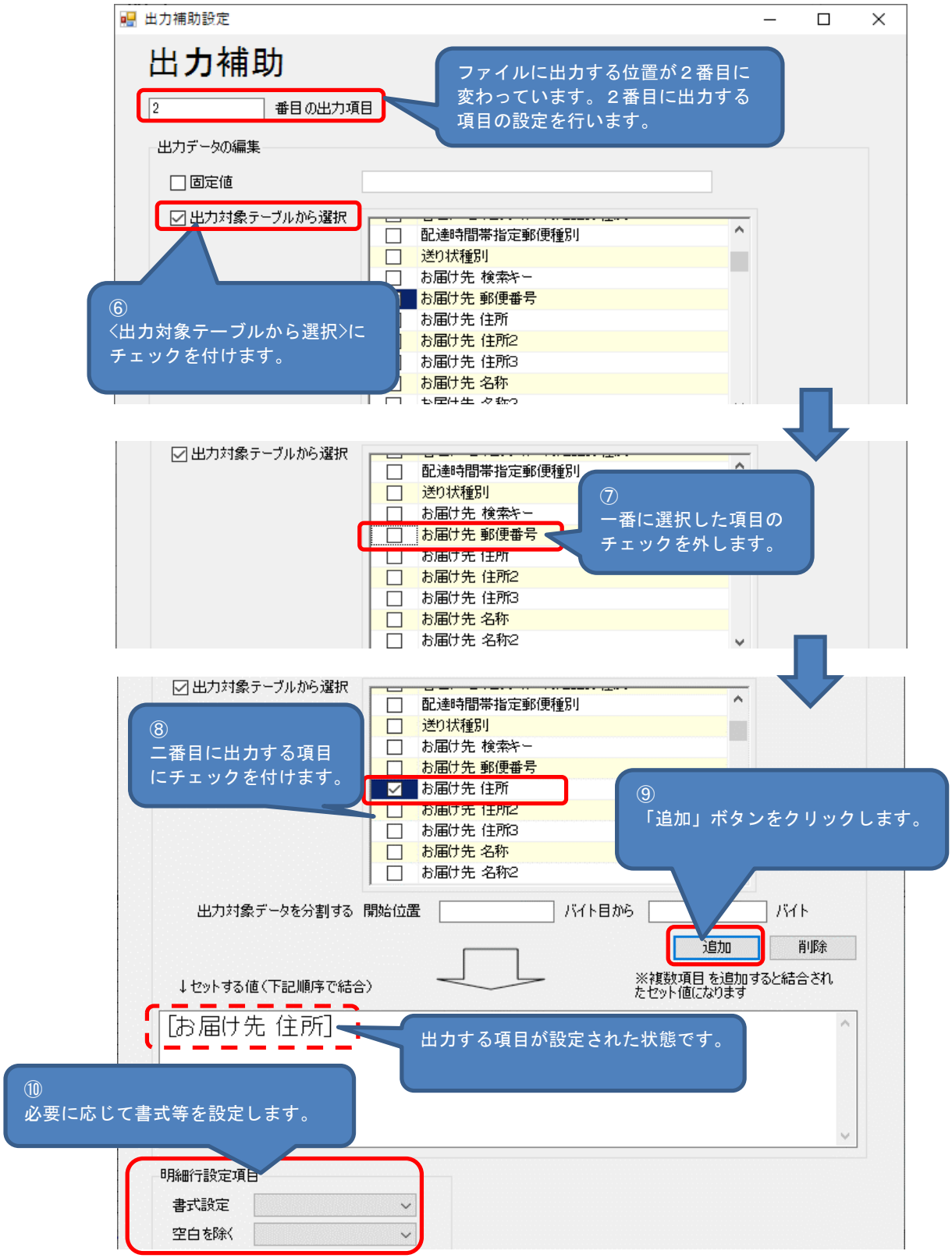


Note

〈番目の出力項目〉は、初期値は’ 1’となります。
１番目に出力する項目を設定後、「次へ」ボタンをクリックして次の設定を行いますが、この際、〈番目の出力項目〉は、直接入力して出力位置を指定することは可能です。
出力番号をとばして設定しても空白列は作られません。
例 １番目に出力する設定を行い、〈番目の出力項目〉に’ 3’と入力して出力項目を設定しましても、２列目に出力されます。

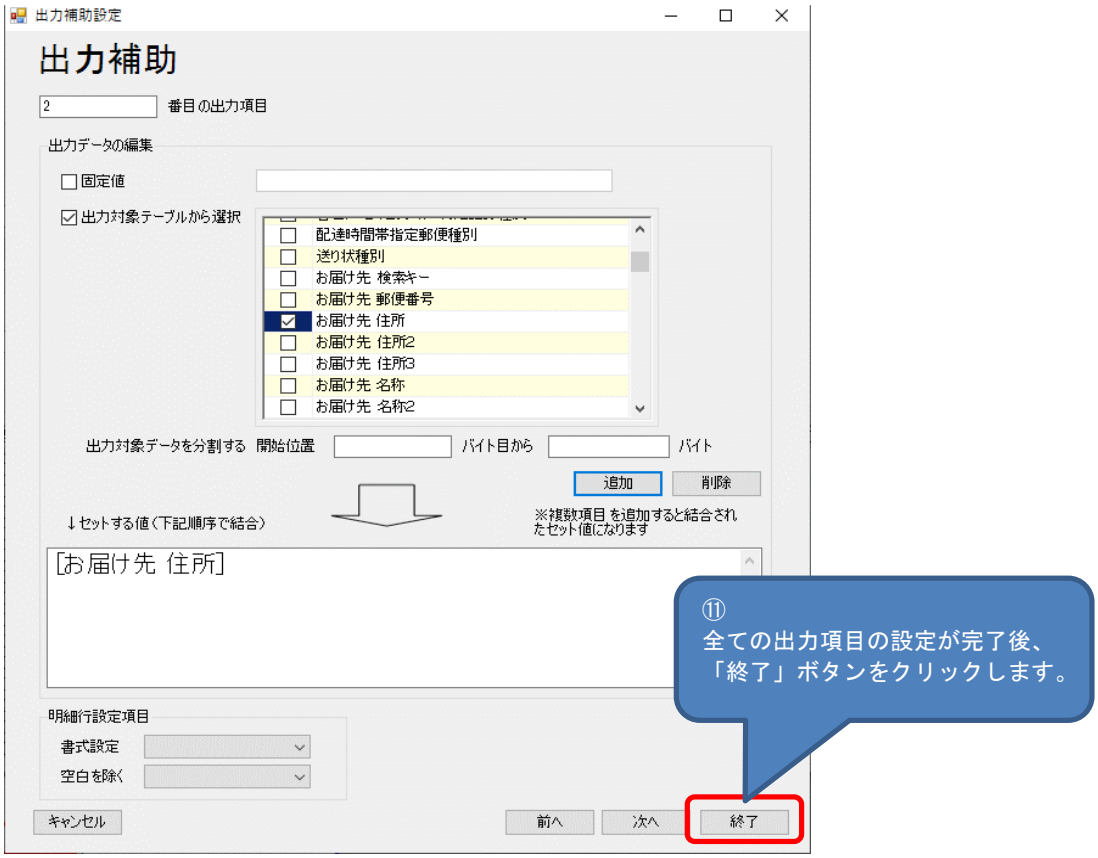
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法



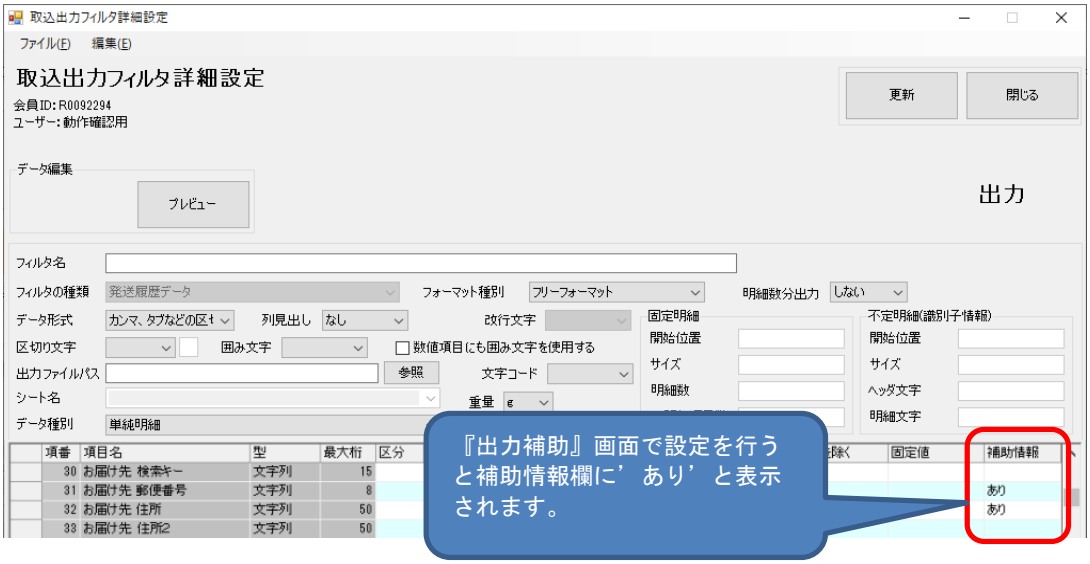
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法



Note

続けて出力項目の設定を行う場合は、「次へ」ボタンをクリックして⑥～⑩の手順を繰り返し行います。

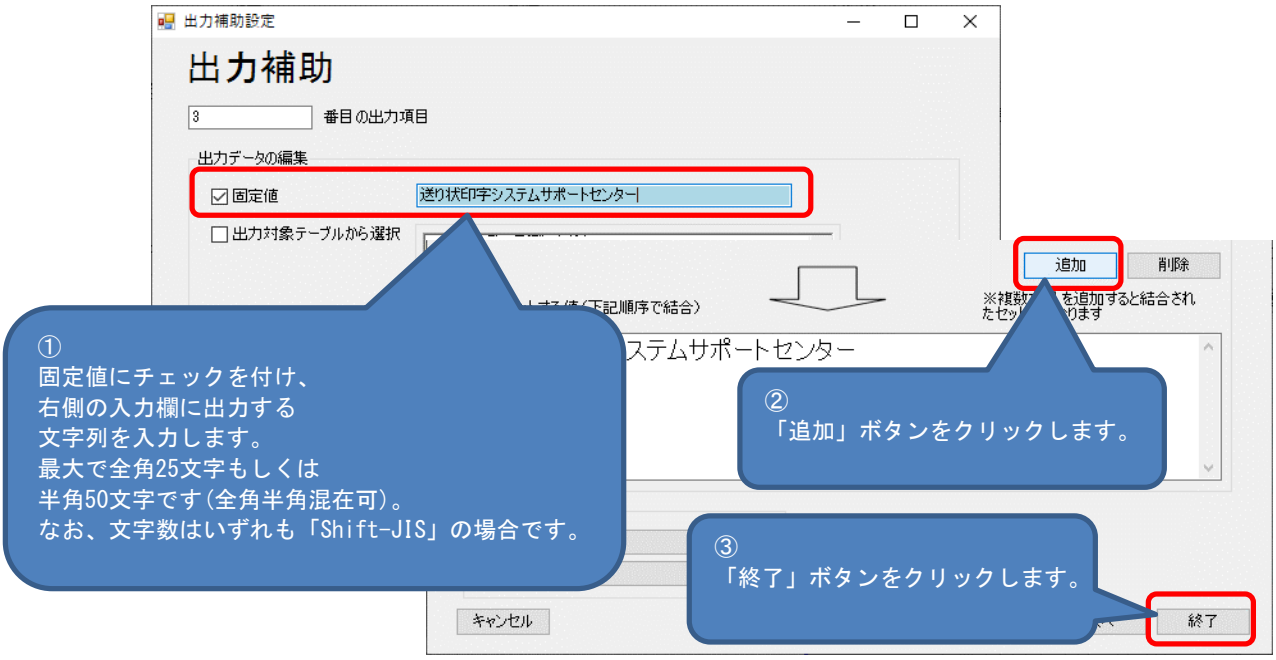


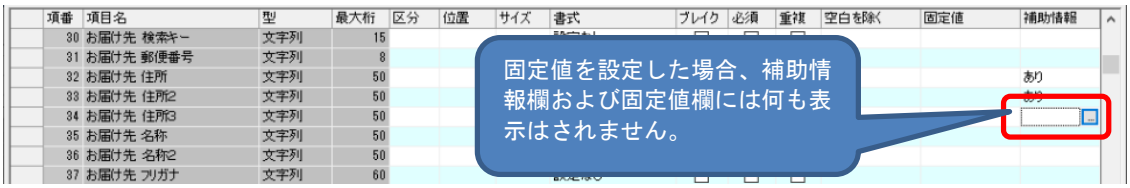
3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

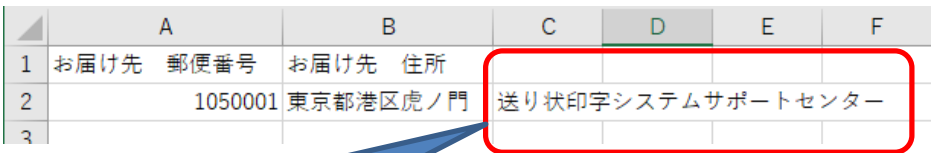
■ 出力補助画面での設定方法（固定値設定）

出力ファイルに固定値でデータを出力する場合は、以下の設定を行います。





【出力データサンプル】



	A	B	C	D	E	F
1	お届け先　郵便番号	お届け先　住所				
2	1050001	東京都港区虎ノ門	送り状印字システムサポートセンター			
3						

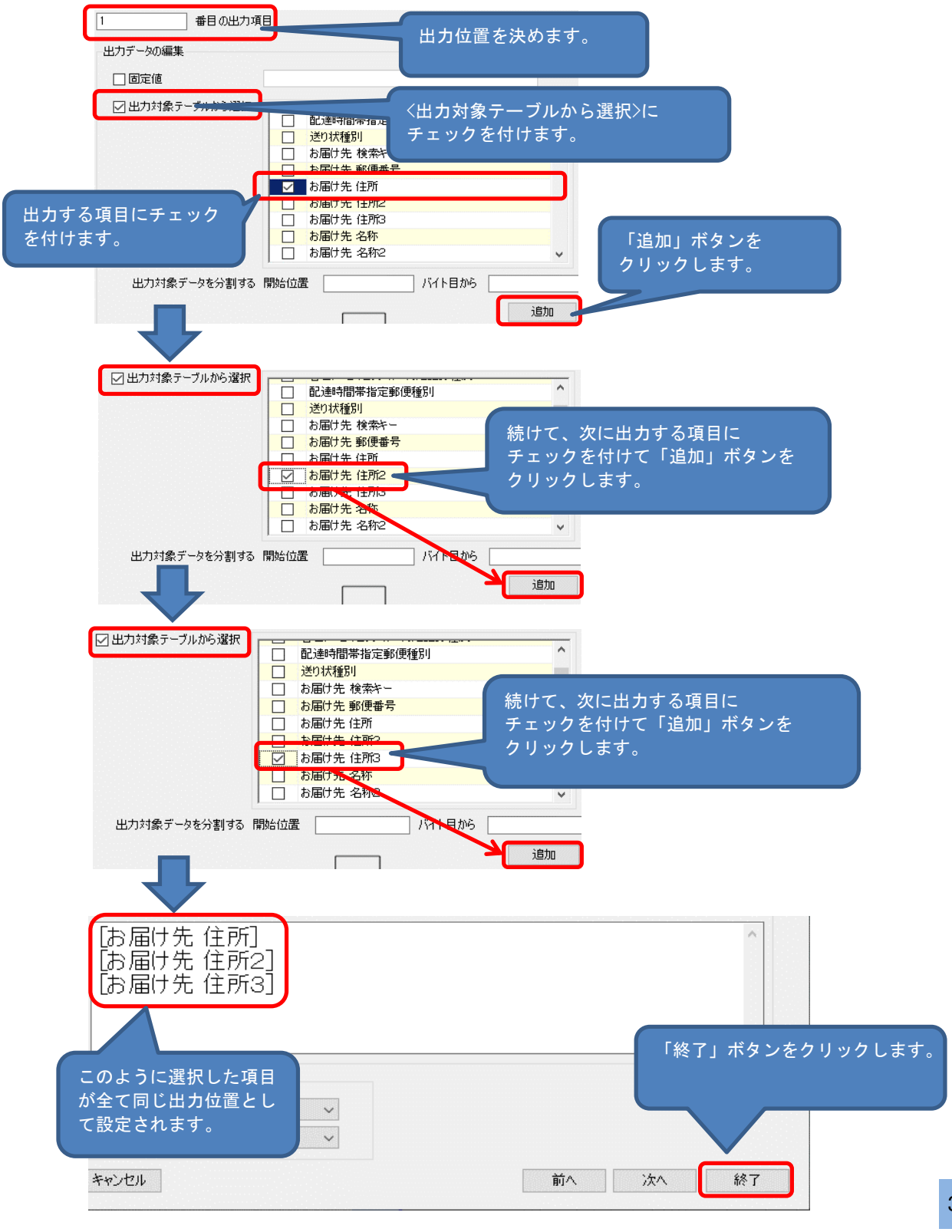
出力設定したカラム位置に固定値で
入力した情報が出力されます。
ただし、列見出しは出力されませんので、
必要に応じて見出し項目名を直接入力し
てください。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

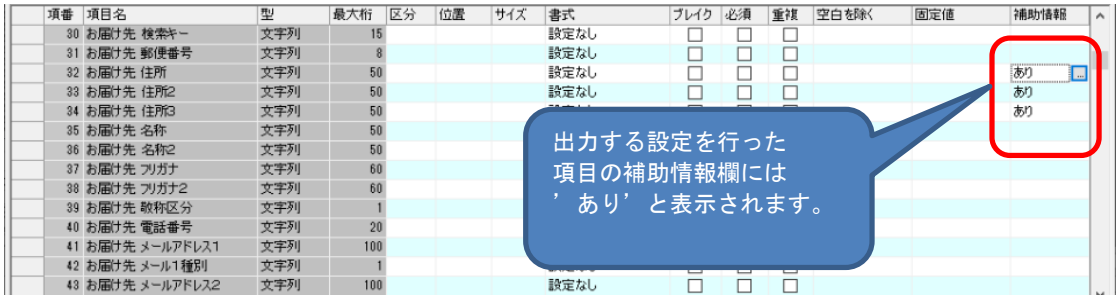
■ 出力補助画面での設定方法（結合設定）

ゆうプリＲの複数の項目を結合して出力する場合は、以下の設定を行います。
以下の設定例ではお届け先住所を結合しています。

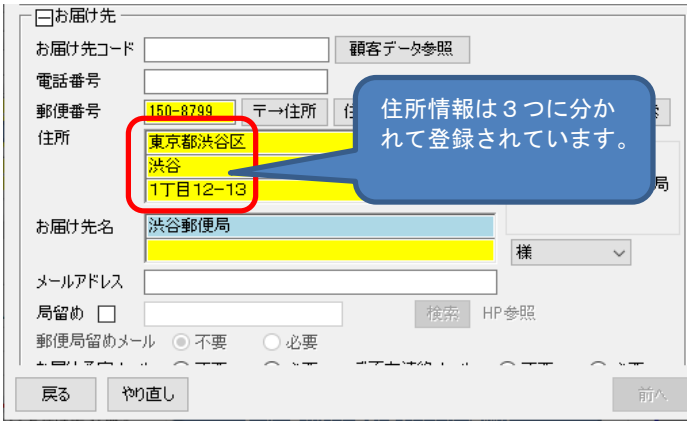


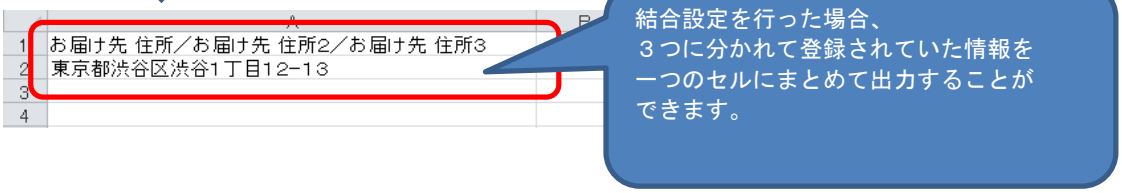
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法



【出力データ例】



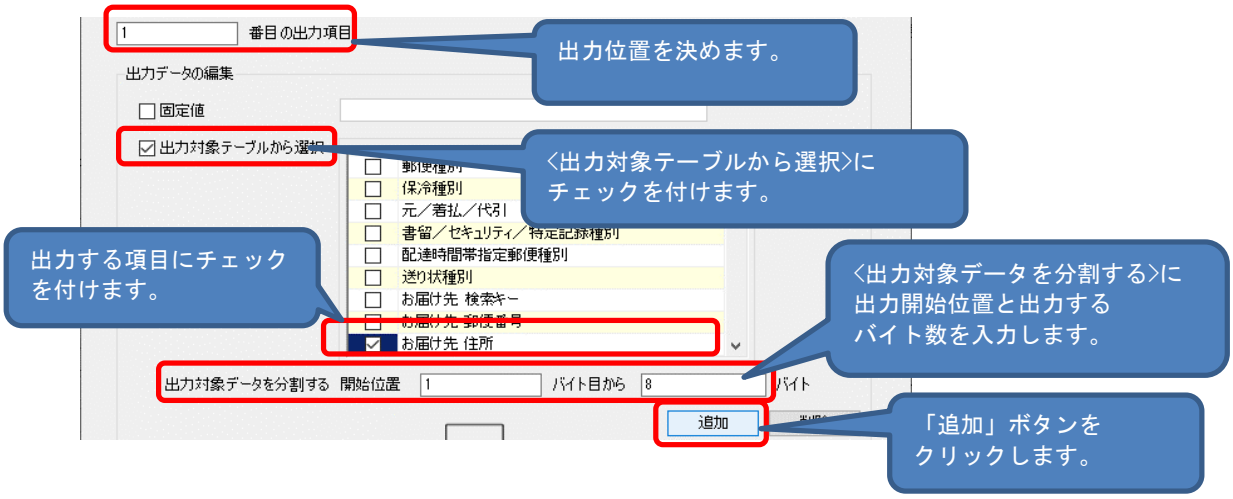


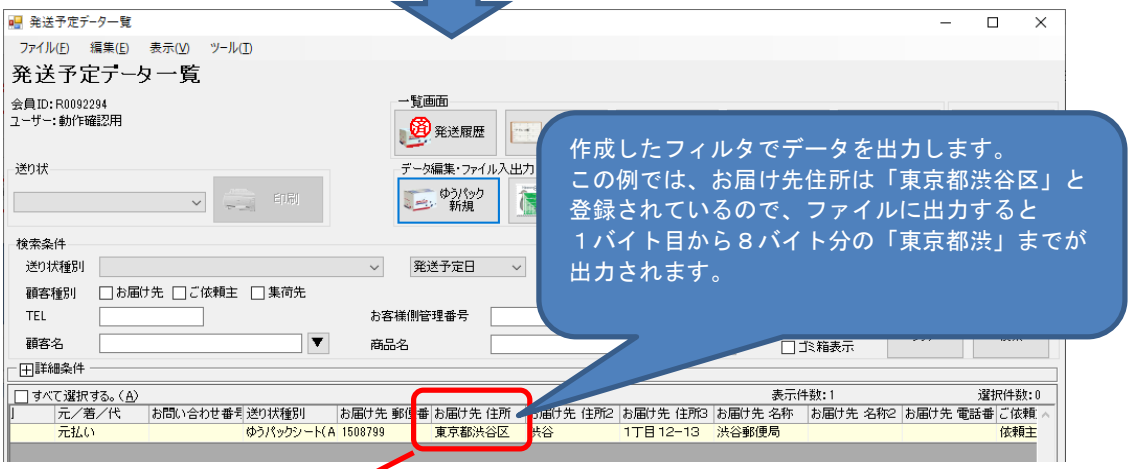
3 フィルタの作成方法（詳細編集）

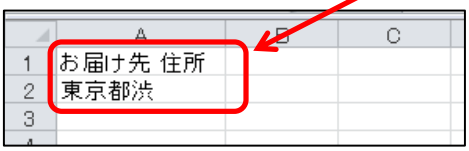
3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 出力補助画面での設定方法（切り出し設定）

ゆうプリＲのデータから特定の桁数を指定して出力する場合は、以下の設定を行います。
以下の設定例ではお届け先住所の１バイト目から８バイトを出力する設定にしています。
※ １バイトは半角１文字、２バイトは全角１文字換算のため、８バイトは全角４文字換算です。
なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。





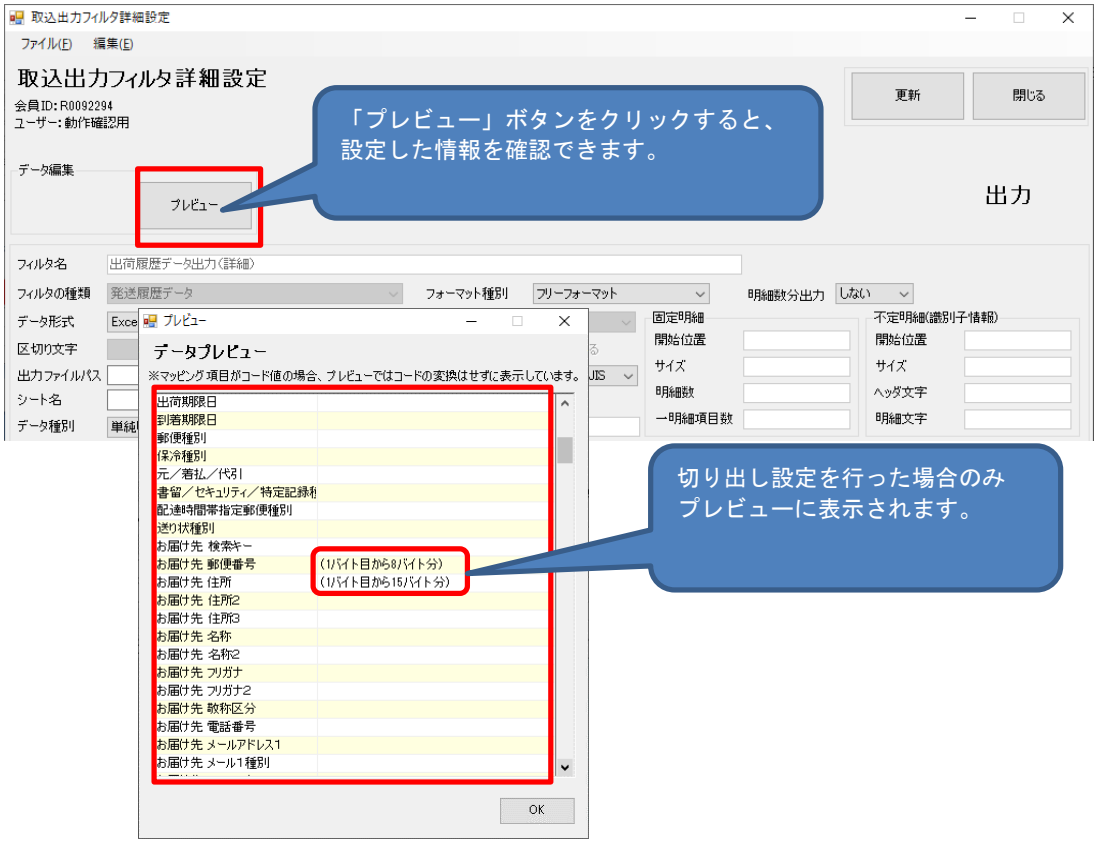


3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

(4) 作成したフィルタ設定の登録

出力する項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



3 フィルタの作成方法（詳細編集）

3-11 登録したフィルタを変更・削除する方法

1．登録したフィルタの修正方法

登録したフィルタを修正する場合は、以下の操作で行ってください。

(1) 取込出力フィルター覧画面を開きます。

【ゆうプリＲスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。

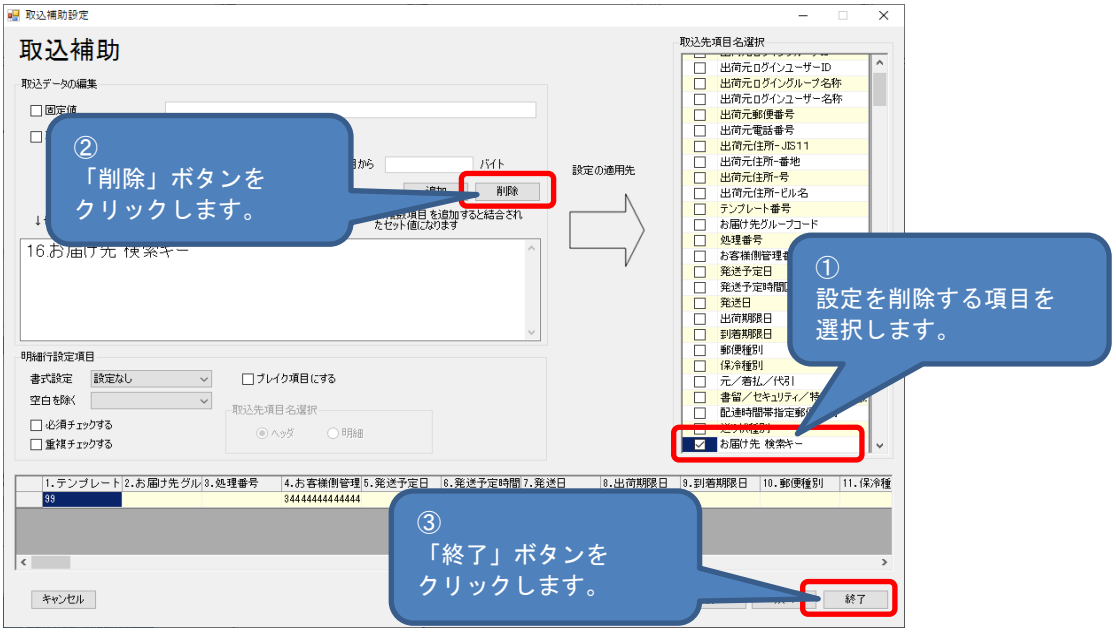
(2) 『取込出力フィルタ詳細設定』画面で設定を修正します。

3 フィルタの作成方法（詳細編集）

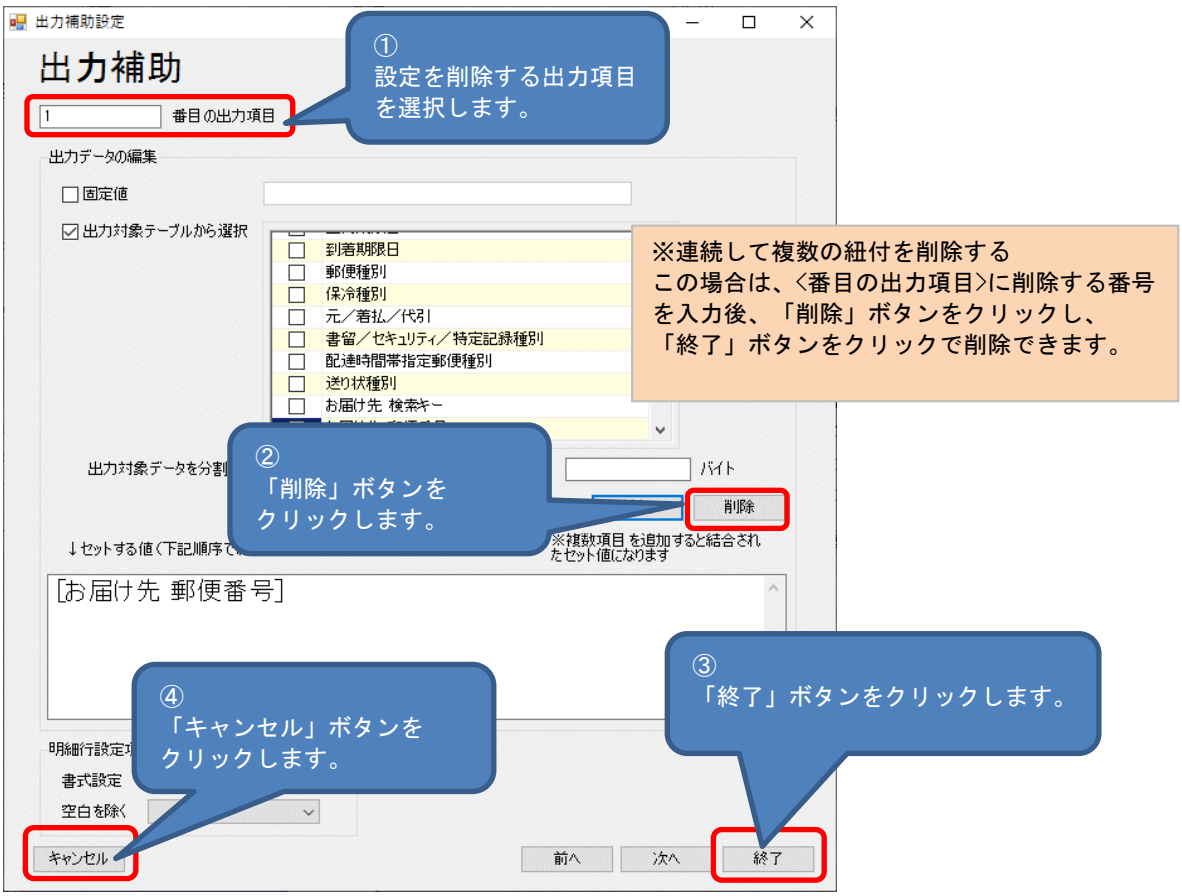
3-11 登録したフィルタを変更・削除する方法

(3) 取込補助画面での設定削除方法

取込用のフィルタを作成する際、『取込補助』画面を使用した場合は、以下の方法で削除します。



(4) 出力補助画面での設定削除方法



3 フィルタの作成方法(詳細編集)

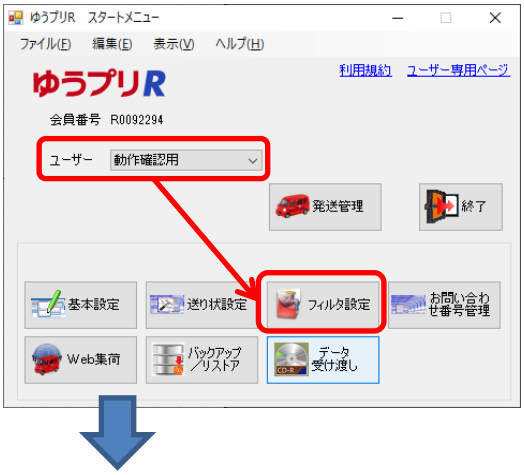
3-11 登録したフィルタを変更・削除する方法

2．登録したフィルタの削除方法

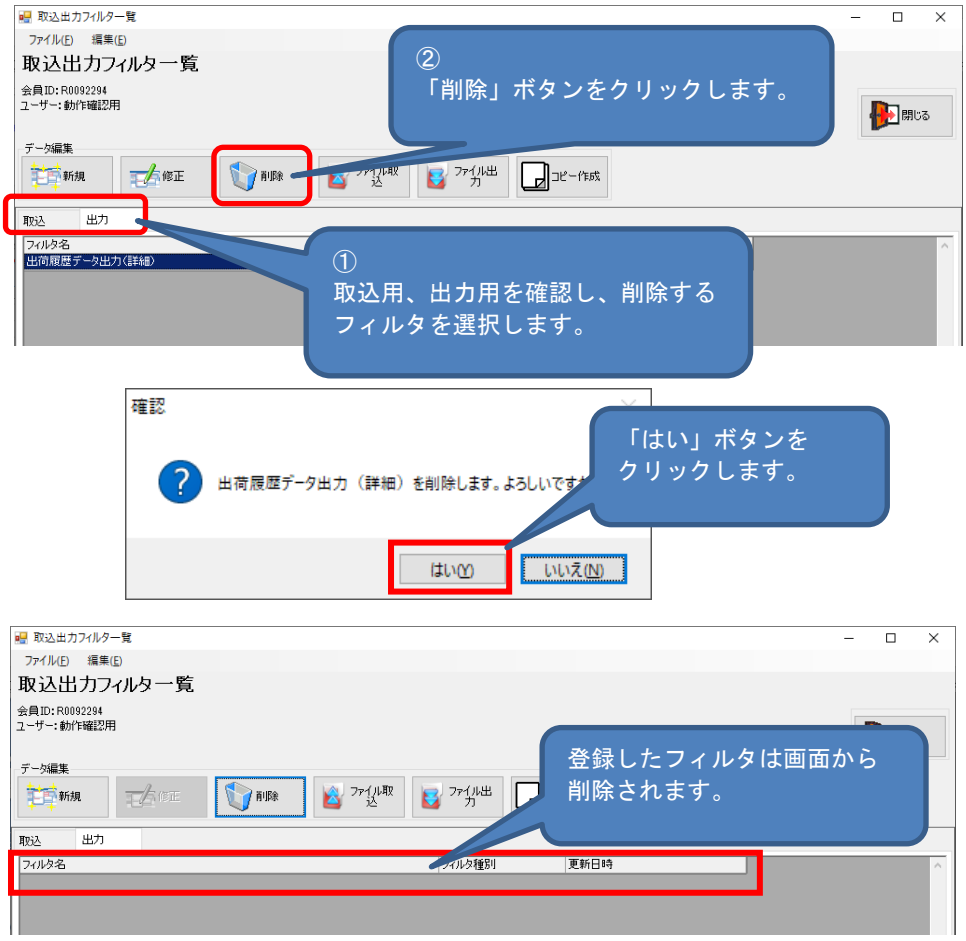
登録したフィルタを削除する場合は、以下の操作で行ってください。
※ 削除を行うと復元はできませんのでご注意ください。

(1) 『取込出力フィルター覧』画面を開きます。

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



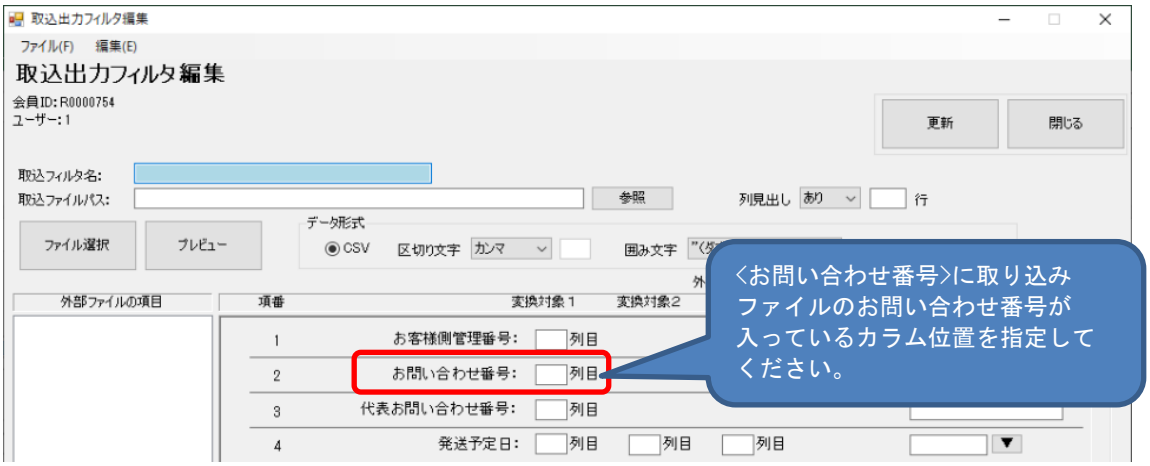
(2) 『取込出力フィルター覧』画面で削除します。



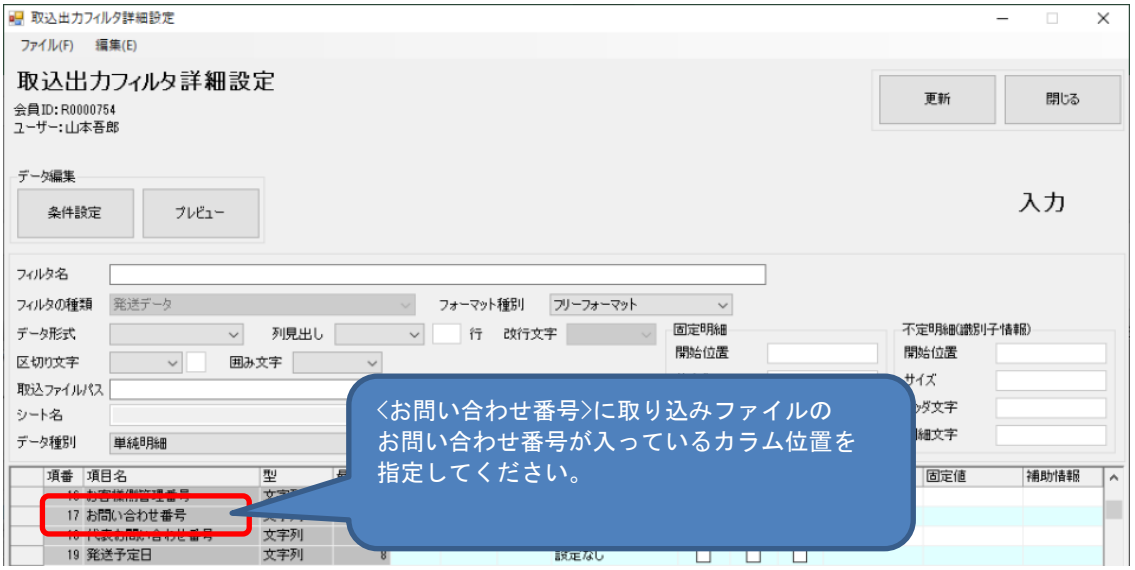
4 お問い合せ番号付データを取り込みする設定

ゆうプリＲに出荷データを取り込みする際、データにお問い合せ番号（追跡番号）がある場合、ゆうプリＲのフィルタ設定では、以下の項目に紐付を行ってください。また、ユーザー設定で機能を利用する設定が必要です。設定箇所は、別紙〔４．初期設定機能説明書　①１－２－３追跡番号付きデータの取り込み設定〕を参照ください。なお、本機能は予め郵便局からお問い合わせ番号の提供を受けているお客さまに限りご利用が可能です。ご利用いただく場合、ゆうプリＲをお申込みいただいた郵便局へお問い合わせください。

■ 簡易編集をご利用の場合



■ 詳細編集をご利用の場合



Note

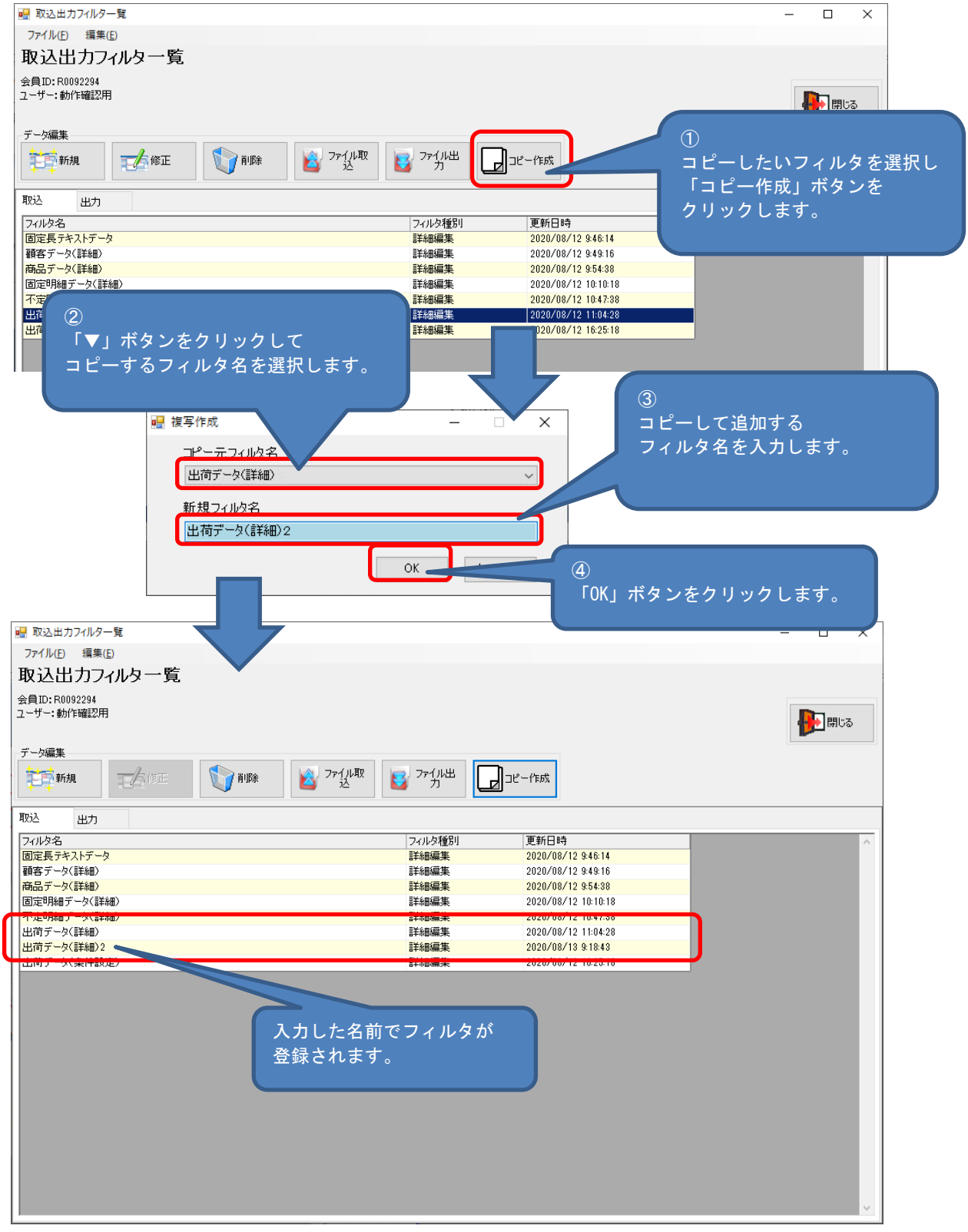
■ お問い合わせ番号付データの取り込みに関する注意事項

① お問い合わせ番号付データを取り込みする場合、同じ番号での再取り込みはできません。

② お問い合わせ番号付データを取り込みするユーザーでは、ゆうパックの送り状データを新規に入力すること、お問い合わせ番号の無いデータを取り込みすることができません。必要な場合は、別のユーザーを作成してご利用ください。

5 フィルタをコピーして使用する

作成したフィルタ設定については、コピーをして使用することができます。
同じようなフィルタ設定を複数作成する場合、フィルタをひとつ作成し、コピーを行うことで
作成する作業を軽減することができます。

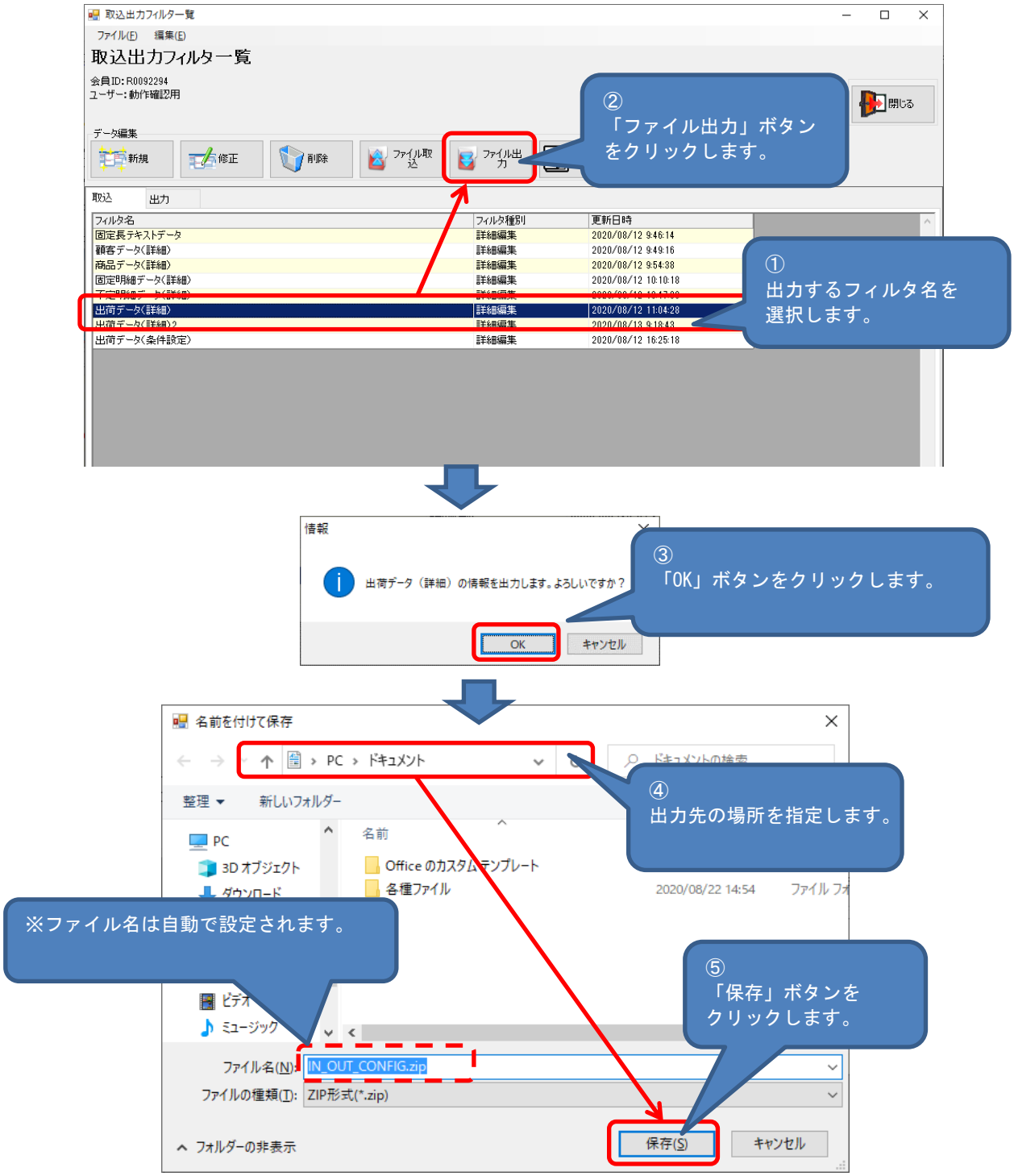


6 作成したフィルタを他のゆうプリRで使用する方法

作成したフィルタ設定は、ファイルに出力することで他のゆうプリＲでも使用することができます。
ゆうプリＲから出力したファイルを他のゆうプリＲで取り込みする方法となりますので、ゆうプリＲが起動できない場合は、フィルタ設定を出力することはできません。

1．フィルタ設定を作成したゆうプリＲでの操作

(1) ゆうプリＲからフィルタ設定を出力します。



Point 複数のフィルタを出力する場合、自動で設定されるファイル名は同一であるため同じ場所に出力すると上書きになってしまいます。このため、複数のフィルタを出力する際は、出力する場所を変えるか、ファイル名を変えて出力してください。

6 作成したフィルタを他のゆうプリRで使用する方法

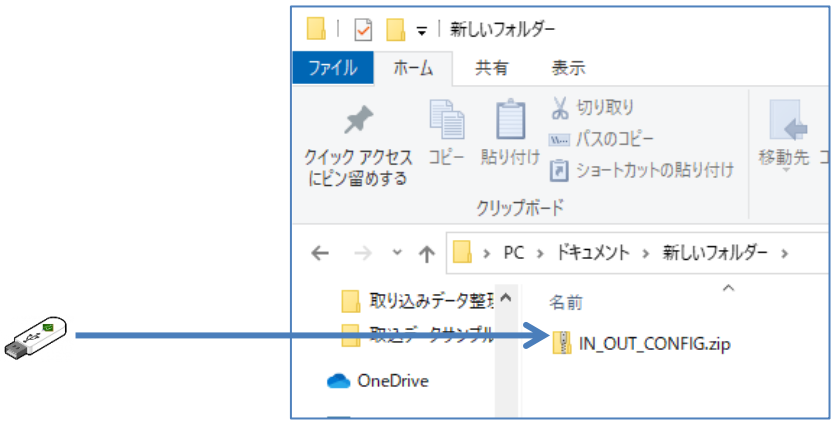
(2) 出力したフィルタ設定ファイルをUSBメモリ等に保存します。

Note

フィルタ設定を移行する際、移行先のゆうプリＲがインストールされているパソコンが同じネットワークにある場合等でUSBメモリを使用しなくてもネッワーク経由でファイルをコピーできる場合は、その方法でコピーを行っていただいて問題ございません。

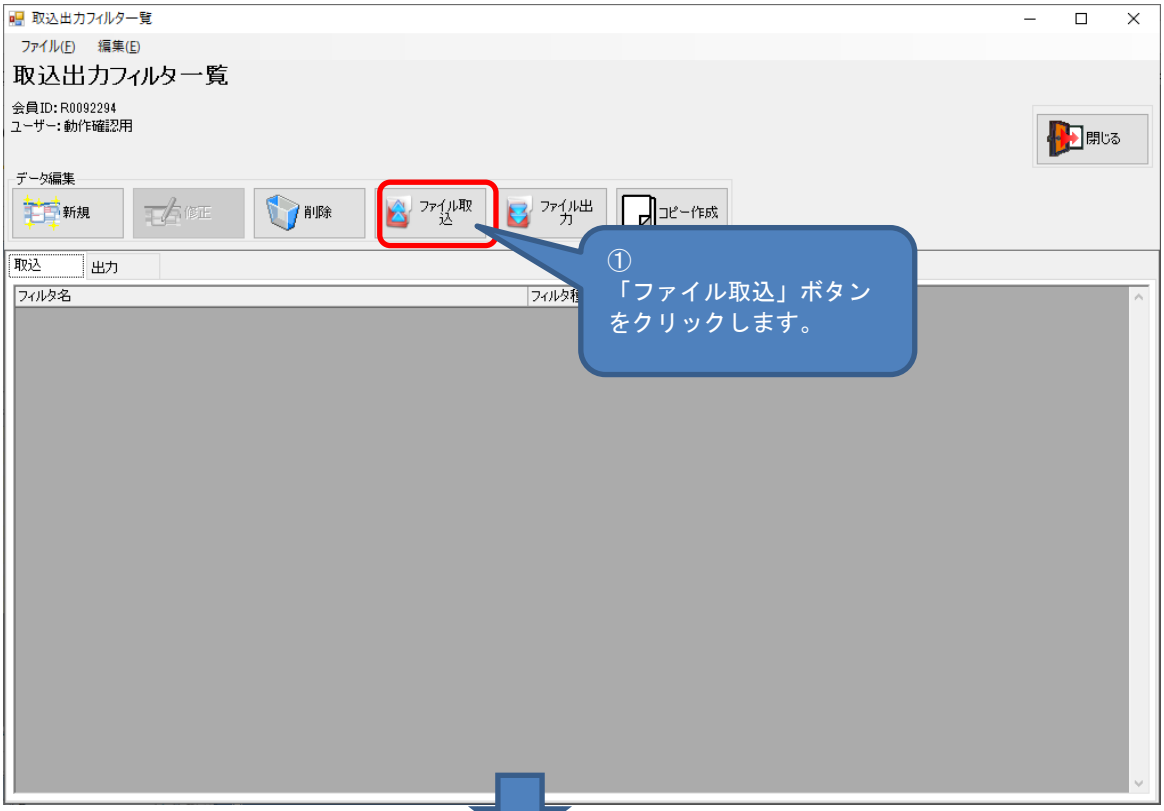
２．フィルタ設定を取り込みするゆうプリＲでの操作

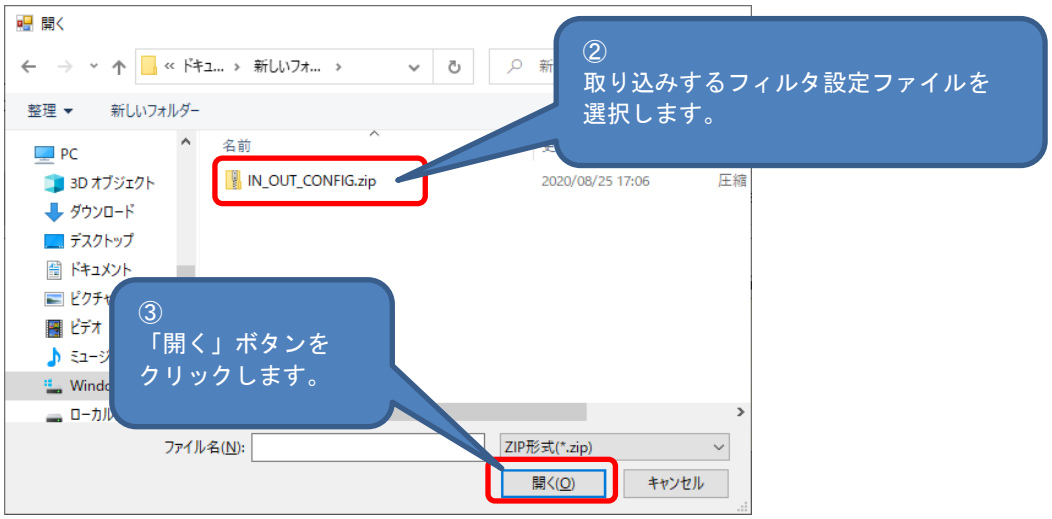
(1) 出力したフィルタ設定のファイルをデスクトップ等へ保存します。



6 作成したフィルタを他のゆうプリRで使用する方法

(2) 保存したフィルタ設定をゆうプリRへ取り込みします。





Note

取り込みが完了しますと、移行元のフィルタ名と同一の名前のフィルタが登録されます。
取り込みした際、既に同じフィルタ名が存在している場合、上書きは行わずフィルタ名に<_001>という名前を付けて取り込みします。